



PROFESSIONAL DIGITAL TWO-WAY RADIO

MOTOTRBO™

XiR P8608 Ex

NON-KEYPAD PORTABLE RADIO

USER GUIDE

en-US

zh-CN

ja-JP

ko-KR

id-ID



MAY 2022

© 2022 Motorola Solutions, Inc. All rights reserved.



MN003683A01-AJ

This is to declare that MSI products comply with the EU Directive 2011/65/EU (Restriction of Hazardous Substance or RoHS-2) and India RoHS, including applicable exemptions, with respect to the following substances:

Lead (Pb) < 0.1% by weight (1000 ppm)

Mercury (Hg) < 0.1% by weight (1000 ppm)

Cadmium (Cd) < 0.01% by weight (100 ppm)

Hexavalent Chromium (Cr6+) < 0.1% by weight (1000 ppm)

Polybrominated Biphenyls (PBB) < 0.1% by weight (1000 ppm)

Polybrominated Diphenyl Ethers (PBDE) < 0.1% by weight (1000 ppm)

目次

重要な安全情報.....	22
ソフトウェア バージョン.....	23
知的財産および規制に関するご注意.....	24
コンピュータ ソフトウェア著作権.....	26
無線機のお手入れ.....	27
章 1 : はじめに.....	29
1.1 アイコン情報.....	29
1.2 従来型アナログおよびデジタル モード.....	30
1.3 IP サイト接続.....	30
1.4 Capacity Plus–シングルサイト.....	31
1.5 Capacity Plus–マルチサイト.....	31
章 2 : はじめに.....	33
2.1 バッテリーの充電.....	33
2.2 バッテリーの取り付け.....	33
2.3 アンテナの取り付け.....	34
2.4 ベルト クリップの取り付け.....	35
2.5 ユニバーサル コネクタ カバー (ダスト カバー) の取り付け.....	35

2.6 無線機の電源のオン.....	36
2.7 音量の調節.....	37
章 3 : 無線機コントロール.....	38
3.1 4 方向ナビゲーション ボタンの使用.....	39
3.2 キーパッドの使用.....	40
部 I : Capacity Max.....	44
4.1 プッシュトゥトーク ボタン.....	44
4.2 プログラム可能ボタン.....	44
4.3 指定可能な無線機機能.....	45
4.4 指定可能な設定またはユーティリティ機能.....	47
4.5 プログラムされた機能へのアクセス.....	47
4.6 ステータス インジケータ.....	48
4.6.1 アイコン.....	48
4.6.2 LED インジケータ.....	53
4.6.3 トーン.....	54
4.6.3.1 オーディオ トーン.....	54
4.6.3.2 インジケータ トーン.....	54
4.7 登録.....	55
4.8 ゾーンとチャンネルの選択.....	56

4.8.1	ゾーンの選択.....	56	4.9.2.1	ブロードキャスト コー ルの発信.....	67
4.8.2	エイリアス検索を使用したゾ ーの選択.....	57	4.9.2.2	連絡先リストを使用した ブロードキャスト コールの発信..	67
4.8.3	通話タイプの選択.....	57	4.9.2.3	プログラム可能な数値キ ーを使用したブロードキャスト コールの発信.....	68
4.8.4	サイトの選択.....	58	4.9.2.4	ブロードキャスト コー ルの受信.....	69
4.8.5	ローミング要求.....	58	4.9.3	個別コール.....	69
4.8.6	サイト ロック オン/オフ.....	59	4.9.3.1	個別通話の発信.....	70
4.8.7	サイト制限.....	59	4.9.3.2	プログラム可能な数値キ ーを使用した個別コールの発信 ..	71
4.8.8	サイト トランキング.....	60	4.9.3.3	エイリアス検索を使用し た個別コールの発信.....	72
4.9	通信.....	60	4.9.3.4	ワンタッチ コール ボタ ンを使用した個別コールの発信...	73
4.9.1	グループ通信.....	61	4.9.3.5	ダイヤルを使用した個別 コールの発信.....	74
4.9.1.1	グループ通話の発信.....	61	4.9.3.6	個別コールの受信.....	75
4.9.1.2	連絡先リストを使用した グループ コールの発信.....	62	4.9.3.7	個別コールの受信.....	75
4.9.1.3	プログラム可能な数値キ ーを使用したグループ コールの 発信	63			
4.9.1.4	エイリアス検索を使用し たグループ コールの発信	64			
4.9.1.5	グループ通話への応答.....	66			
4.9.2	ブロードキャスト コール.....	67			

4.9.3.8 個別コールの拒否.....	76	4.9.5.6.1 DTMF トーンの 開始.....	90
4.9.4 一斉コール.....	77	4.9.5.7 一斉コールとして電話通 話への応答.....	91
4.9.4.1 一斉コールの受信	77	4.9.5.8 グループ コールとして 電話通話への応答.....	91
4.9.4.2 一斉コールの発信	78	4.9.5.9 個別コールとして電話通 話への応答.....	92
4.9.4.3 プログラム可能な数値キ ーを使用した一斉コールの発信 ..	78	4.9.6 通話割り込みの開始.....	93
4.9.4.4 エイリアス検索を使用し た一斉コールの発信.....	79	4.9.7 割り込み通話.....	93
4.9.5 電話通話.....	80	4.9.8 音声割り込み.....	93
4.9.5.1 電話通話の発信.....	81	4.9.8.1 音声割り込みの有効化.....	94
4.9.5.2 プログラム可能なボタン で電話通話を行う 	83	4.10 高度な機能.....	94
4.9.5.3 連絡先リストを使用した 電話通話の発信	85	4.10.1 通話キュー.....	95
4.9.5.4 エイリアス検索を使用し た電話通話の発信.....	87	4.10.2 優先通話.....	95
4.9.5.5 ダイヤルを使用した電話 通話の発信.....	88	4.10.3 グループ スキャン.....	96
4.9.5.6 デュアル トーン マルチ 周波数.....	90	4.10.3.1 グループ スキャンのオ ンとオフの切り替え.....	96
		4.10.4 受信グループ リスト.....	97
		4.10.5 優先度モニタ.....	98

4.10.5.1 グループの優先度の設定	98	4.10.8.8 すべての JOB チケットの削除.....	108
4.10.6 複数グループの加入.....	99	4.10.9 マルチサイト コントロール.....	109
4.10.6.1 加入グループの追加.....	99	4.10.9.1 手動サイト検索の有効化	109
4.10.6.2 加入グループの削除.....	100	4.10.9.2 サイト ロック オン/オフ	110
4.10.7 トークバック	101	4.10.9.3 隣接サイトのリストへのアクセス.....	111
4.10.8 JOB チケット.....	102	4.10.10 ホーム チャネル リマインダ....	111
4.10.8.1 JOB チケット フォルダへのアクセス.....	103	4.10.10.1 ホーム チャネル リマインダのミュート.....	111
4.10.8.2 リモート サーバーのログインとログアウト.....	104	4.10.10.2 新しいホーム チャネルの設定.....	112
4.10.8.3 JOB チケットの作成....	104	4.10.11 [リモート モニタ].....	112
4.10.8.4 単数の JOB チケット テンプレートを使った JOB チケットの送信.....	105	4.10.11.1 リモート モニタの開始	113
4.10.8.5 複数の JOB チケット テンプレートを使った JOB チケットの送信.....	106	4.10.11.2 連絡先リストを使用したリモート モニタの開始	114
4.10.8.6 JOB チケットへの応答	106	4.10.11.3 ダイアルを使用したリモート モニタの開始.....	115
4.10.8.7 JOB チケットの削除....	107		

4.10.12 連絡先設定.....	116	4.10.14 通話履歴機能	125
4.10.12.1 プログラム可能な数値 キーへのエントリの割り当て ...	117	4.10.14.1 最近の通話の表示.....	125
4.10.12.2 エントリとプログラミング 可能な数値キー間の関連付 けの削除	118	4.10.14.2 通話リストからのエイ リアスまたは ID の保存.....	125
4.10.12.3 新規連絡先の追加.....	119	4.10.14.3 通話リストからの通話 の削除.....	126
4.10.13 通信インジケータ設定.....	119	4.10.14.4 通話リストからの詳細 の表示.....	127
4.10.13.1 着信音のオンとオフの 切り替え (個別コール用).....	119	4.10.15 ページング操作.....	128
4.10.13.2 着信音のオンとオフの 切り替え (テキスト メッセージ 用).....	120	4.10.15.1 ページングの発信.....	128
4.10.13.3 着信音のオンとオフの 切り替え (ページング用).....	121	4.10.15.2 連絡先リストを使用し たページングの発信.....	129
4.10.13.4 着信音のオンとオフの 切り替え (テキスト付きテレメ ータ ステータス用).....	122	4.10.15.3 ページングへの応答...130	
4.10.13.5 着信音スタイルの割り 当て.....	123	4.10.16 動的な発信者のエイリアス.....	130
4.10.13.6 警告トーンの音量を上 げる.....	124	4.10.16.1 無線機の電源を入れた 後に発信者のエイリアスを編集 する	131
		4.10.16.2 発信者のエイリアスを メイン メニューから編集する...131	
		4.10.16.3 発信者のエイリアス リストを表示する.....	132

4.10.16.4 個別コールを発信者の エイリアス リストから開始.....	132	4.10.19 ステータス メッセージ.....	144
4.10.17 ミュート モード.....	133	4.10.19.1 ステータス メッセー ジの送信.....	144
4.10.17.1 ミュート モードの有 効化	133	4.10.19.2 プログラム可能ボタン を使用したステータス メッセー ジの送信.....	145
4.10.17.2 ミュート モード タイ マーの設定.....	134	4.10.19.3 連絡先リストを使用し たステータス メッセージの送信	146
4.10.17.3 ミュート モードの終 了	134	4.10.19.4 ダイアルを使用したス テータス メッセージの送信.....	147
4.10.18 緊急操作.....	135	4.10.19.5 ステータス メッセー ジの表示.....	148
4.10.18.1 緊急アラームの送信...	136	4.10.19.6 ステータス メッセー ジへの応答.....	148
4.10.18.2 通話による緊急アラーム の送信.....	138	4.10.19.7 ステータス メッセー ジの削除.....	149
4.10.18.3 緊急アラームと音声ガイ ドの送信.....	139	4.10.19.8 すべてのステータス メッセージの削除.....	150
4.10.18.4 緊急アラームの受信...	140	4.10.20 テキスト メッセージング	151
4.10.18.5 緊急アラームへの応答	141	4.10.20.1 テキスト メッセージ..	151
4.10.18.6 通話による緊急アラーム への応答.....	142	4.10.20.1.1 テキスト メ ッセージの表示.....	151
4.10.18.7 緊急モードの終了.....	143		

4.10.20.1.2 テレメータ ステータス メッセージの 表示.....	152	4.10.20.1.11 テキスト メ ッセージの再送信.....	159
4.10.20.1.3 保存されたテ キスト メッセージの表示	152	4.10.20.1.12 受信 BOX からのテキスト メッセー ジの削除.....	160
4.10.20.1.4 テキスト メ ッセージへの応答.....	153	4.10.20.1.13 受信 BOX からのすべてのテキスト メッセージの削除.....	161
4.10.20.1.5 クイック テ キストによるテキスト メ ッセージへの返信.....	154	4.10.20.1.14 下書きフォ ルダに保存したテキスト メッセージの削除.....	161
4.10.20.1.6 テキスト メ ッセージの転送.....	155	4.10.20.2 送信済みテキスト メ ッセージ.....	162
4.10.20.1.7 ダイアルを使 用したテキスト メッセー ジの転送.....	156	4.10.20.2.1 送信済みテキ スト メッセージの表示...	163
4.10.20.1.8 テキスト メ ッセージの編集.....	157	4.10.20.2.2 送信済みテキ スト メッセージの送信...	163
4.10.20.1.9 テキスト メ ッセージの送信.....	158	4.10.20.2.3 送信 BOX フ ォルダからの送信済みテ キスト メッセージの削除	164
4.10.20.1.10 保存された テキスト メッセージの編 集	158	4.10.20.3 クイック テキスト メ ッセージ	164

4.10.20.3.1 クイック テキスト メッセージの送信	165	4.10.24.2 連絡先リストを使用した無線機の機能停止	176
4.10.21 テキスト入力設定	165	4.10.24.3 ダイヤルを使用した無線機の機能停止	177
4.10.21.1 単語予測	166	4.10.24.4 無線機の復帰	178
4.10.21.2 文章大文字修正	167	4.10.24.5 連絡先リストを使用した無線機の復帰	178
4.10.21.3 カスタム語の表示	167	4.10.24.6 ダイヤルを使用した無線機の復帰	179
4.10.21.4 カスタム語の編集	168	4.10.25 無線終了	180
4.10.21.5 カスタム語の追加	169	4.10.26 ローン ワーカー	181
4.10.21.6 カスタム語の削除	170	4.10.27 パスワード ロック	181
4.10.21.7 すべてのカスタム語の削除	171	4.10.27.1 パスワードを使用した無線機へのアクセス	181
4.10.22 プライバシ	172	4.10.27.2 ロック状態の無線機をロック解除する	182
4.10.22.1 秘話モードのオンとオフの切り替え	173	4.10.27.3 パスワードの変更	182
4.10.23 応答禁止	174	4.10.28 通知リスト	183
4.10.23.1 応答禁止の有効化または無効化	174	4.10.28.1 通知リストへのアクセス	184
4.10.24 機能停止/復帰	174	4.10.29 エア接続プログラミング	184
4.10.24.1 無線機の機能停止	175		

4.10.30 受信信号強度インジケータ.....	185	4.11.2 ハウリング抑制機能のオンとオフの切り替え.....	190
4.10.30.1 RSSI 値の表示.....	185	4.11.3 ケーブル タイプの特定.....	191
4.10.31 正面パネル プログラミング.....	186	4.11.4 カメラ メニュー タイマー.....	192
4.10.31.1 正面パネル プログラミングモードの開始.....	186	4.11.5 音声変換.....	192
4.10.31.2 FPP モード パラメータの編集.....	186	4.11.5.1 音声変換の設定.....	193
4.10.32 動的グループ番号割当 (DGNA)	187	4.11.6 グローバル ナビゲーション サテライト システム (GNSS) のオンとオフの切り替え.....	193
4.10.32.1 DGNA コールの発信..	187	4.11.7 初期画面のオンとオフの切り替え	194
4.10.32.2 DGNA 以外の通話の発信	188	4.11.8 無線機トーン/アラートのオンとオフの切り替え.....	195
4.10.32.3 DGNA 通話の受信と応答	188	4.11.9 トーン/アラートのボリューム オフセット レベルの設定.....	196
4.11 ユーティリティ.....	189	4.11.10 通話許可トーンのオンとオフの切り替え.....	197
4.11.1 キー ロック オプション.....	189	4.11.11 パワー アップ トーンのオンとオフの切り替え.....	198
4.11.1.1 キー ロック オプションの有効化.....	189	4.11.12 メッセージ アラーム トーンの設定.....	199
4.11.1.2 キー ロック オプションの無効化.....	190		

4.11.13 出力レベル.....	199	4.11.24 インテリジェント オーディオ のオンとオフの切り替え.....	207
4.11.13.1 パワー レベルの設定..	200	4.11.25 トリル拡張のオンとオフの切 り替え.....	208
4.11.14 表示モードの変更.....	200	4.11.26 マイク ダイナミックひずみコ ントロール機能のオン/オフ.....	209
4.11.15 表示輝度の調整.....	201	4.11.27 音声アンビエンスの設定.....	210
4.11.16 ディスプレイ バックライト タ イマーの設定.....	202	4.11.28 音声プロファイルの設定.....	210
4.11.17 オートバックライトのオン/オ フの切り替え.....	202	4.11.29 一般無線機情報.....	211
4.11.18 LED インジケータのオンとオ フの切り替え.....	203	4.11.29.1 バッテリー情報へのアク セス.....	212
4.11.19 言語の設定.....	204	4.11.29.2 無線エイリアスと ID のチェック.....	212
4.11.20 オプション ボードのオンとオ フの切り替え.....	204	4.11.29.3 ファームウェアとコー ドプラグのバージョン チェック.....	213
4.11.21 音声ガイドのオンとオフの切 り替え.....	205	4.11.29.4 GNSS 情報の確認.....	214
4.11.22 デジタル マイク AGC のオン とオフの切り替え.....	206	4.11.29.5 ソフトウェア更新情報 のチェック.....	214
4.11.23 内部無線機スピーカと有線ア クセサリの間のオーディオ ルートの切 り替え.....	207	4.11.29.6 サイト情報の表示.....	215
		部 II : 他のシステム.....	216
		5.1 プッシュトゥトーク ボタン.....	216

5.2 プログラム可能ボタン.....	216	5.8.1.3 連絡先リストを使用した グループ コールの発信.....	233
5.3 指定可能な無線機機能.....	216	5.8.1.4 プログラム可能な数値キ ーを使用したグループ コールの 発信 	234
5.4 指定可能な設定またはユーティリティ機 能	219	5.8.1.5 チャネル セレクタ ノブ を使用したグループ コールの発 信	235
5.5 プログラムされた機能へのアクセス.....	220	5.8.2 個別通信 	236
5.6 ステータス インジケータ.....	220	5.8.2.1 個別通信への応答.....	236
5.6.1 アイコン.....	220	5.8.2.2 個別通信の発信	237
5.6.2 LED インジケータ.....	226	5.8.2.3 連絡先リストを使用した 個別通信の発信.....	238
5.6.3 トーン.....	227	5.8.2.4 プログラム可能な数値キ ーを使用した個別コールの発信 	239
5.6.3.1 インジケータ トーン.....	227	5.8.2.5 プログラム可能なダイア ル ボタンを使用した個別コール の発信.....	240
5.6.3.2 オーディオ トーン.....	227	5.8.3 一斉コール.....	240
5.7 ゾーンとチャネルの選択.....	228	5.8.3.1 一斉通信の受信.....	241
5.7.1 ゾーンを選択.....	228	5.8.3.2 一斉コールの発信.....	241
5.7.2 エイリアス検索を使用したゾー ンの選択.....	229		
5.7.3 チャネル選択.....	230		
5.8 通信.....	230		
5.8.1 グループ通信.....	231		
5.8.1.1 グループ通信への応答... 231			
5.8.1.2 グループ通信の発信.....	232		

5.8.3.3 プログラム可能な数値キーを使用した一斉コールの発信	242	5.8.5.7 プログラム可能な [TEL] ボタンで電話通話を行う 	253
5.8.4 選択コール 	243	5.8.5.8 ダイヤルを使用した電話通話の発信 	255
5.8.4.1 選択コールへの応答 	243	5.8.6 通話割り込みの開始 	257
5.8.4.2 選択コールの発信	244	5.8.7 ブロードキャスト音声通信	257
5.8.4.3 チャンネル セレクタ ノブを使用した選択コールの発信	244	5.8.7.1 ブロードキャスト音声通話の発信	258
5.8.5 電話通話 	245	5.8.7.2 プログラム可能な数値キーを使用したブロードキャスト音声通話の発信	259
5.8.5.1 デュアル トーン マルチ周波数	246	5.8.7.3 エイリアス検索を使用したブロードキャスト音声通話の発信 	259
5.8.5.1.1 DTMF トーンの開始	246	5.8.7.4 ブロードキャスト音声通話の受信	260
5.8.5.2 個別コールとして電話通話への応答 	246	5.8.8 アドレスなし通信	261
5.8.5.3 グループ コールとして電話通話への応答 	247	5.8.8.1 未アドレス通話の発信	261
5.8.5.4 一斉コールとして電話通話への応答 	248	5.8.8.2 未アドレス通話への応答	262
5.8.5.5 電話通話の発信 	249	5.8.9 オープン音声チャンネル モード (OVCM)	263
5.8.5.6 連絡先リストを使用した電話通話の発信 	251		

5.8.9.1 OVCM コールの発信.....	263	5.9.2.1 自動サイト検索の開始... 272
5.8.9.2 OVCM コールへの応答..	264	5.9.2.2 自動サイト検索の停止... 273
5.9 高度な機能.....	265	5.9.2.3 手動サイト検索の有効化 274
5.9.1 JOB チケット.....	265	5.9.3 テキスト入力設定..... 275
5.9.1.1 JOB チケット フォルダ へのアクセス.....	266	5.9.3.1 単語予測の有効化/無効 化 275
5.9.1.2 リモート サーバーのロ グインとログアウト.....	267	5.9.3.2 文章大文字修正..... 276
5.9.1.3 JOB チケットの作成.....	267	5.9.3.3 カスタム語の表示..... 277
5.9.1.4 単数の JOB チケット テ ンプレートを使った JOB チケ ットの送信.....	268	5.9.3.4 カスタム語の編集..... 278
5.9.1.5 複数の JOB チケット テ ンプレートを使った JOB チケ ットの送信.....	269	5.9.3.5 カスタム語の追加..... 279
5.9.1.6 JOB チケットへの応答..	269	5.9.3.6 カスタム語の削除..... 280
5.9.1.7 JOB チケットの削除.....	270	5.9.3.7 すべてのカスタム語の削 除 281
5.9.1.8 すべての JOB チケット の削除.....	271	5.9.4 ダイレクト モード..... 282
		5.9.4.1 リピータとダイレクト モードの切り替え..... 282
		5.9.5 モニタ機能 283
		5.9.5.1 チャネルのモニタ..... 283
		5.9.5.2 連続モニタ..... 284
5.9.2 複数サイト コントロール	272	



5.9.5.2.1 連続モニタのオンとオフの切り替え.....	284	5.9.8.4 スキャン リストからのエントリの削除.....	293
5.9.6 無線機チェック	284	5.9.8.5 スキャン リストのエントリに対して優先度を設定する.....	294
5.9.6.1 無線機チェックの送信		5.9.9 スキャン.....	295
	284	5.9.9.1 スキャンのオンとオフの切り替え.....	295
5.9.6.2 連絡先リストを使用して無線機チェックを送信する 	285	5.9.9.2 スキャン中の送信への応答	296
5.9.7 リモート モニタ.....	286	5.9.9.3 迷惑チャンネルの削除.....	297
5.9.7.1 リモート モニタの開始..	287	5.9.9.4 迷惑チャンネルの復元.....	297
5.9.7.2 連絡先リストを使用したリモート モニタの開始	288		
5.9.7.3 ダイヤルを使用したリモート モニタの開始	289	5.9.10 投票スキャン 	297
5.9.8 スキャン リスト.....	290	5.9.11 連絡先設定.....	298
5.9.8.1 スキャン リスト内のエントリの表示.....	291	5.9.11.1 新規連絡先の追加.....	298
5.9.8.2 エイリアス検索を使用したスキャン リスト内のエントリの表示	291	5.9.11.2 既定の連絡先の設定 	299
5.9.8.3 スキャン リストへの新規エントリの追加.....	292	5.9.11.3 プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て 	300
		5.9.11.4 エントリとプログラミング可能な数値キー間の関連付けの削除 	300

5.9.12 通信インジケータ設定.....	301	5.9.13.3 通話リストからのエイ リアスまたは ID の保存 	309
5.9.12.1 着信音のオンとオフの 切り替え (ページング用).....	301	5.9.13.4 通話リストからの通信 の削除.....	310
5.9.12.2 着信音のオンとオフの 切り替え (個別コール用) 	302	5.9.14 ページング操作.....	311
5.9.12.3 着信音のオンとオフの 切り替え (選択コール用) 	303	5.9.14.1 ページングへの応答.....	311
5.9.12.4 着信音のオンとオフの 切り替え (テキスト メッセージ 用) 	304	5.9.14.2 ページングの発信.....	312
5.9.12.5 着信音のオンとオフの 切り替え (テキスト付きテレメ ータ ステータス用).....	306	5.9.14.3 連絡先リストを使用し たページングの発信.....	312
5.9.12.6 着信音スタイルの割り 当て	306	5.9.15 動的な発信者のエイリアス.....	313
5.9.12.7 警告トーンの音量を上 げる	307	5.9.15.1 無線機の電源を入れた 後に発信者のエイリアスを編集 する	313
5.9.13 通話履歴機能	308	5.9.15.2 発信者のエイリアスを メイン メニューから編集する... ..	314
5.9.13.1 最近の通話の表示.....	308	5.9.15.3 発信者のエイリアス リ ストを表示する.....	315
5.9.13.2 通話リストの詳細の表 示 	309	5.9.15.4 個別コールを発信者の エイリアス リストから開始.....	315
		5.9.16 ミュート モード.....	316

5.9.16.1 ミュート モードの有効化	316	5.9.19.1 テキスト メッセージ 	327
5.9.16.2 ミュート モード タイマーの設定	317	5.9.19.1.1 テキスト メッセージの表示	327
5.9.16.3 ミュート モードの終了	317	5.9.19.1.2 テレメータ ステータス メッセージの表示	327
5.9.17 緊急操作	318	5.9.19.1.3 保存されたテキスト メッセージの表示	328
5.9.17.1 緊急アラームの受信	319	5.9.19.1.4 テキスト メッセージへの応答 	328
5.9.17.2 緊急アラームへの応答	320	5.9.19.1.5 テキスト メッセージへの返信	329
5.9.17.3 緊急アラームの送信	321	5.9.19.1.6 テキスト メッセージの転送 	331
5.9.17.4 通話による緊急アラームの送信	322	5.9.19.1.7 ダイアルを使用したテキスト メッセージの転送 	331
5.9.17.5 音声ガイドおよび緊急アラーム	323	5.9.19.1.8 テキスト メッセージの編集	332
5.9.17.6 緊急アラームと音声ガイドの送信 	324	5.9.19.1.9 テキスト メッセージの送信	333
5.9.17.7 緊急モードの再開	325		
5.9.18 マン ダウン	325		
5.9.18.1 マンダウン機能のオンとオフの切り替え	325		
5.9.19 テキスト メッセージング	326		

5.9.19.1.10 保存されたテキスト メッセージの編集	334	5.9.19.2.3 送信 BOX フォルダからのすべての送信済みテキスト メッセージの削除	340
5.9.19.1.11 テキスト メッセージの再送信	335	5.9.19.3 クイック テキスト メッセージ 	340
5.9.19.1.12 受信 BOX からのテキスト メッセージの削除	335	5.9.19.3.1 クイック テキスト メッセージの送信	341
5.9.19.1.13 受信 BOX からのすべてのテキスト メッセージの削除 	336	5.9.20 アナログ メッセージ エンコード	342
5.9.19.1.14 下書きフォルダに保存したテキスト メッセージの削除	337	5.9.20.1 ディスパッチャへの MDC エンコード メッセージの送信 	342
5.9.19.2 送信済みテキスト メッセージ 	337	5.9.20.2 連絡先への 5 トーン エンコード メッセージの送信 	343
5.9.19.2.1 送信済みテキスト メッセージの表示 	338	5.9.21 アナログ ステータス更新 	344
5.9.19.2.2 送信済みテキスト メッセージの送信 	339	5.9.21.1 定義済み連絡先へのステータス更新の送信 	344
		5.9.21.2 5 トーン ステータスの詳細の表示	345
		5.9.21.3 5 トーン ステータスの詳細の編集	346

5.9.22 プライバシ 	346	5.9.27 オートレンジ トランスポンダ システム 	357
5.9.22.1 秘話モードのオンとオ フの切り替え 	347	5.9.28 エア接続プログラミング 	357
5.9.23 応答禁止	348	5.9.29 パスワード ロック	358
5.9.23.1 応答禁止の有効化また は無効化	348	5.9.29.1 パスワードを使用した 無線機へのアクセス	358
5.9.24 セキュリティ 	348	5.9.29.2 ロック状態の無線機を ロック解除する	359
5.9.24.1 無線機の無効化 	349	5.9.29.3 パスワードの変更	360
5.9.24.2 連絡先リストを使用し た無線機の無効化 	350	5.9.30 正面パネル プログラミング	361
5.9.24.3 ダイヤルを使用した無 線機の無効化 	351	5.9.30.1 正面パネル プログラミ ングモードの開始	361
5.9.24.4 無線機の有効化 	352	5.9.30.2 FPP モード パラメータ の編集	361
5.9.24.5 連絡先リストを使用し た無線機の有効化 	353	5.10 ユーティリティ	362
5.9.24.6 ダイヤルを使用した無 線機の有効化 	354	5.10.1 キー ロック オプション	362
5.9.25 ローン ワーカー	355	5.10.1.1 キー ロック オプション の有効化	362
5.9.26 通知リスト	356	5.10.1.2 キー ロック オプション の無効化	363
5.9.26.1 通知リストへのアクセ ス	356		

5.10.2 自動通話転送のオンとオフの切り替え.....	363	5.10.14 表示モードの変更.....	372
5.10.3 ケーブル タイプの特定.....	364	5.10.15 表示輝度の調整.....	373
5.10.4 カメラ メニュー タイマー.....	364	5.10.16 ディスプレイ バックライト タイマーの設定.....	374
5.10.5 音声変換の設定.....	365	5.10.17 オートバックライトのオン/オフの切り替え.....	374
5.10.6 ハウリング抑制機能のオンとオフの切り替え 	366	5.10.18 スケルチ レベル	375
5.10.7 グローバル ナビゲーション サテライト システム (GNSS) のオンとオフの切り替え.....	366	5.10.18.1 スケルチ レベルの設定	376
5.10.8 初期画面のオンとオフの切り替え	367	5.10.19 LED インジケータのオンとオフの切り替え.....	376
5.10.9 無線機トーン/アラートのオンとオフの切り替え.....	368	5.10.20 言語の設定.....	377
5.10.10 トーン/アラートのボリュームオフセット レベルの設定.....	369	5.10.21 音声起動送信.....	378
5.10.11 通話許可トーンのオンとオフの切り替え.....	370	5.10.21.1 音声起動送信のオンとオフの切り替え.....	378
5.10.12 パワー アップ トーンのオンとオフの切り替え.....	371	5.10.22 オプション ボードのオンとオフの切り替え.....	379
5.10.13 メッセージ アラーム トーンの設定.....	372	5.10.23 音声ガイドのオンとオフの切り替え.....	379
		5.10.24 アナログ マイク AGC のオンとオフの切り替え.....	380

5.10.25 デジタル マイク AGC のオン とオフの切り替え.....	381	5.10.32.3 ファームウェアとコー ドプラグのバージョン チェック.....	389
5.10.26 内部無線機スピーカと有線ア クセサリの間のオーディオ ルートの切 り替え.....	382	5.10.32.4 GNSS 情報の確認.....	389
5.10.27 インテリジェント オーディオ のオンとオフの切り替え.....	382	5.10.32.5 ソフトウェア更新情報 のチェック.....	390
5.10.28 トリル拡張のオンとオフの切 り替え.....	383	5.10.32.6 サイト情報の表示.....	391
5.10.29 マイク ダイナミックひずみコ ントロール機能のオン/オフ.....	384	5.10.33 受信信号強度インジケータ.....	391
5.10.30 音声アンビエンス.....	385	5.10.33.1 RSSI 値の表示.....	391
5.10.30.1 音声アンビエンスの設 定	385	部 III : 認定アクセサリ リスト.....	392
5.10.31 音声プロファイル.....	386		
5.10.31.1 音声プロファイルの設 定	386		
5.10.32 一般無線機情報.....	387		
5.10.32.1 バッテリ情報へのアク セス.....	387		
5.10.32.2 無線エイリアスと ID のチェック.....	388		

重要な安全情報

携帯型業務用無線機に関する RF エネルギー被曝 および製品安全ガイド



注意：

この無線機は業務用の利用に限定されています。この製品をご使用になる前に、無線機に同梱されている『電磁波エネルギー被曝および製品安全性ガイド』をお読みください。このガイドには、安全な使用方法、RF エネルギーの認識、および該当する規格および規制への準拠の制御に関する操作手順が記載されています。

タイで利用可能なモデル:

อุปกรณ์โทรคมนาคมนี้ได้ปฏิบัติตามข้อกำหนดของคณะกรรมการกิจการ

โทรคมนาคมแห่งชาติ

この通信機器は、National Telecommunications Commission
の要件に適合しています。

ソフトウェア バージョン

次のセクションで説明されているすべての機能は、ソフトウェア バージョン **R02.21.01.0000** 以降でサポートされます。

詳細については、販売店または管理者にお問い合わせください。

知的財産および規制に関する ご注意

著作権

本書に記載されている Motorola Solutions 製品には、著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータ プログラムが含まれている場合があります。米国およびその他諸国の法律で、著作権取得済みコンピュータ プログラムの一定の独占権が Motorola Solutions のために保護されています。したがって、本書で説明される Motorola Solutions 製品に含まれるいかなる著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータ プログラムも、Motorola Solutions からの書面による明示的な許可なしに、いかなる方法においても複製または再生してはなりません。

本書のいかなる部分についても、いかなる形式であろうと、いかなる手段によっても、Motorola Solutions, Inc. からの事前の書面による許可なしに複製、伝送、情報検索システムへの格納、あらゆる言語への翻訳、コンピュータ言語への変換をしてはいけません。

商標

MOTOROLA、MOTO、MOTOROLA SOLUTIONS、および図案化された M ロゴは、Motorola Trademark Holdings, LLC の商標または登録商標であり、ライセンスの下に使用されます。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。

ライセンスの権利

Motorola Solutions 製品の購入は、直接的あるいは黙示的、禁反言的、またはその他の方法によって、Motorola Solutions の著作権、特許または特許申請の対象となる一切のライセンスを付与するものとはみなされないものとします。ただし、製品の販売において法の運用によって生ずる通常の非独占的、ロイヤルティ不要の使用ライセンスについては、この限りではありません。

オープン ソース コンテンツ

この製品には、ライセンスの下に使用されるオープン ソース ソフトウェアが含まれている場合があります。オープン ソースの法的通知および帰属の内容については、製品のインストール メディアを参照してください。

欧州連合 (EU) および英国 (UK) の電気電子廃棄物 (WEEE) 指令



■ 欧州連合の WEEE 指令および英国の WEEE 規制では、EU 諸国および英国に販売される製品 (場合によってはパッケージ) に車輪付きゴミ箱への投入禁止ラベルを貼ることを要求しています。WEEE 指令で規定されるとおり、この車輪付きゴミ箱への投入禁止ラベルは、EU 諸国と英国の顧客とエンドユーザーが、電気および電子機器またはアクセサリを生活廃棄物として廃棄してはならないことを意味します。

EU 諸国と英国の顧客またはエンドユーザーは、自国の廃棄物収集システムについて、地元の機器販売代理店またはサービス センターに問い合わせる必要があります。

免責条項

特定のシステムに対して、本書で説明する特定の機能、設備、性能が適用されない、またはライセンス付与されない場合や、特定のモバイル加入者ユニットの特性や特定のパラメータの構成に依存する場合があることに注意してください。詳細については、Motorola Solutions の担当者にご確認ください。

© 2022 Motorola Solutions, Inc. All Rights Reserved

コンピュータ ソフトウェア著作権

本マニュアルに記載されている Motorola Solutions 製品には、半導体メモリやその他メディアに保管されている著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータ プログラムが含まれている場合があります。米国およびその他諸国の法律で、著作権取得済みのコンピュータ プログラムの一定の独占権が Motorola Solutions のために保護されています。この際、著作権取得済みコンピュータ プログラムのあらゆる形態での複製または再生の独占権が含まれますが、これに限定されません。したがって、本マニュアルで説明される Motorola Solutions 製品に含まれるいかなる著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータ プログラムも、Motorola Solutions からの書面による明示的な許可を得なければ、いかなる方法においても複製、再生、修正、リバース エンジニアリング、配信できません。さらに、Motorola Solutions 製品を購入しても、直接的あるいは黙示的、禁反言的、またはその他の方法によっても、Motorola Solutions の著作権、特許、または特許出願の対象となるライセンスは、一切付与されません。ただし、製品の販売において法の運用によって生じる通常の非独占的な使用ライセンスについては、この限りではありません。

本製品に組み込まれている AMBE+2™ 音声コーディング技術は、Digital Voice Systems, Inc. の特許、著作権、企業秘密を含む知的所有権で保護されています。

この音声コーディング技術は、この通信機器の範囲内での使用のみを対象にライセンス付与されています。この技術を使用するユーザーは、オブジェクト コードを逆コンパイル、リバース エンジニアリング、逆アセンブルしようと試みることを、またはいかなる方法においてもオブジェクト コードを人間が読み取り可能な形式に変換しようと試みることを明確に禁じています。

米国特許番号 #5,870,405、#5,826,222、#5,754,974、
#5,701,390、#5,715,365、#5,649,050、#5,630,011、
#5,581,656、#5,517,511、#5,491,772、#5,247,579、
#5,226,084 および #5,195,166。

無線機のお手入れ

このセクションでは、無線機の基本的な使用上のご注意について説明します。

表 1: IP 仕様

IP 仕様	説明
IP67	無線機は、15cm から 1m の深さの水に 30 分間浸水したり、2 ～ 8 時間防塵を必要とするような、悪条件の野外でも使用できます。



注意：

無線機を分解しないでください。分解すると無線機の密封部分が損傷し、無線機に漏洩箇所が生じることがあります。無線機のメンテナンスは、無線機の密封部分のテスト、交換が可能なサービスステーションで実施してください。

- 無線機が水没した場合は、無線機を振ってスピーカグリルやマイクポート内に入り込んでいる可能性のある水

を除去してください。水が入り込むと、音声が悪化することがあります。

- 無線機のバッテリーの接触面が水に濡れた場合は、バッテリーを無線機に接続する前に、無線機およびバッテリーのバッテリー接触面をクリーニングして乾かしてください。水が残ると、無線機がショートすることがあります。
- 無線機が腐食性物質（たとえば、塩水）に浸かった場合は、無線機およびバッテリーをきれいな水ですすいでから無線機およびバッテリーを乾かしてください。
- 無線機の外面をクリーニングするには、低刺激性の食器用洗剤の希釈液と真水（たとえば、3 リットルの水に大さじ 1 杯の洗剤）を使用してください。
- バッテリー接触面の下の無線機シャーシにあるベント（穴）を突かないでください。このベントには、無線機内部の圧力を均等化する働きがあります。ベントを突くと無線機へのリークパスが生じ、無線機の防水性が損なわれることがあります。
- ベントを塞いだり、覆ったりしないでください。ラベルも貼らないでください。
- 油性物質がベントに接触しないようにしてください。
- アンテナが正しく取り付けられた無線機は最深 1 メートル (3.28 フィート)、最長 30 分の防水性能を備えてい

ます。最大限度値を超えたり、アンテナなしで使用したりすると、無線機が損傷するおそれがあります。

- 無線機をクリーニングする際には、高圧ジェット スプレーを使用しないでください。水深 1 メートルの水圧を超えるので、無線機に水が浸入する場合があります。

はじめに

このユーザー ガイドでは、無線機の操作方法を説明しています。



注：

無線機モデル CP7668 は、従来型アナログ モード、従来型デジタル モード、および Connect Plus 操作モードのみをサポートしています。

ディーラーやシステム管理者が、特定のニーズのために無線機をカスタマイズしている可能性もあります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

以下については、ディーラーまたはシステム管理者にお問い合わせください。

- 従来チャンネルのプリセットが無線機にプログラムされているか？
- 他の機能にアクセスするために、どのボタンがプログラムされているか？
- どのオプション アクセサリが自分のニーズに対応するか？
- 効果的に通信するには、無線機をどのように使用すれば良いか？

- 無線機の寿命を延ばすには、どのような保守手段が役立つか？

1.1

アイコン情報

このガイドでは、従来型アナログ モードと従来型デジタルモードのみの機能を区別するために、以下の2つのアイコンが使われています。



従来型アナログ モードのみの機能を示しています。



従来型デジタル モードのみの機能を示します。

従来型アナログとデジタルの両方のモードで利用可能な機能については、両方のアイコンが表示されません。

1.2

従来型アナログおよびデジタル モード

無線機の各チャンネルを、従来型アナログ チャンネルか従来型デジタル チャンネルとして設定できます。

1: チャンネル セレクタ ノブ

デジタル モードからアナログ モードに切り替えると、一部の機能が使用できなくなります。アナログ モードに切り替えると、デジタル機能の各アイコンが"グレーアウト"します。無効になった機能はメニューに表示されません。

無線機には、アナログとデジタルの両方のモードで利用できる機能もあります。それぞれの機能のわずかな違いが、無線機の性能に影響を及ぼすことはありません。



注：

また、デュアル モード スキャン中には、デジタル モードとアナログ モードが切り替わります。詳細については、「[スキャン ページ 295](#)」を参照してください。

1.3

30

IP サイト接続

この機能を使用すると、従来のシングルサイトでは無線機の通信範囲外となる場所でも、インターネット プロトコル (IP) ネットワークを使用して利用可能な別のサイトに接続して通信できます。これは従来のマルチサイト モードです。

一方のサイトの通信範囲から外れて別のサイトの通信範囲に無線機が移動すると、新しいサイトのリピータに接続して、通信またはデータを送受信します。設定に応じて自動または手動で接続を切り替えます。

自動サイト検索では、現在のサイトからの信号が弱い場合や、無線機が現在のサイトからの信号をまったく検出できない場合に、利用可能なサイトをすべてスキャンします。次に、無線機は受信信号強度インジケータ (RSSI) 値が最も強いリピータにロックします。

手動サイト検索では、無線機は、信号強度が最も強いサイトを検索するのではなく、現在通信範囲内にあるローミング リストの次のサイトを検索し、リピータにロックします。



注：

各チャンネルで、スキャンまたはローミングのどちらかを有効にできますが、両方同時に有効にはできません。

この機能が有効になっているチャンネルは、特定のローミング リストに追加されます。自動ローミング動作時にローミング リスト内のチャンネルが検索され、最適なサイトが検出されます。ローミング リストでは、最大 16 チャンネルを使用できます (選択したチャンネルを含む)。



注：

手動では、ローミング リスト内のエントリの追加や削除はできません。詳細については、販売店にお問い合わせください。

1.4

Capacity Plus—シングルサイト

Capacity Plus—シングルサイトは、MOTOTRBO 無線機システムのシングルサイト トランキング構成であり、多数のユーザーと最大で 254 のグループをサポートするためのチャンネル プールを使用します。この機能を使用すると、リピータ モードのとき、お使いの無線機でプログラムされたチャンネル数を有効活用できます。

Capacity Plus—シングルサイトでは利用できない機能に、プログラム可能ボタンからアクセスしようとすると、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

無線機には、従来型デジタルモード、IP Site Connect、および Capacity Plus のいずれのモードでも利用できる機能もあります。ただし、それぞれの機能のわずかな違いが、無線機の性能に影響を及ぼすことはありません。

この設定の詳細については、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

1.5

Capacity Plus—マルチサイト

Capacity Plus—マルチサイトは、Capacity Plus と IP Site Connect 構成の優れた特徴を組み合わせた MOTOTRBO 無線機システムのマルチチャンネル トランキング構成です。

この機能を使用すると、無線機は IP ネットワーク経由で接続されている別の利用可能サイトに接続するので、シングルサイトでは通信範囲外となる地域とのトランキング通信が可能になります。また、各利用可能サイトでサポートされているプログラム済みチャンネルは、組み合わせられて効率的に利用されるため、容量も増加します。

一方のサイトの通信範囲から外れて別のサイトの通信範囲に無線機が移動すると、新しいサイトのリピータに接続して、通話またはデータを送受信します。設定に応じて、この切り替えは自動や手動で行われます。

無線機がこの切り替えを自動的に行うように設定されている場合、現在のサイトからの信号が弱くなったり、無線機が現在のサイトから信号をまったく検出できなくなった場合に、無線機はすべての利用可能サイトをスキャンします。その後、無線機は RSSI 値が最も強いリピータにロックします。

手動サイト検索では、無線機はローミング リスト内を検索して、現在通信範囲内にある次のサイト (ただし、信号強度が最も強いサイトとは限らない) を見つけ、そのサイトにロックします。

この機能が有効になっているチャンネルは、特定ローミング リストに追加されます。無線機は、自動ローミング動作時にこれらのチャンネルを検索し、最適なサイトを見つけてます。



注：

ローミング リストへのエントリの追加や削除は手動では行えません。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

Capacity Plus—シングルサイトと同様に、Capacity Plus—マルチサイトに該当しない機能のアイコンはメニューで使用できません。プログラム可能ボタンから Capacity Plus—マルチサイトでは利用できない機能にアクセスしようとすると、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

はじめに

「はじめに」では、無線機を使用する前の準備の手順について説明します。

2.1

バッテリーの充電

最善の性能を得るには、無線機の電源に Motorola Solutions 認定のリチウムイオン (Li-Ion) バッテリーを使用してください。

充電中は無線機の電源を切ってください。

- バッテリーは常に安全な場所で充電してください。バッテリーの充電後は、少なくとも 3 分間たってから無線機の電源を入れてください。
- 損傷を防ぐため、および保証条件に適合するために、充電器のユーザー ガイドに従い、Motorola Solutions 製充電器でバッテリーを充電してください。
- バッテリーは常に安全な場所で充電してください。バッテリーの充電後は、少なくとも 3 分間たってから無線機の電源を入れてください。

- バッテリーが無線機に付属している場合、バッテリーの充電中は、無線機の電源を必ずオフのままにしておいてください。
- 最善の性能を出すためには、最初にご使用になる前に新しいバッテリーを 14 ～ 16 時間充電してください。
- IMPRES バッテリーの充電には、バッテリーの寿命とバッテリーの貴重なデータを最適な状態で保つために、必ず IMPRES 充電器をご使用ください。

2.2

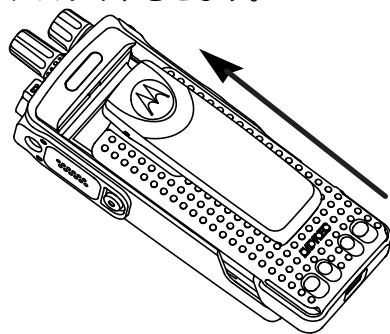
バッテリーの取り付け

下記の手順に従って、バッテリーを無線機に取り付けます。

無線機に Motorola Solutions 以外のバッテリーを接続すると、警告トーンが鳴り、ディスプレイに「不明なバッテリー」と表示され、バッテリー アイコンが無効になります。

1 無線機の裏側のレールとバッテリーを合わせます。

- 2 バッテリーをしっかりと押し、ラッチが収まるまで上にスライドさせます。



- 3 バッテリー ラッチをロック ポジションまでスライドさせます。

2.3

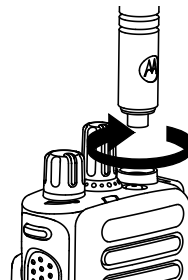
アンテナの取り付け

無線機の電源を切ります。

レセプタクルにアンテナをセットし、時計回りに回します。



注：
水やほこりから保護するために、アンテナがしっかりと取り付けられていることを確認してください。



注：
アンテナを取り外すには、アンテナを反時計回りに回します。



注意：
損傷を防ぐため、故障したアンテナは MOTOTRBO アンテナのみと交換してください。

2.4

ベルト クリップの取り付け

- 1 ベルト クリップを取り付けるには、クリップの溝をバッテリーの溝と合わせ、カチッという音が聞こえるまで押し下げます。



- 2 ベルト クリップを取り外すには、キーを使ってベルト クリップ タブを押してバッテリーから離します。

次に、クリップを上方向にスライドさせ、無線機から外します。

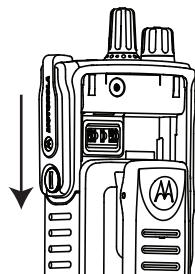
2.5

ユニバーサル コネクタ カバー (ダスト カバー) の取り付け

ユニバーサル コネクタは、無線機のアンテナ側にあります。このコネクタは、MOTOTRBO アクセサリを無線機に接続するために使用します。

ユニバーサル コネクタを使用しないときは、ユニバーサル コネクタ カバーまたはダスト カバーを取り付けておきます。

- 1 カバーの斜めの突起が付いている方を、ユニバーサル コネクタの上のスロットに挿入します。
- 2 カバーを押し下げ、ダスト カバーがユニバーサル コネクタに正しく収まるようにします。



-
- 3 つまみねじを時計回りに回し、コネクタ カバーを無線機に固定します。
-

2.6

無線機の電源のオン

カチッという音がするまで、オン/オフ/音量コントロール ノブを時計回りに回します。

成功すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。



注：
トーン/アラート機能が無効になっている場合は、起動時にトーンは鳴りません。

- LED が緑色に点灯します。
- ディスプレイに「MOTOTRBO (TM)」が表示された後、歓迎のメッセージまたは画像が表示されます。
- ホーム画面が点灯します。

LED インジケータが無効になっている場合は、電源投入時にホーム画面は点灯しません。



注：
ソフトウェアのバージョンを **R02.07.00.0000** 以降にアップデートした後、最初の起動時に、GNSS ファームウェアのアップグレードが行われます。これには約 20 秒かかります。アップグレードの後、無線機はリセットされて、電源がオンになります。ファームウェアのアップグレードは、最新のソフトウェアおよびハードウェアを搭載した携帯型モデルにのみ適用されます。

無線機の電源が入らない場合、バッテリーをご確認ください。バッテリーが充電され、正しく取り付けられているかどうか確認してください。それでも無線機の電源が入らない場合、ディーラーにお問い合わせください。

2.7

音量の調節

無線機の音量を調整するには、次のいずれかの操作を実行します。

- 音量を上げるには、オン/オフ/音量コントロールノブを時計回りに回します。
- 音量を下げるには、オン/オフ/音量コントロールノブを反時計回りに回します。

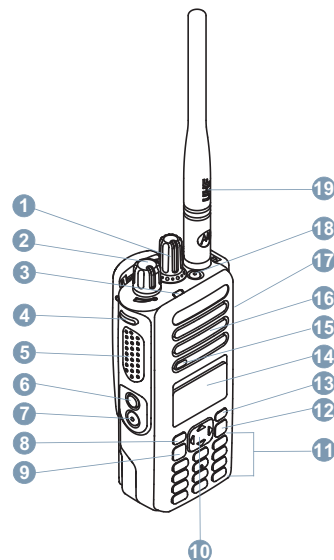


注：

無線機には、最小音量のオフセットをプログラムできます。プログラムされた最小音量より下げることができなくなります。

無線機コントロール

この章では、無線機を制御するボタンと機能について説明します。



1 チャンネル セレクタ ノブ

¹ このボタンはプログラム可能です。

- 2 オン/オフ/音量コントロール ノブ
- 3 LED インジケータ
- 4 サイド ボタン 1¹
- 5 プッシュトゥートーク (PTT) ボタン
- 6 サイド ボタン 2¹
- 7 サイド ボタン 3¹
- 8 フロント ボタン P1¹
- 9 メニュー/OK ボタン
- 10 4 方向ナビゲーション ボタン
- 11 キーパッド
- 12 バック/ホーム ボタン
- 13 フロント ボタン P2¹
- 14 ディスプレイ
- 15 マイク
- 16 スピーカ
- 17 アクセサリ用のユニバーサル コネクタ

18 緊急ボタン¹

19 アンテナ

3.1

4 方向ナビゲーション ボタンの使用

4 方向ナビゲーション ボタン  を使用して、各種オプションのスクロール、値の増減、垂直方向の移動ができます。

カテゴリ	方向	
	▲ または ▼	◀ または ▶
メニュー	垂直ナビゲーション	-
リスト	垂直ナビゲーション	-
詳細の表示	垂直ナビゲーション	前/次の項目

4 方向ナビゲーション ボタン  は、数、エイリアス、または自由形式のテキスト エディタとして使用できます。

エディタ カテゴリ	方向	
	▲ または ▼	◀ または ▶
番号	-	左: 最後の桁を削除します 右: -
エイリアス	-	カーソルを 1 文字分左/右に移動-
自由形式のテキスト	カーソルを上/下に移動	カーソルを 1 文字分右/左に移動
数値	増減	カーソルを 1 文字分右/左に移動

3.2

キーパッドの使用

3 x 4 の英数字キーパッドを使用して、無線機の機能にアクセスできます。1つのキーを複数回押さないと入力できない文字もあります。次の表に、キーを何回押せば目的の文字が入力できるのかを示します。

キー	キーを押す回数												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
1_{.,?}	1	。	,	?	!	@	&	'	%	—	:	*	#
2_{ABC}	A	B	C	2									
2_{ABC}													
3_{DEF}	D	E	F	3									
3_{DEF}													

キー	キーを押す回数												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
4 GHI	G	H	I	4									
4 GHI													
5 JKL	J	K	L	5									
5 JKL													
6 MNO	M	N	O	6									
6 MNO													
7 PQRS	P	Q	R	S	7								
7 PQRS													

キー	キーを押す回数												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
 TUV	T	U	V	8									
													
 WXYZ	W	X	Y	Z	9								
													
 0 ⇄	0		注： 押すと「0」が入力されます。長く押すと CAPS lock がオンになります。再度長く押すと、CAPS lock がオフになります。										
													
 * ⇐	* または del		注： テキストの入力中に押すと、文字が削除されます。数字の入力中に押すと、「*」が入力されます。										

キー	キーを押す回数												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
# 	# またはスペース			注： テキストの入力中に押すと、スペースが挿入されます。数字の入力中に押すと、「#」が入力されます。長押しでテキスト入力方法が変更されます。									

Capacity Max

Capacity Max は MOTOTRBO 制御チャンネル ベースのトランキング無線システムです。

MOTOTRBO デジタル無線製品は、主にビジネス ユーザーおよび産業ユーザー向けに Motorola Solutions が販売しています。MOTOTRBO では、欧州電気通信標準化機構 (ETSI) のデジタル移動無線 (DMR) 標準を使用しています。これは、2 スロットの时分分割多元接続 (TDMA) で、同時音声またはデータを 12.5kHz チャンネル (6.25kHz 相当) でパックします。

4.1

プッシュトゥトーク ボタン

プッシュトゥトーク ボタン (PTT) ボタンには基本的に 2 つの目的があります。

- 通信中に **PTT** ボタンを使用して、通信に加わっている他の無線機に送信できます。**PTT** ボタンを押すと、マイクが有効になります。
- 通信中でないときは、新規通信を発信するために **[PTT]** ボタンを使用します。

話すには、**PTT** ボタンを押して応答します。相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

通信許可トーンが有効となっている場合、短いアラート トーンが終了するまで待ってから話します。

4.2

プログラム可能ボタン

ディーラーは、プログラム可能ボタンに対して、ボタンを押す長さごとに、無線機能へのショートカットをプログラムできます。

短押し

押してすぐに離します。

長押し

プログラムされた時間の間、押し続けます。



注：

【きんきゅう】 ボタンを押す長さをプログラミングする方法については、「[緊急操作 ページ 318](#)」を参照してください。

4.3

指定可能な無線機機能

無線機の以下の機能は、ディーラーまたはシステム管理者がプログラム可能なボタンに割り当てることができます。

音声プロファイル

優先される音声プロファイルをユーザーが選択できません。

オーディオ ルーティング

内部スピーカと外部スピーカ間のオーディオ ルーティングを切り替えます。

音声切替

内部無線機スピーカと有線アクセサリ スピーカとの間のオーディオ ルーティングを切り替えます。

連絡先

連絡先リストに直接アクセスできます。

ページング

連絡先リストに直接アクセスして、ページングの送信先となる連絡先を選択できるようにします。

通信履歴

通信履歴のリストを選択します。

緊急モード

プログラムに応じて、緊急通信を開始またはキャンセルします。

インテリジェント オーディオ

インテリジェント オーディオのオンとオフを切り替えます。

手動ダイヤル

無線機の ID を入力して個別通信を開始します。

手動サイト ローミング

手動サイト検索を開始します。

マイク AGC

内部マイクの自動ゲイン制御 (AGC) のオンとオフを切り替えます。

通知

通知リストに直接アクセスできます。

ワンタッチ アクセス

事前に定義したブロードキャスト通信、個別通信、電話通話、グループ通信、ページングまたはクイック テキスト メッセージを直接開始します。

オプション ボード機能

オプション ボード対応チャンネルで、オプション ボード機能のオンとオフを切り替えます。

電話

電話連絡先リストに直接アクセスできます。

プライバシー

秘話モードのオンとオフを切り替えます。

無線エイリアスと ID

無線エイリアスと ID を提供します。

リモート モニタ

インジケータを表示せずにターゲットの無線機のマイクをオンにします。

ホーム チャンネルのリセット

新規ホーム チャンネルを設定します。

ホーム チャンネル リマインダのミュート

ホーム チャンネル リマインダをミュートします。

サイト情報

現在の Capacity Max サイトの名前と ID を表示します。

音声ガイドが有効になっているときに、現在のサイトの音声ガイド メッセージを再生します。

サイト ロック

オンに切り替えた場合、無線機は現在のサイトののみを検索します。オフに切り替えた場合、無線機は現在のサイトに加え、他のサイトも検索します。

ステータス

ステータス リスト メニューを選択します。

テレメトリ コントロール

ローカルまたはリモート無線機で、出力ピンをコントロールします。

テキスト メッセージ

テキスト メッセージ メニューを選択します。

通信の優先度の切り替え

無線機の、通信優先度: 高/通常への切り替えを可能にします。

トリル拡張

トリル拡張のオンとオフを切り替えます。

音声ガイド オン/オフ

音声ガイドのオンとオフを切り替えます。

ゾーン選択

ゾーンのリストからの選択を可能にします。

4.4

指定可能な設定またはユーティリティ機能

無線機の以下の設定またはユーティリティ機能をプログラム可能なボタンに割り当てることができます。

トーン/アラート

全トーンとアラートのオンとオフを切り替えます。

バックライト

ディスプレイ バックライトのオンとオフを切り替えます。

バックライト輝度

輝度レベルを調節します。

表示モード

デイ/ナイト表示モードのオンとオフを切り替えます。

キー ロック

キーパッドのロックのオンとオフを切り替えます。

パワー レベル

送信出力レベルの高低を切り替えます。

4.5

プログラムされた機能へのアクセス

下記の手順に従って、無線機でプログラムされた機能にアクセスします。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされたボタンを押します。 [ステップ 3](#)に進みます。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押してメニュー機能に移動したら、 を押して機能を選択するか、サブメニューに移動します。
- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 -  を押して前の画面に戻ります。
 - ホーム画面に戻るには、 を長押しします。

一定の期間操作しないと、無線機は自動的にメニューを終了し、ホーム画面に戻ります。

4.6

ステータス インジケータ

この章では、無線機で使用するステータス インジケータおよびオーディオ トーンについて説明します。

4.6.1

アイコン

無線機の 132 × 90 ピクセル、256 色、液晶ディスプレイ (LCD) には、無線機の状態、テキスト エントリ、メニュー エントリが表示されます。以下は、無線機のディスプレイに表示されるアイコンです。

表 2: ディスプレイ アイコン

次のアイコンは、無線機ディスプレイ上部のステータス バーに表示されます。アイコンは外観や使用法の順に左詰めで配列され、チャンネル固有です。

	バッテリー バーの本数 (0 ～ 4) でバッテリーの残量を示します。このアイコンは低バッテリー状態になると点滅します。
	DGNA 無線機は DGNA グループに入っています。
	緊急 無線機が緊急モードです。
	GNSS 有効 GNSS 機能が有効です。測位を利用できる場合、アイコンは表示されたままになります。
	GNSS は利用不可 GNSS 機能は有効ですが、衛星からデータを受信していません。
	大量データ 大量データを受信中で、チャンネルがビジーです。

	ミュート モード ミュート モードが有効になると、スピーカがミュートされます。
	通知 通知リストに、1 つ以上の不在イベントがあります。
	オプション ボード オプション ボードが有効です。(オプション ボード対応モデルのみ)。
	オプション ボード非動作 オプション ボードが無効です。
	無線 (Over-the-Air) プログラミング遅延 タイマ 無線機の自動再起動までの残り時間を示します。
	出力レベル 無線機は低出力または高出力に設定されています。

	優先度 1 優先度 1 のグループを示します。
	優先度 2 優先度 2 のグループを示します。
	受信信号強度インジケータ (RSSI) 表示されるバーの数は、無線機の信号強度を表します。バーが 4 本のときが最大強度です。このアイコンは受信時のみに表示されます。
	応答禁止 応答禁止が有効化されます。
	着信音のみ 呼出音モードが有効です。
	セキュア 秘話モード機能が有効です。
	共有の周波数 無線機が共有のコントロール チャネルに対してロックされていることを示します。

	サイレント モード サイレント呼出音モードが有効です。
	サイト ローミング サイト ローミング機能が有効です。
	ステータス 新規ステータス メッセージを示します。
	トーン無効 トーンがオフです。
	非セキュア 秘話モード機能が無効です。

表 3: 高度なメニュー アイコン

以下のアイコンは、2つのオプションのいずれかを選択できるメニュー項目の隣に表示されるか、2つのオプションがあるサブメニューがあることを示すために表示されます。

	チェックボックス (チェックされている) オプションが選択されていることを示します。
---	---

	チェックボックス (空) オプションが選択されていないことを示します。
	黒く塗りつぶされたボックス そのメニュー項目のサブメニューで、オプションが選択されていることを示します。

表 4: 通話アイコン

以下は、通話中にディスプレイに表示されるアイコンです。これらのアイコンは、[れんらく さき] リストにも表示され、エイリアスや ID タイプを示します。

	通話優先度: 高 通話優先度: 高が有効であることを示します。
	DGNA 通話 DGNA 通話中であることを示します。
	グループ コール/一斉コール グループ コール中または一斉コール中であることを示します。

[れんらく さき] リストでは、グループのエイリアス (名前) または ID (番号) を示します。



グループ コールー斉コールとしての通話

グループ コールまたは一斉コールとして通話中であることを示します。

[れんらく さき] リストでは、グループのエイリアス (名前) または ID (番号) を示します。



個別コールとしての通話

個別コールとして通話中であることを示します。

[れんらく さき] リストでは、電話のエイリアス (名前) または ID (番号) を示します。



個別コール

個別コール中であることを示します。

[れんらく さき] リストでは、無線機のエイリアス (名前) または ID (番号) を示します。

表 5 : JOB チケットアイコン

次のアイコンは、JOB チケット フォルダ内で、ディスプレイに一時的に表示されます。



すべてのジョブ
リストされているすべてのジョブを示します。



新しいジョブ
新しいジョブを示します。



処理中
ジョブの送信中です。これが表示された後で、JOB チケットの送信失敗または送信完了が示されます。



送信失敗
ジョブを送信できませんでした。



送信完了
ジョブが正常に送信されました。



優先度 1
ジョブの優先度が 1 であることを示します。

**優先度 2**

ジョブの優先度が 2 であることを示します。

**優先度 3**

ジョブの優先度が 3 であることを示します。

表 6：ミニ通知アイコン

次のアイコンは、タスクを実行するアクションが行われた後で、ディスプレイに瞬時的に表示されます。

**送信に失敗 (ネガティブ)**

アクションに失敗しました。

**送信に成功 (ポジティブ)**

アクションに成功しました。

**通信処理中 (経過)**

送信中です。これは、通信に成功または失敗したという表示の前に表示されます。

表 7：送信済みアイテム アイコン

以下のアイコンは、ディスプレイ右上隅にある送信 BOX フォルダに表示されます。



または



は

処理中

送信機のエイリアスまたは ID に対するメッセージの送信は保留中で、承認を待っている状態です。グループのエイリアスまたは ID に対するメッセージの送信が保留中です。



または



は

読み込まれた個別メッセージまたはグループメッセージ

メッセージが読み込まれました。



または



は

読み込まれていない個別メッセージまたはグループメッセージ

メッセージが読み込まれませんでした。



または



は

送信失敗

テキスト メッセージを送信できません。



また

送信完了

メッセージは正常に送信されました。



は

4.6.2

LED インジケータ

LED インジケータは、無線機の操作ステータスを示します。

赤色の点滅

電源投入時のセルフ テストに失敗しました。

緊急送信を受信しています。

低バッテリー状態で送信しています。

オートレンジ トランスポンダ システムで設定されている通信範囲から外れました。

ミュート モードが有効です。

緑色の点灯

無線機が電源オンになっています。

送信しています。

無線機はページングまたは緊急送信を送信しています。

緑色の点滅

通信またはデータを受信しています。

エア接続でエア接続プログラミング送信を取得しています。

エア接続アクティビティを検出しています。



注:

このアクティビティによるプログラム済みチャネルへの影響は、デジタル プロトコルの特性によって異なります。

緑色の 2 回点滅

秘話モード対応通信またはデータを受信しています。

黄色の点灯

無線機が Bluetooth 検出可能モードになっています。

黄色の点滅

ページングにまだ応答していません。

黄色の 2 回点滅

自動ローミング機能が有効です。

新規サイトを検索しています。

グループのページングにまだ応答していません。

ロックされています。

4.6.3

トーン

以下は、無線機のスピーカから鳴るトーンです。



高いトーン



低いトーン

4.6.3.1

オーディオ トーン

オーディオ トーンは、無線機の状態や無線機が受信したデータへの応答を音で知らせます。



連続トーン

モノ トーン音。終了まで連続音が鳴ります。



定期トーン

無線機で設定した期間、定期的に音が鳴ります。トーンが開始、中止、反復されます。



反復トーン

ユーザーが停止するまで、シングル トーンが繰り返されます。



瞬間トーン

無線機で設定した短いトーンが 1 回鳴ります。

4.6.3.2

インジケータ トーン

タスクを実行するアクションが行われた後、インジケータ トーンによりステータスが音声で通知されます。



ポジティブ インジケータ トーン



ネガティブ インジケータ トーン

4.7

登録

ユーザーは、登録に関連するさまざまなメッセージを受け取る可能性があります。

登録中

通常、登録情報は電源投入中、グループの変更中、またはサイトローミング中にシステムに送信されます。サイトでの登録に失敗すると、無線機は自動的に別のサイトへのローミングを試みます。登録が試みられたサイトは、無線機によってローミングリストから一時的に削除されます。

これは、無線機がローミング用サイトの検索のためにビジーであるか、無線機がサイトを発見し、無線機からの登録メッセージに対する応答を待っているということを意味します。

【とうろくちゅう】が無線機に表示されている間は、トーンが鳴り、黄色の LED が 2 回ずつ点滅してサイトを検索していることが示されます。

この状態が終わらない場合、ユーザーは別の場所に移動したり、可能であれば、手動で別のサイトにローミング接続する必要があります。

サービス圏外

無線機がシステムまたは現在のサイトから信号を検出できない場合、この無線機はサービス圏外にあるとみなされます。通常は、無線機が地理的に発信無線周波数 (RF) サービスエリア外にあることを意味します。

【けんがい】が無線機に表示されている間は、トーンが繰り返し鳴り、LED が赤く点滅します。

良好な RF サービスエリア内でも無線機に圏外と表示されるようであれば、お近くの販売店またはシステム管理者にお問い合わせください。

グループへの参加失敗

無線機は登録中に、チャンネルまたは UKP (Unified Knob Position) に指定されたグループへの参加を試みます。

参加失敗状態にある無線機は、参加を試みているグループと受信も発信もできません。

無線機がグループへの参加に失敗すると、ホーム画面に【UKP エイリアス】と表示され、背景が強調表示されます。

無線機に参加失敗の表示がされる場合、お近くの販売店またはシステム管理者までお問い合わせください。

登録拒否

システムへの登録が承諾されない場合、登録拒否を示すインジケータが表示されます。

無線機は、登録拒否の理由を個別に表示しません。一般には、システムオペレータがシステムへの無線機のアクセスを無効にすると、登録が拒否されます。

無線機が登録拒否されているときは、無線機に「どうろくきょひ」と表示され、黄色の LED が 2 回ずつ点滅してサイトを検索していることが示されます。

4.8

ゾーンとチャネルの選択

この章では、無線機でゾーンまたはチャネルを選択する操作について説明します。

最大 250 個の Capacity Max ゾーンを無線機にプログラムでき、1 ゾーンの最大チャネル数は 160 です。各 Capacity Max ゾーンは、指定可能な位置を最大 16 件含みます。

4.8.1

ゾーンの選択

下記の手順に従って、無線機で必要なゾーンを選択します。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた【ゾーンせんたく】ボタンを押します。[ステップ 3](#)に進みます。
-  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して【ゾーン】に移動します。

 を押して選択します。

ディスプレイに ✓ と現在のゾーンが表示されます。

3 ▲ または ▼ を押して必要なゾーンに移動しま

す。 を押して選択します。

ディスプレイに【<ゾーン> せんたくずみ】が一時的に表示され、すぐに選択されたゾーンの画面に戻ります。

4.8.2

エイリアス検索を使用したゾーンを選択

下記の手順に従って、エイリアス検索を使用して、無線機で必要なゾーンを選択します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して「ゾーン」に移動します。
 を押して選択します。
ディスプレイに ✓ と現在のゾーンが表示されます。
- 3 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。
ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。
- 4 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。
エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されません。同じ名前のエントリが2つ以上ある場合、リス

トの最初に記載されたエントリがディスプレイに表示されます。

テキスト行の1行目に入力した文字が表示されます。テキスト行の次の行に検索結果の短い一覧が表示されます。

- 5  を押して選択します。

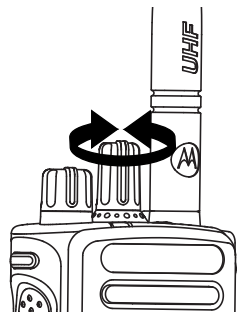
ディスプレイに「<ゾーン> せんたくずみ」が一時的に表示され、すぐに選択されたゾーンの画面に戻ります。

4.8.3

通話タイプの選択

チャンネル セレクタ ノブを使用して通話タイプを選択します。無線機のプログラム方法に応じてグループ コール、ブロードキャスト コール、一斉コール、または個別コールを選択可能です。チャンネル セレクタ ノブを異なる位置 (通話タイプが割り当てられている位置) に変更する場合、無線機を Capacity Max System に再登録することになります。無線機は、新しいチャンネル セレクタ ノブ位置の通話タイプにプログラムされているグループ ID に登録します。

プログラムされていないチャンネルを選択した場合、無線機は動作しないため、選択せずにチャンネル セレクタ ノブを使用して、プログラムされているチャンネルを選択してください。



必要なゾーンが表示されたら (無線機に複数のゾーンがある場合)、プログラムされているチャンネル セレクタ ノブを回して 通話タイプを選択します。

4.8.4

サイトの選択

1 つのサイトは、特定の 1 エリアの通信範囲を規定します。マルチサイト ネットワークでは、現在のサイトからの信号

レベルが受容できないレベルまで下がると、Capacity Max 無線機は、新しいサイトを自動的に検索します。

Capacity Max システムは、最大 250 サイトをサポートできます。

4.8.5

ローミング要求

ローミング要求は、現在のサイトからの信号が十分であっても、異なるサイトを検索するよう無線機に指示します。

使用可能なサイトが存在しない場合:

- 無線機に『けんさくちゅう』と表示され、サイト リストの検索が継続されます。

- 前のサイトがまだ使用できる場合は、無線機が前のサイトに戻ります。



注：
ディーラーがプログラムします。

プログラムされた【手動ローミング】ボタンを押します。

無線機が新しいサイトに切り替わったことを示すトーンが聞こえます。ディスプレイに「サイト ID < サイト番号 >」が表示されます。

4.8.6

サイト ロック オン/オフ

オンに切り替えた場合、無線機は現在のサイトのみを検索します。オフに切り替えた場合、無線機は現在のサイトに加え、他のサイトも検索します。

プログラムされた【サイト ロック】ボタンを押します。

【サイト ロック】機能をオンに切り替えると、

- ポジティブ インジケータ トーンが聞こえて、無線機が現在のサイトにロックされていることを示しています。
- ディスプレイに「サイト ロック済み」と表示されます。

【サイト ロック】機能をオフに切り替えると、

- ネガティブ インジケータ トーンが聞こえます。無線機のロックが解除されていることを示しています。
- ディスプレイに「サイト ロックかいじょ」と表示されます。

4.8.7

サイト制限

Capacity Max システムでは、無線機のシステム管理者が、無線機の使用を許可するネットワーク サイトと禁止するネットワーク サイトを決定できます。

許可サイトと禁止サイトのリストを変更するために、無線機をプログラミングし直す必要はありません。禁止されているサイトで無線機が登録を試みると、無線機はこのサイトが禁止されていることを示す応答を受信します。その

後、無線機では、異なるネットワーク サイトが検索されません。

サイトの制約が発生すると、無線機に「とうろくきょひ」と表示され、黄色の LED が 2 回ずつ点滅してサイトを検索していることが示されます。

4.8.8

サイト トランキング

サイト トランキングは Capacity Max システムでのみ使用できます。サイトがシステム トランキングとみなされるためには、トランク コントローラと通信できる必要があります。

サイトがシステムのトランク コントローラと通信できない場合、無線機はサイト トランキング モードになります。サイト トランキング モードの無線機は、定期的に音声および表示による通知を行って、機能が制限されていることをユーザーに知らせます。

サイト トランキング モードの場合、無線機に「サイト トランキング」と表示され、反復トーンが鳴ります。

サイト トランキング モードの無線機は、グループおよび個別の音声通信を行うことも、同じサイト内の他の無線機にテキスト メッセージを送信することもできます。音声コン

ソール、ロギング レコーダ、電話ゲートウェイ、およびデータ アプリケーションが同サイトの無線機と通信することはできません。

複数サイトにまたがる通信に参加している無線機がサイト トランキング モードになると、同じサイト内の他の無線機としか通信できなくなります。他のサイトとの通信は失われます。



注：

無線機の現在の位置をサービス対象エリアとするサイトが複数あり、いずれかのサイトがサイト トランキング モードになると、そのサイトの無線機は、圏内にある別のサイトにローミングします。

4.9

通信

この章では、通信の受信、応答、発信、停止の操作について説明します。

以下の機能のいずれかを使用してチャネルを選択した後、無線機のエイリアスまたは ID、あるいはグループのエイリアスまたは ID を選択できます。

エイリアス検索

この方法は、キーパッド マイクを併用して、グループ通信、個別通信、および一斉通信のみに使用します。

連絡先リスト

この方法では、連絡先リストに直接アクセスできます。

ダイアル (連絡先を使用)

この方法は、キーパッド マイクを併用して、個別通信および通話のみに使用します。

プログラム可能な数値キー

この方法は、キーパッド マイクを併用して、グループ通信、個別通信、および一斉通信のみに使用します。



注：

各数値キーに割り当てできるのは単一のエイリアスまたは ID ですが、単一のエイリアスまたは ID は、複数の数値キーに関連付けできます。キーパッド マイクのすべての数値キーに割り当てできます。詳細については、[プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て ページ 300](#) を参照してください。

プログラムされた [ワン タッチ アクセス] ボタン

この方法は、グループ、個別、電話通信のみに使用します。

ワン タッチ アクセス ボタンでは、プログラム可能ボタンの短押しまたは長押しに、それぞれ単一の ID のみを割り当てできます。お使いの無線機で、複数の [ワン タッチ アクセス] ボタンをプログラムできます。

プログラム可能ボタン

この方法は、電話通話のみに使用します。

4.9.1

グループ通信

ユーザー グループとの通話を受信/発信するには、無線機をそのグループの所属に設定する必要があります。

4.9.1.1

グループ通話の発信

ユーザーのグループに通話を発信するには、無線機がそのグループの一部として設定されている必要があります。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- アクティブなグループのエイリアス (名称) または ID のチャンネルを選択します。[通話タイプの選択 ページ 57](#) を参照してください。
- プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。

2 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。テキスト行の 1 行目に【グループ コール】アイコンとエイリアスが表示されます。

3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
- **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

4 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。ディスプレイに【グループ コール】アイコン、エイリアスまたは ID と、送信側無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。

5 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が【PTT】ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答

できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

通話の発信者は  を押して、グループ コールを終了できます。

4.9.1.2

連絡先リストを使用したグループ コールの発信

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。

4 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。

1 行目に、無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。2 行目には、【グループ コール】と【グループ コール】アイコンが表示されます。

5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
- PTT サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

6 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。ディスプレイに【グループ コール】アイコン、エイリアスまたは ID と、送信側無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。

7 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が [PTT] ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答

できるようになったことを示しています。電話に応答するには、PTT ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

短いトーンが聞こえます。ディスプレイに【コール しゅうりょう】と表示されます。

4.9.1.3

プログラム可能な数値キーを使用したグループ コールの発信

下記の手順に従って、プログラム可能な数値キーを使用して無線機でグループ コールを発信します。

- 1 ホーム画面が表示されている場合、プログラム可能な数値キーを長く押すと、事前に定義されたエイリアスまたは ID が表示されます。

数値キーが特定のモードのエントリに割り当てられている場合、別のモードで数値キーを長く押しても、この機能は使用できません。

数値キーがエントリに割り当てられていない場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

2 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイの右上隅に [グループ コール] アイコンが表示されます。テキスト行の 1 行目に、発信者のエイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に、[グループ コール] の通話ステータスが表示されます。

3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
- **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。ディスプレイに、宛先のエイリアスが表示されます。

5 チャンネル フリー指示機能が有効な場合、送信無線機で **[PTT]** ボタンが離された瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるよ

うになったことを示します。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。通話を開始する前の画面に戻ります。

通話発信者は  を押して、グループ コールを終了できます。

詳細については、「[プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て ページ 300](#)」を参照してください。

4.9.1.4

エイリアス検索を使用したグループ コールの発信

エイリアスや英数字検索を使用して、必要な無線機のエイリアスを取得することもできます。この機能は、[れんらくさき] のみに適用されます。相手の無線機が利用不可の場合、短いトーンが鳴り、ディスプレイに [あいてさきむこ

う』と表示され、無線機プレゼンス チェックを開始する前のメニューに戻ります。



注:

エイリアス検索を終了するには、 ボタンまたは  を押します。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。

ディスプレイにアルファベット順でエントリが表示されます。

3 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。
ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。

4 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。

エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されません。同じ名前のエントリが2つ以上ある場合、リストの最初に記載されたエントリがディスプレイに表示されます。

テキスト行の1行目に入力した文字が表示されます。テキスト行の次の行に検索結果の短い一覧が表示されます。

5 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに宛先 ID、通話タイプ、[通話] アイコンが表示されます。

6 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

7 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。
相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。

8 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **[PTT]** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答

できるようになったことを示しています。電話に
応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた
時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴
ります。ディスプレイに【Call Ended】と表示され
ます。

通話発信者は  を押して、グループ コールを終了
できます。

4.9.1.5

グループ通話への応答

グループ通話を受信した場合:

- 緑色の LED が点滅します。
- テキスト行の 1 行目に発信者のエイリアスが表示され
ます。
- テキスト行の 2 行目に、グループ コール エイリアスが
表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから
聞こえます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- チャンネル フリー指示機能が有効になっている場
合、送信無線機が **[PTT]** ボタンを放した瞬間に、
短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャネ
ルが応答できるようになったことを示していま
す。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押しま
す。
- 音声割り込み機能が有効になっている場合、**[PTT]**
ボタンを押して送信側無線機から音声に割り込ん
で、応答できるようにそのチャンネルを解放します。

緑色の LED が点灯します。

2 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに
向かってはっきりと話します (有効な場合)。
- **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイク
に向かってはっきりと話してください (有効な場
合)。

3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた
時間が経過すると、通話が終了します。

4.9.2

ブロードキャスト コール

ブロードキャスト コールは、ユーザーからグループ全体に対する一方向の音声通話です。

ブロードキャスト コール機能では、通話を開始したユーザーのみがグループへ送信でき、通話の受信者は応答できません。

ブロードキャストの発信者は、ブロードキャスト コールを終了することもできます。ユーザー グループとの通話を受信/発信するには、無線機がそのグループの一部として設定されている必要があります。

4.9.2.1

ブロードキャスト コールの発信

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - アクティブなグループのエイリアス (名称) または ID のチャンネルを選択します。[通話タイプの選択 ページ 57](#) を参照してください。
 - プログラムされた【ワンタッチ アクセス】ボタンを押します。

- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに【グループ コール】アイコンとエイリアスが表示されます。

- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
- **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

通話発信者は、 を押して、ブロードキャスト コールを終了できます。

4.9.2.2

連絡先リストを使用したブロードキャスト コールの発信

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。
 ③ OK を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。
 ③ OK を押して選択します。

- 4 PTT ボタンを押して通話を発信します。
 緑色の LED が点滅します。
 1 行目に、無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。2 行目には、[グループ コール] と [グループ コール] アイコンが表示されます。

- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
 - PTT サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

通話発信者は、⑤ を押して、ブロードキャスト コールを終了できます。

4.9.2.3

プログラム可能な数値キーを使用したブロードキャスト コールの発信

下記の手順に従って、プログラム可能な数値キーを使用して無線機でブロードキャスト コールを発信します。

- ホーム画面が表示されている場合、プログラム可能な数値キーを長く押すと、事前に定義されたエイリアスまたは ID が表示されます。

数値キーが特定のモードのエントリに割り当てられている場合、別のモードで数値キーを長く押しても、この機能は使用できません。

数値キーがエントリに割り当てられていない場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイの右上隅に [グループ コール] アイコンが表示されます。テ

キスト行の 1 行目に発信者のエイリアスが表示されます。

3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
- **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

通話発信者は、 を押して、ブロードキャスト コールを終了できます。

- テキスト行の 2 行目に、グループ コール エイリアスが表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。



注：
ブロードキャスト コール中は、受信ユーザーがトークバックすることはできません。ディスプレイに「トークバック禁止」と表示されます。ブロードキャスト コール中に **PTT** ボタンを押すと、トークバック禁止音が瞬間的に鳴ります。

4.9.3

個別コール

個別コールとは、1 台の無線機から別の 1 台の無線機への通話です。

個別コールには、2 つの設定方法があります。

- 最初の通話タイプは OACSU (Off Air Call Set-Up) と呼ばれています。OACSU は、無線機のプレゼンス チェック実施後に通話をセットアップし、通話を自動的に完了します。
- 2 つ目のタイプは FOACSU (Full Off Air Call Set-Up) と呼ばれています。FOACSU でも、無線機のプレゼンス

4.9.2.4

ブロードキャスト コールの受信

下記の手順に従って、無線機でブロードキャスト コールを受信します。

ブロードキャスト コールを受信した場合:

- 緑色の LED が点滅します。
- テキスト行の 1 行目に発信者のエイリアスが表示されます。

チェック実施後に通話をセットアップします。ただし、FOACSU の通話は、通話の完了にユーザーの確認を必要とし、ユーザーは通話を許可するか拒否するかを選択することができます。

通話タイプはシステム管理者が設定します。

個別コールの設定前にターゲットの無線機が利用可能になっていない場合は、以下の状態になります。

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
- 無線機プレゼンス チェックを開始する前のメニューに戻ります。



注：

通話の発信者と受信者のどちらでも、 を押すことによって、進行中の個別コールを終了できます。

4.9.3.1

個別通話の発信

個別コールを開始するには無線機をプログラムする必要があります。この機能が無効である場合に通話を開始すると、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。相手の無

線機が利用不可の場合、短いトーンが鳴り、ディスプレイに「あいてさきむこう」と表示されます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- アクティブな無線機のエイリアスまたは ID のチャンネルを選択します。[通話タイプの選択 ページ 57](#) を参照してください。
- プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。

2 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに【個別通話】アイコン、無線機のエイリアス、通話ステータスが表示されます。

3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

4 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。

- 5 音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。短いトーンが鳴ります。ディスプレイに「コールしゅうりょう」と表示されます。

通話の発信者と受信者のどちらでも、 を押すことによって、進行中の個別通話を終了できます。

4.9.3.2

プログラム可能な数値キーを使用した個別コールの発信

下記の手順に従って、プログラム可能な数値キーを使用して無線機で個別コールを発信します。

- 1 ホーム画面が表示されている場合、プログラム可能な数値キーを長く押すと、事前に定義されたエイリアスまたは ID が表示されます。

数値キーが特定のモードのエントリに割り当てられている場合、別のモードで数値キーを長く押しても、この機能は使用できません。

数値キーがエントリに割り当てられていない場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに「こべつコール」アイコン、加入者 ID またはエイリアス、通話ステータスが表示されます。

- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
- **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。宛先のエイリアスが表示されます。

- 5 音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。短いトーンが鳴ります。ディスプレイに「Call Ended」と表示されます。

通話の発信者と受信者のどちらでも、 を押すことによって、進行中の個別コールを終了できます。

詳細については、[プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て ページ 300](#) を参照してください。

4.9.3.3

エイリアス検索を使用した個別コールの発信

エイリアスや英数字検索を使用して、必要な無線機のエイリアスを取得することもできます。この機能は、[れんらくさき] のみに適用されます。



注：

エイリアス検索を終了するには、 ボタンまたは  を押します。

1

 を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。
 を押して選択します。

ディスプレイにアルファベット順でエントリが表示されます。

3 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。
ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。

4 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。
エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されません。同じ名前のエントリが2つ以上ある場合、リストの最初に記載されたエントリがディスプレイに表示されます。
テキスト行の1行目に入力した文字が表示されます。テキスト行の次の行に検索結果の短い一覧が表示されます。

5 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに宛先 ID、通話タイプ、および【個別通話】アイコンが表示されます。

6 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

7 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。

8 音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。短いトーンが鳴ります。ディスプレイに【Call Ended】と表示されます。

通話の発信者と受信者のどちらでも、 を押すことによって、進行中の個別コールを終了できます。

ワンタッチ コール ボタンを使用した個別コールの発信

ワンタッチ コール機能を使用すると、事前定義された個別コール エイリアスまたは ID に対する個別コールを簡単に発信できます。この機能は、ボタンを短くまたは長く押すという、プログラム可能なボタンの押し方に割り当てることができます。

ワンタッチ コール ボタンには、エイリアスまたは ID を 1 つのみ割り当てることができます。無線機には、複数の ワンタッチ コール ボタンをプログラムできます。

1 プログラムされた【ワンタッチ コール】ボタンを押し、事前に定義された個別通話エイリアスまたは ID に個別コールを発信します。

2 PTT ボタンを押して通話を発信します。

LED が緑色で点灯します。

ディスプレイに個別コール エイリアスまたは ID が表示されます。

4.9.3.4

- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話します。

- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

ターゲットの無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

通話の発信者と受信者のどちらでも、 を押すことによって、進行中の個別コールを終了できます。

4.9.3.5

ダイアルを使用した個別コールの発信

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [ダイアル] に移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [むせんきばんごう] に移動します。  を押して選択します。

- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 無線機の ID を入力し、 を押して先に進みます。
- 前にダイアルした無線機の ID を編集し、 を押して先に進みます。

- 6 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。宛先のエイリアスが表示されます。

- 7 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

8 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。ディスプレイに送信ユーザーのエイリアスまたは ID が表示されます。

9 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が [PTT] ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、PTT ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。ディスプレイに [Call Ended] と表示されます。

通話の発信者と受信者のどちらでも、 を押すことによって、進行中の個別コールを終了できます。

4.9.3.6

個別コールの受信

OACSU (Off Air Call Set-Up) として設定された個別コールを受信する場合:

- 緑色の LED が点滅します。
- 【個別コール】アイコンが右上隅に表示されます。
- テキスト行の 1 行目に発信者のエイリアスが表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。



注:

無線機の設定方法に応じて、個別コールに応答する OACSU または FOACSU (Full Off Air Call Set-Up) がユーザーの確認応答を必要とする場合と必要としない場合があります。

OACSU 設定では、無線機は自動的にミュートを解除して通話を開始します。

4.9.3.7

個別コールの受信

FOACSU (Full Off Air Call Set-Up) として設定された個別コールを受信する場合:

- 緑色の LED が点滅します。
- 【個別コール】アイコンが右上隅に表示されます。

- テキスト行の 1 行目に発信者のエイリアスが表示されます。

1 FOACSU として設定された個別コールを許可するには、次のいずれかを行います。

- ▲ または ▼ を押して『きよか』に移動し、



を押して個別コールに応答します。

- 任意のエントリで **PTT** ボタンを押します。

緑色の LED が点灯します。

2 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。ディスプレイに『Call Ended』と表示されます。



注：

通話の発信者と受信者のどちらでも、 を押すことによって、進行中の個別コールを終了できます。

4.9.3.8

個別コールの拒否

FOACSU (Full Off Air Call Set-Up) として設定された個別コールを受信する場合：

- 緑色の LED が点滅します。
- 【個別コール】アイコンが右上隅に表示されます。
- テキスト行の 1 行目に発信者のエイリアスが表示されます。

FOACSU として設定された個別コールを拒否するには、次のいずれかを行います。

- ▲ または ▼ を押して『きよひ』に移動し、



を押して個別コールを拒否します。

-  を押して個別コールを拒否します。

4.9.4

一斉コール

一斉コールは、システム設定に応じて、1 台の無線機からサイトの各無線機またはサイト グループの各無線機へのコールです。

一斉コールは、ユーザーの注意を十分に促す必要がある重要な通知に使用されます。システムのユーザーは、一斉コールには応答できません。

Capacity Max は、サイト一斉コールとマルチサイト一斉コールをサポートしています。システム管理者は、無線機でこれらのいずれかまたは両方を設定できます。



注：
無線機は、システム全体への一斉コールをサポートできますが、Motorola Solutions インフラストラクチャは、システム全体への一斉コールをサポートしません。

一斉コールの受信

一斉コールを受信すると、以下の状態になります。

- トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点滅します。
- ディスプレイの右上隅に【グループ コール】アイコンが表示されます。
- テキスト行の 1 行目に発信者のエイリアス ID が表示されます。
- テキスト行の 2 行目に、設定の種類に応じて【いっせいコール】、【サイトいっせい コール】、または【マルチサイト コール】のいずれかが表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

通話が終了すると、無線機は一斉コールを受信する前の画面に戻ります。

チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信側無線機が **[PTT]** ボタンを放したときに、短い警告トーンが

4.9.4.1

鳴ります。これは、そのチャンネルが使用できるようになったことを示しています。一斉コールには応答できません。



注：

通話を受信中に別のチャンネルに切り替えると、無線機は一斉コールの受信を停止します。一斉コールが終了するまでは、メニューナビゲーションや編集は続行できません。

4.9.4.2

一斉コールの発信

一斉コールを発信するには無線機をプログラムする必要があります。

- 1 アクティブな一斉コールグループのエイリアスまたは ID があるチャンネルを選択します。[通話タイプの選択 ページ 57](#) を参照してください。

- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに [グループコール] アイコンと、設定の種類に応じて [いっせいコール]、[サイトいっせいコール]、または [マルチサイトコール] のいずれかが表示されます。

- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
- **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

チャンネルのユーザーは、一斉コールには応答できません。

通話発信者は、 を押して、一斉コールを終了できます。

4.9.4.3

プログラム可能な数値キーを使用した一斉コールの発信

下記の手順に従って、プログラム可能な数値キーを使用して無線機で一斉コールを発信します。

- 1 ホーム画面が表示されている場合、事前に定義されたエイリアスまたは ID に割り当てられたプログラム可能な数値キーを長く押します。

数値キーが特定のモードのエントリに割り当てられている場合、別のモードで数値キーを長く押しても、この機能は使用できません。

数値キーがエントリに割り当てられていない場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

2 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに [グループ コール] アイコンと、設定の種類に応じて [いっせい コール]、[サイトいっせい コール]、または [マルチサイト コール] のいずれかが表示されます。

3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
- **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

通話発信者は、 を押して、一斉コールを終了できます。

詳細については、「[プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て ページ 300](#)」を参照してください。

4.9.4.4

エイリアス検索を使用した一斉コールの発信

エイリアスや英数字検索を使用して、必要な無線機のエイリアスを取得することができます。この機能は、[れんらくさき] のみに適用されます。下記の手順に従って、エイリアス検索を使用して無線機で一斉コールを発信します。



注：

エイリアス検索を終了するには、 ボタンまたは  を押します。

1

 を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動しま

す。  を押して選択します。

ディスプレイにアルファベット順でエントリが表示されます。

3 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。

ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。

4 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。

エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されません。同じ名前のエントリが2つ以上ある場合、リストの最初に記載されたエントリがディスプレイに表示されます。

テキスト行の1行目に入力した文字が表示されます。テキスト行の次の行に検索結果の短い一覧が表示されます。

5 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色のLEDが点灯します。ディスプレイに宛先ID、通話タイプ、[グループ コール] アイコンが表示されます。

6 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。



注：

通話発信者は、 を押して、一斉コールを終了できます。

4.9.5

電話通話

電話通話は、個別の無線機または無線機グループと電話機との間の通話です。

無線機の設定方法によって、以下の機能が利用できる場合とできない場合があります。

- アクセス コード
- デュアル トーン マルチ周波数 (DTMF) トーン
- ディアクセス コード

- 電話通話受信時の発信者のエイリアスまたは ID の表示
- 電話通話を受けるか受けないかを選択できる機能

電話通話機能は、システムで電話番号を割り当てて設定することによって有効にすることができます。無線機がどのようにプログラムされているかについては、システム管理者に確認してください。

4.9.5.1

電話通話の発信

下記の手順に従って、無線機で通話を発信します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた **[PTT]** ボタンを押します。通話エントリ リストが表示されます。
 - プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。 [ステップ 2](#) に進みます。
-
- 2 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。
通話連絡先画面で **PTT** ボタンを押した場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに **【コール >OK】** と表示されます。
アクセス コードが事前に設定されていない場合、ディスプレイに **【アクセスコード:】** と表示されます。

3

アクセス コードを入力し、  を押して先に進みます。

アクセス コードまたはディアクセス コードは 10 文字以下にする必要があります。

4

PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに 電話通話 アイコン、無線機のエイリアス、通話ステータスが表示されます。

通話に成功した場合:

- DTMF トーンが鳴ります。
- 電話機ユーザーのキャッチホン トーンが鳴ります。
- ディスプレイには、無線機のエイリアスおよび 電話通話 アイコンが表示されます。

通話に失敗した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに『でんわ NG』と表示されてから、『アクセスコード:』と表示されます。
- アクセスコードが[れんらくさき]リストで事前に設定されている場合、そのコールを開始する前の画面に戻ります。

5 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

6 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

7 通話中に追加の数字を入力する必要がある場合、

 を押して先に進みます。

通話中に必要な追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、通話を開始する前の画面に戻ります。

DTMF トーンが鳴ります。前の画面に戻ります。

8

通話を終了するには、 を押します。

9 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ディアクセスコードが事前に設定されていない場合は、ディスプレイに『ディアクセスコード:』と表示されたらディアクセスコードを入力し、

 を押して先に進みます。前の画面に戻ります。

- プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。ワンタッチ アクセス ボタンのエントリが空の場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

DTMF トーンが鳴り、ディスプレイに『でんわせつだん』と表示されます。

通話が正常に終了した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに『Call Ended』と表示されます。

通話が正常に終了しなかった場合、無線機は通話画面に戻ります。最後の 2 つの手順を繰り返すか、電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます。

4.9.5.2

プログラム可能なボタンで電話通話を行う

下記の手順に従って、プログラム可能なボタンで通話を行います。

- 1 プログラムされた **[TEL]** ボタンを押します。通話エントリ リストが表示されます。

- 2 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID

に移動します。  を押して選択します。

アクセス コードが [れんらくさき] リストで事前に設定されていなかった場合、ディスプレイには [アクセスコード:] と表示されます。アクセス コードを入

力し、  ボタンを押して先に進みます。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに 電話通話 アイコン、無線機のエイリアスまたは ID、通話ステータスが表示されます。

通話設定に成功した場合:

- DTMF トーンが鳴ります。

- 電話機ユーザーのキャッチホン トーンが鳴ります。
- ディスプレイに 電話通話 アイコン、無線機のエイリアスまたは ID、[でんわつうわ]、通話ステータスが表示されます。

通話設定に失敗した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに [でんわ NG] と表示されます。
- アクセス コード入力画面に戻ります。アクセスコードが [れんらくさき] リストで事前に設定されている場合、そのコールを開始する前の画面に戻ります。

- 3 話すには、**PTT** ボタンを押して応答します。相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

- 4 通話中に数字を入力する必要がある場合は、次の操作を実行します。以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- キーボードのいずれかのキーを押し、追加の数字の入力を始めます。ディスプレイに [ついかのすうじ:] と表示され、カーソルが点滅します。残り

の数字を入力し、 を押して、先に進みます。
DTMF トーンが鳴り、前の画面に戻ります。

- ワンタッチ アクセス ボタンを押します。DTMF トーンが鳴ります。ワンタッチ アクセス ボタンのエントリが空の場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

5

通話を終了するには、 を押します。

ディアクセス コードが [れんらくさき] リストで事前に設定されていなかった場合、ディスプレイに『ディアクセスコード:』と表示されます。ディアクセス

コードを入力し、 ボタンを押して先に進みます。
DTMF トーンが鳴り、ディスプレイに『でんわせつだん』と表示されます。

通話終了設定に成功するとトーンが鳴り、ディスプレイに『でんわしゅうりょう』と表示されます。

通話終了設定に失敗すると、通話画面に戻ります。
ステップ 3 と **ステップ 5** を繰り返すか、電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます。

通話連絡先画面で **PTT** ボタンを押すと、トーンが鳴り、ディスプレイに『コール >OK』と表示されます。

電話機ユーザーが通話を終了するとトーンが鳴り、ディスプレイに『でんわしゅうりょう』と表示されます。

電話通話でリクエストされた追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、その通話を開始する前の画面に戻ります。



注:

チャンネル アクセス中に  を押すと、コール試行が解除され、トーンが鳴ります。

コール中、ディアクセス コードが事前設定されている状態でワンタッチ アクセス ボタンを押すか、追加の数字の入力としてディアクセス コードを入力すると、コールの終了が試行されます。

4.9.5.3

連絡先リストを使用した電話通話の発信

下記の手順に従って、連絡先リストを使用して無線機で通話を発信します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。
 を押して選択します。
ディスプレイにアルファベット順でエントリが表示されます。
- 3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。
 を押して選択します。
通話連絡先画面で **PTT** ボタンを押した場合:
 - ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
 - ディスプレイに [コール >OK] と表示されます。選択したエントリが空の場合:
 - ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- ディスプレイに [つうわむこうなばんごう] と表示されます。

-
- 4 ▲ または ▼ を押して [つうわ] に移動します。

 を押して選択します。

アクセス コードが事前に設定されていない場合、ディスプレイに [アクセスコード:] と表示されます。

-
- 5 アクセス コードを入力し、 を押して先に進みます。

アクセス コードまたはディアクセス コードは 10 文字以下にする必要があります。

ディスプレイには、[よびだしちゅう]、無線機のエイリアスまたは ID、プライベート通話 アイコンが表示されます。

通話に成功した場合:

- DTMF トーンが鳴ります。
- 電話機ユーザーのキャッチホン トーンが鳴ります。

- ディスプレイには、無線機のエイリアスまたは ID、電話通話 アイコン、および『でんわつうわ』が表示されます。

通話に失敗した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに『でんわ NG』と表示されてから、『アクセスコード:』と表示されます。
- アクセス コードが連絡先リストで事前に設定されている場合、通話を開始する前の画面に戻ります。

6 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

[RSSI] アイコンが消えます。

7 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

8 通話中に追加の数字を入力する必要がある場合は、

 を押して先に進みます。

通話中に必要な追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、通話を開始する前の画面に戻ります。

DTMF トーンが鳴ります。前の画面に戻ります。

9

通話を終了するには、 を押します。

10 ディアクセス コードが事前に設定されていない場合は、ディスプレイに『ディアクセスコード:』と表示

されたらディアクセス コードを入力し、 を押して先に進みます。

前の画面に戻ります。DTMF トーンが鳴り、ディスプレイに『でんわせつだん』と表示されます。

通話が正常に終了した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに『Call Ended』と表示されます。

通話が正常に終了しなかった場合、無線機は通話画面に戻ります。[ステップ 9](#)と [ステップ 10](#)を繰り返すか、電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます。通話連絡先画面で PTT ボタンを押すと、トーン

が鳴り、ディスプレイに [コール >OK] と表示されます。

電話機ユーザーが通話を終了するとトーンが鳴り、ディスプレイに『でんわしゅうりょう』と表示されます。

電話通話でリクエストされた追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、その通話を開始する前の画面に戻ります。

4.9.5.4

エイリアス検索を使用した電話通話の発信

エイリアスや英数字検索を使用して、必要な無線機のエイリアスを取得することもできます。この機能は、[れんらくさき] のみに適用されます。下記の手順に従って、エイリアス検索を使用して無線機で通話を発信します。



注：

エイリアス検索を終了するには、 ボタンまたは  を押します。

1



を押してメニューにアクセスします。

2

▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。



を押して選択します。

ディスプレイにアルファベット順でエントリが表示されます。

3

必要なエイリアスの最初の文字を入力します。

ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。

4

必要なエイリアスの残りの文字を入力します。

エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されません。同じ名前のエントリが2つ以上ある場合、リストの最初に記載されたエントリがディスプレイに表示されます。

テキスト行の1行目に入力した文字が表示されます。テキスト行の次の行に検索結果の短い一覧が表示されます。

- 5 必要なエイリアスに通話を発信するには、 を押します。

- 6 ▲ または ▼ を押して「つうわ」に移動します。

 を押して選択します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに宛先 ID、通話タイプ、電話 アイコンが表示されます。

- 7 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

- 8 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。
相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。

- 9 チャンネル フリー指示機能が有効な場合、送信無線機で [PTT] ボタンが離された瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示します。電話に応答するには、PTT ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。ディスプレイに「Call Ended」と表示されます。

4.9.5.5

ダイヤルを使用した電話通話の発信

下記の手順に従って、ダイヤルを使用して無線機で通話を発信します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して「Contacts」に移動します。
 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して、「ダイヤル」に移動します。
 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して、『ばんごう』に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイに『ばんごう:』と表示され、カーソルが点滅します。

- 5 電話番号を入力し、 を押して先に進みます。

アクセスコードが事前に設定されていない場合、ディスプレイに『アクセスコード:』と表示され、カーソルが点滅します。

- 6 アクセスコードを入力し、 を押して先に進みます。アクセスコードまたはディアクセスコードは10文字以下にする必要があります。

緑色のLEDが点灯します。ディスプレイに電話通話アイコン、無線機のエイリアス、通話ステータスが表示されます。

通話に成功した場合:

- DTMF トーンが鳴ります。

- 電話機ユーザーのキャッチホン トーンが鳴ります。
- ディスプレイには、無線機のエイリアスおよび 電話通話 アイコンが表示されます。

通話に失敗した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに『でんわ NG』と表示されてから、『アクセスコード:』と表示されます。
- アクセスコードが連絡先リストで事前に設定されている場合、通話を開始する前の画面に戻ります。

- 7 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

- 8 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

- 9 通話中に追加の数字を入力する必要がある場合は、

 を押して先に進みます。

通話中に必要な追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、通話を開始する前の画面に戻ります。

DTMF トーンが鳴ります。前の画面に戻ります。

10

通話を終了するには、 を押します。

11 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ディアクセス コードが事前に設定されていない場合は、ディスプレイに「ディアクセスコード:」と表示されたらディアクセス コードを入力し、



を押して先に進みます。前の画面に戻ります。

- プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。ワンタッチ アクセス ボタンのエントリが空の場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

DTMF トーンが鳴り、ディスプレイに「でんわせつだん」と表示されます。

通話が正常に終了した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに「Call Ended」と表示されます。

通話が正常に終了しなかった場合、無線機は通話画面に戻ります。[ステップ 10](#) を繰り返します (または電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます)。

4.9.5.6

デュアル トーン マルチ周波数

デュアル トーン マルチ周波数 (DTMF) 機能を使用すると、無線機システム内で電話機システムを操作できます。

4.9.5.6.1

DTMF トーンの開始

下記の手順に従って、無線機で DTMF トーンを開始します。

1 [PTT] ボタンを押し続けます。

2 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 番号を入力して DTMF トーンを開始します。
-  を押して DTMF トーンを開始します。

-  を押して DTMF トーンを開始します。

4.9.5.7

一斉コールとして電話通話への応答

一斉コール通話を受信したときは、受信無線機はトークバックも応答もできません。また受信ユーザーは、一斉コールを終わらせることもできません。

一斉コール通話を受信した場合:

- ディスプレイの右上隅に **【電話】** アイコンが表示されます。
- ディスプレイには、設定の種類に応じて **【いっせいコール】**、**【サイトいっせいコール】**、または **【マルチサイトコール】** のいずれかと **【でんわ】** が表示されます。
- 緑色の LED が点滅します。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

4.9.5.8

グループ コールとして電話通話への応答

下記の手順に従って、無線機でグループ コール通話に応答します。

グループ コール通話を受信した場合:

- ディスプレイに、電話通話 アイコンと **【でんわつうわ】** が表示されます。
- 緑色の LED が点滅します。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

1 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

2 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

3

通話を終了するには、 を押します。



注：

お使いの無線機では、電話通話をグループコールとして終了することはできません。電話機ユーザーが通話を終了する必要があります。受信ユーザーは、通話中にトークバックのみを行うことができます。

ディスプレイに『でんわせつだん』と表示されます。
通話が正常に終了した場合：

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに『Call Ended』と表示されます。

通話が正常に終了しなかった場合、無線機は通話画面に戻ります。[ステップ3](#)を繰り返します(または電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます)。

個別コール通話を受信した場合：

- ディスプレイに、電話通話 アイコンと『でんわつうわ』が表示されます。
- 緑色の LED が点滅します。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

1 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

2 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

3

通話を終了するには、 を押します。



注：

お使いの無線機では、電話通話をグループコールとして終了することはできません。電話機ユーザーが通話を終了する必要があります。受信ユーザーは、通話中にトークバックのみを行うことができます。

ディスプレイに『でんわせつだん』と表示されます。
通話が正常に終了した場合：

- トーンが鳴ります。

4.9.5.9

個別コールとして電話通話への応答

下記の手順に従って、無線機で個別コール通話に応答します。

- ディスプレイに「Call Ended」と表示されます。
- 通話が正常に終了しなかった場合、無線機は通話画面に戻ります。**ステップ 3**を繰り返します (または電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます)。

4.9.6

通話割り込みの開始

次の操作を実行すると、進行中の通話が中断されます。

- 音声 **PTT** ボタンを押します。
- 緊急ボタンを押します。

受信無線機に「つうわ わりこみ」と表示されます。

4.9.7

割り込み通話

割り込み通話では、無線機が実行中の音声送信を停止し、優先送信を開始できます。

割り込み通話機能により、システムは、トランキング チャネルを利用できない場合に、進行中の通話に割り込みます。

緊急通話や一斉コールのような優先度の高い通話は、無線機が送信中でも割り込みが許可されているため、より優先度の高い通話に対応することができます。他の無線周波数 (RF) チャネルが利用できない場合、緊急通話は一斉コールにも割り込みます。

4.9.8

音声割り込み

音声割り込み機能を使うと、進行中の音声送信を停止することができます。

この機能では、割り込みを行う無線機が音声割り込み可能に設定され、送信を行う無線機が音声通話割り込み可能に設定されている場合に、逆チャネル シグナリングを使用して進行中の音声送信を停止します。その後、割り込みを行う無線機は、停止された通話の参加者へ音声送信を行うことができます。

音声割り込み機能によって、通話中の対象者に対して新たに送信を行う成功率が大幅に上がります。

ユーザーが音声割り込み機能にアクセスできるのは、この機能が無線機で設定されている場合のみです。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

4.9.8.1

音声割り込みの有効化

下記の手順に従って、無線機で音声割り込みを開始します。

この機能を使用するには、無線機をプログラムする必要があります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

- 1 通話中に送信に割り込むには、**[PTT]** ボタンを押します。

割り込みされた無線機では、ディスプレイに「つうわりこみ」と表示されます。**[PTT]** ボタンが放されるまで、ネガティブ インジケータ トーンが鳴り続けます。

- 2 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
- **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

4.10

高度な機能

この章では、無線機で利用できる機能の操作について説明します。

ディーラーやシステム管理者が、特定のニーズのために無線機をカスタマイズしている可能性もあります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

4.10.1

通話キュー

通話の処理に利用できるリソースがない場合、通話キューによって、次に利用可能なリソースのシステム キューに通話リクエストを加えることができます。

PTT ボタンを押すと、通話キュー トーンが鳴り、無線機の画面に『待機中の通話』と表示されて、無線機が通話キュー状態に入ったことを示します。通話キュー トーンが鳴ったら **[PTT]** ボタンを放してかまいません。

通話設定が成功すると、以下の状態になります。

- 緑色の LED が点滅します。
- 有効にした場合、通話許可トーンが鳴ります。
- ディスプレイに通話タイプのアイコン、ID、またはエイリアスが表示されます。
- 無線機のコピーは、4 秒以内に **[PTT]** ボタンを押して音声通信を開始します。

通話設定に失敗すると、以下の状態になります。

- 有効にした場合、拒否トーン音が鳴ります。
- ディスプレイに失敗通知画面が瞬間的に表示されます。
- 通話が終了し、無線機は通話設定を終了します。

4.10.2

優先通話

優先通話を使用すると、システムは、すべてのチャンネルがビジー状態のとき、優先通話ではない通話のいずれかを阻止し、高優先の通話を開始することができます。

すべてのチャンネルが高優先の通話で占有されている場合は通話を阻止せず、要求されている高優先度の通話を通話キューに入れます。システムが、要求されている高優先度の通話を通話キューに入れられない場合は失敗の通知を発します。

優先通話のデフォルト設定は、事前に設定されています。プログラム可能ボタンを押して、通常の優先度と高優先を切り替えます。以下の機能を使用する場合、通話の優先度は自動的に事前設定されていたレベルに戻ります。

- すべての音声通話
- DMR III テキスト メッセージ/テキスト メッセージ
- ワーク チケット
- リモート モニタ

優先通話の種類は以下のとおりです。

高優先

無線機には、『つぎのつうわ: 高優先』と表示されません。

無線機のディスプレイ上部に 通話優先度: 高 アイコンが表示されます。

次の通話: 通常優先の音声ガイドが流れます。

通常優先

無線機には、[つぎのつうわ: [通常優先]]と表示されます。

通話優先度: 高 アイコンが消えます。

次の通話: 通常優先の音声ガイドが流れます。

4.10.3

グループ スキャン

この機能を使用すると、無線機では、受信グループ リストに定義されているグループのコールをモニタし、これに参加できます。

スキャンが有効になっていると、受信グループ リストのメンバーに対しては、無線機のミュートが解除されます。

スキャンが無効になっていると、無線機は受信グループ リストのメンバーからの通話を、一斉コール、常設グループ、および選択されているグループの場合を除いて受信できません。

4.10.3.1

96

グループ スキャンのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機でグループ スキャンのオンとオフを切り替えます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [スキャン] に移動します。
 を押して選択します。

- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - ▲ または ▼ を押して [オン] に移動します。
 を押して選択します。
 - ▲ または ▼ を押して [オフ] に移動します。
 を押して選択します。

スキャンが有効になっている場合:

- ディスプレイに [スキャン オン] と [スキャン] アイコンが表示されます。

- 黄色の LED が点滅します。
 - ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- スキャンが無効になっている場合:
- ディスプレイに『スキャン オフ』と表示されます。
 - 【スキャン】アイコンが消えます。
 - LED がオフになります。
 - ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

4.10.4

受信グループ リスト

受信グループ リストは、グループ スキャン リストのメンバーの作成と割り当てができる機能です。

このリストは無線機がプログラムされる場合に作成され、このリストによって、スキャンできるグループが決まります。お使いの無線機は、このリストに含まれる 16 名まで対応できます。

無線機がスキャン リストを編集するようにプログラムされていると、次のことが可能です。

- グループの追加/削除。

- グループの優先度の追加、削除、編集。「[グループの優先度の設定 ページ 98](#)」を参照してください。
- 加入グループの追加、削除、編集。「[加入グループの追加 ページ 99](#)」および「[加入グループの削除 ページ 100](#)」を参照してください。
- 既存のスキャン リストの新しいスキャン リストへの置き換え。

グループが常設グループとしてプログラムされていると、グループはスキャン リストから編集できません。



重要:

リストにメンバーを追加するには、最初に無線機でグループを設定する必要があります。



注:

受信グループ リストは、システム管理者がプログラムします。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

4.10.5

優先度モニタ

優先度モニタ機能を使用すると、無線機は、グループコール中でも優先度の高いグループからのコールを受信すると、自動的にコールを切り替えます。

無線機は、優先度の低いグループのコールを止めて、優先度の高いグループのコールに切り替えます。



注：

この機能は、グループ スキャン機能が有効な場合にのみアクセスできます。

優先度モニタ機能は、受信グループ リストに含まれるメンバーのみに適用されます。優先度グループには、優先度 1 (P1) と優先度 2 (P2) の 2 つがあります。P1 が P2 よりも優先します。Capacity Max システムでは、無線機は次の優先順序に従って通話を受信します。

- 1 P1 グループの緊急コール
- 2 P2 グループの緊急コール
- 3 受信グループ リスト内の非優先グループの緊急コール
- 4 一斉通話
- 5 P1 グループ コール

6 P2 グループ コール

7 受信グループ リスト内の非優先グループ

スキャン リスト内のグループの優先度を追加、削除、編集する方法の詳細については、「[グループの優先度の設定 ページ 98](#)」を参照してください。



注：

この機能は、システム管理者がプログラムします。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

4.10.5.1

グループの優先度の設定

グループ スキャン メニューで、グループの優先度を表示または編集できます。

1



を押してメニューにアクセスします。

2

▲ または ▼ を押して『スキャン』に移動しま



す。を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して『リストへんしゅう』に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要なグループに移動します。  を押して選択します。

現在の優先度は、グループの隣の【ゆうせん1】または【ゆうせん2】アイコンで示されます。

5 ▲ または ▼ を押して『ゆうせんど』に移動します。  を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して必要な優先度に移動します。  を押して選択します。

別のグループが優先度1または優先度2に割り当てられている場合、現在の優先度を上書きするように選択できます。ディスプレイに『うわがき?』が表示されたら、▲ または ▼ を押して次のオプションに移動します。

• 前の手順に戻るには、『いいえ』に移動します。

• 上書きするには、『はい』に移動します。

ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示された後、前の画面に戻ります。優先度アイコンがグループの隣に表示されます。

4.10.6

複数グループの加入

無線機に1サイトで最大7つのグループを設定できます。

受信グループリスト内の16グループのうち、最大7つのグループを加入グループとして割り当てできます。選択したグループおよび優先度グループは、自動的に加入として処理されます。

4.10.6.1

加入グループの追加

下記の手順に従って、加入グループを追加します。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して『スキャン』に移動します。
 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して『リストへんしゅう』に移動します。
 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要なグループ ID またはエイリアスに移動します。
 を押して選択します。
 加入ステータスが『リストへんしゅう』に表示されます。ディスプレイには、選択したグループ ID またはエイリアスの隣に ■ が表示されます。

5 ▲ または ▼ を押して『加入の編集』に移動します。
 を押して選択します。

6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 ・ ▲ または ▼ を押して『オン』に移動します。
 を押して選択します。

・ ▲ または ▼ を押して『オフ』に移動します。
 を押して選択します。

『オン』を選択すると、グループ ID またはエイリアスの隣に ■ が表示されます。

加入が正常に行われると、ディスプレイには、選択したグループ ID またはエイリアスの隣に ✓ が表示されます。

加入が正常に行われなかった場合、グループ ID またはエイリアスの隣には、そのまま ■ が表示されます。



注：
 スキャン リストで、加入グループを最大限の 7 つ選択すると、無線機に『リストがまんぱい』と表示されます。新しい加入グループを選択するには、加入された既存のグループを削除して、新たに追加するグループのために場所を空けます。詳細については、「[加入グループの削除 ページ 100](#)」を参照してください。

4.10.6.2

加入グループの削除

加入リストが満杯のときに新しい加入グループを選択するには、加入された既存のグループを削除して、新たに追加

するグループのために場所を空けます。下記の手順に従って、加入グループを削除します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して『スキャン』に移動します。
 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して『リストへんしゅう』に移動します。
 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して必要なグループ ID またはエイリアスに移動します。
 を押して選択します。
加入ステータスが『リストへんしゅう』に表示されます。ディスプレイには、選択したグループ ID またはエイリアスの隣に ■ が表示されます。

- 5 ▲ または ▼ を押して『加入の編集』に移動します。
 を押して選択します。

- 6 ▲ または ▼ を押して『オフ』に移動します。

 を押して選択します。

『オフ』を選択すると、グループ ID またはエイリアスの隣の ■ が消えます。

4.10.7

トークバック

トークバック機能を使用すると、スキャンの実行中に送信に応答できます。

選択可能なグループ スキャン リストで通話をスキャンしていて、その通話中に **[PTT]** ボタンを押した場合、無線機の動作は、無線機のプログラミングの間にトークバックが有効だったか無効だったかに応じて決まります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

トークバック無効

無線機がスキャンされた通話を終了し、現在選択されているチャンネル位置の連絡先名に基づいて送信を行います。現在選択されている連絡先のコール ハング タイムの期限が切れた後、無線機はホーム チャンネルに戻り、スキャン ハング タイム タイマーを開始します。スキャ

ン ハング タイム タイマーの期限が切れた後、無線機はグループ スキャンを再開します。

トークバック有効

スキャンされた通話のグループ ハング タイム中に **PTT** ボタンを押すと、無線機はスキャン グループへの送信を試みます。



注：

現在選択されているゾーン内のチャンネル位置に割り当てられていないグループに対する通話をスキャンして、通話が終了した場合、適切なゾーンに切り替えてから、グループのチャンネル位置を選択し、そのグループにトーク バックします。

4.10.8

JOB チケット

この機能を使用して、実行するタスクを列挙するディスパッチャからのメッセージを、無線機で受信できます。



注：

この機能は、ユーザーの要件に応じて顧客プログラミング ソフトウェア (CPS) 経由でカスタマイズできます。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

次の 2 つのフォルダに、異なる種類の JOB チケットが含まれます。

[マイ タスク] フォルダ

ユーザーがサインインに使用したユーザー ID に割り当てられた、個人用の JOB チケット

[共有タスク] フォルダ

ユーザーのグループに割り当てられた共有 JOB チケット

JOB チケットに応答して、チケットを JOB チケット フォルダに並べることができます。既定のフォルダ名は **[All]**、**[New]**、**[Started]**、および **[Completed]** です。

JOB チケットは、無線機の電源を入れ直しても保持されます。

[All] フォルダには、すべての JOB チケットが配置されます。お使いの無線機のプログラムに応じて、JOB チケットは、優先度順、次に受信時刻順にソートされます。新規の JOB チケット、状態が最近変化した JOB チケット、および優先度が最高の JOB チケットが、リストの先頭に列挙されます。

JOB チケットの最大件数に達すると、最後のチケットが次のチケットに取って代わられます。無線機のモデルに応じて、最大 100 件または 500 件の JOB チケットがサポート

されます。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。無線機は、JOB チケット ID が重複している JOB チケットを、自動的に検出して破棄します。

JOB チケットの重要度に応じて、ディスパッチャで優先度レベルが追加されます。優先度レベルには、3 段階(優先度 1、優先度 2、優先度 3) あります。優先度 1 が最高の優先度で、優先度 3 が最低の優先度です。その他に、優先度なしの JOB チケットもあります。

ディスパッチャが下記の変更を行うと、それに従って無線機が更新されます。

- JOB チケットの内容修正。
- JOB チケットの優先度レベルの追加または編集。
- JOB チケットのフォルダからフォルダへの移動。
- JOB チケットのキャンセル。

4.10.8.1

JOB チケット フォルダへのアクセス

下記の手順に従って、JOB チケット フォルダへアクセスします。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた **[JOB チケット]** ボタンを押します。[ステップ 3](#) に進みます。

-  を押してメニューにアクセスします。

-
- 2 ▲ または ▼ を押して「ワーク チケット」に移動します。 を押して選択します。

-
- 3 ▲ または ▼ を押して必要なフォルダに移動します。 を押して選択します。

-
- 4 ▲ または ▼ を押して必要な JOB チケットに移動します。 を押して選択します。
-

4.10.8.2

リモート サーバーのログインとログアウト

ユーザー ID を使用して、リモート サーバーへのログインとログアウトが可能です。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して「ログイン」に移動します。
 を押して選択します。

ログイン済みの場合は、メニューに「ログアウト」と表示されます。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。

3 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

4.10.8.3

JOB チケットの作成

無線機は JOB チケットを作成できます。これは、JOB チケット テンプレートをベースにしたもので、実行が必要な作業を送信します。

JOB チケット テンプレートを構成するには、CPS プログラミング ソフトウェアが必要です。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して「JOB チケット」に移動します。
 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して『チケットさくせい』に移動します。  を押して選択します。
-

4.10.8.4

単数の JOB チケット テンプレートを使った JOB チケットの送信

単数の JOB チケット テンプレートを使って無線機が構成されている場合、JOB チケットを送信するには、次の操作を実行します。

- 1 キーパッドを使用して、必要な部屋番号を入力します。  を押して選択します。

- 2 ▲ または ▼ を押して『へやのステータス』に移動します。  を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して必要なオプションに移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『そうしん』に移動します。  を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。

- 5 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
 - ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
-

4.10.8.5

複数の JOB チケット テンプレートを使った JOB チケットの送信

複数の JOB チケット テンプレートを使って無線機が構成されている場合、JOB チケットを送信するには、次の操作を実行します。

1 ▲ または ▼ を押して必要なオプションに移動します。  を押して選択します。

2 ▲ または ▼ を押して『そうしん』に移動します。  を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。

3 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

4.10.8.6

JOB チケットへの応答

下記の手順に従って、無線機で JOB チケットに応答します。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して『JOB チケット』に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して必要なフォルダに移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して必要な JOB チケットに移動します。  を押して選択します。

- 5 サブメニューにアクセスするには、 を再度押します。

対応する数値キー (1 ~ 9) を押して、[クイックへんしん]を行います。

- 6 ▲ または ▼ を押して必要な JOB チケットに移動します。  を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。

- 7 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

4.10.8.7

JOB チケットの削除

下記の手順に従って、無線機で JOB チケットを削除します。

- 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた **[JOB チケット]** ボタンを押します。[ステップ 4](#)に進みます。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- ▲ または ▼ を押して「JOB チケット」に移動します。  を押して選択します。
- ▲ または ▼ を押して必要なフォルダに移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して「すべて」フォルダに移動します。 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して必要な JOB チケットに移動します。 を押して選択します。

6 JOB チケットの表示中に、 を再度押します。

7 ▲ または ▼ を押して「さくじょ」に移動します。 を押して選択します。
ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。

8 確認応答を待ちます。
正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

4.10.8.8

すべての JOB チケットの削除

下記の手順に従って、無線機のすべての JOB チケットを削除します。

- 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた **[JOB チケット]** ボタンを押します。[ステップ 3](#) に進みます。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- ▲ または ▼ を押して「JOB チケット」に移動します。 を押して選択します。
- ▲ または ▼ を押して必要なフォルダに移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して『すべて』フォルダに移動します。 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して『ぜんさくじょ』に移動します。 を押して選択します。

6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して『はい』に移動します。
 を押して選択します。
ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
- ▲ または ▼ を押して『いいえ』に移動します。
 を押して選択します。
前の画面に戻ります。

4.10.9

マルチサイト コントロール

この機能は、現在の無線機チャネルが Capacity Max システムに対して設定されている場合に適用されます。

4.10.9.1

手動サイト検索の有効化

1 下記の作業のどちらかを実行します。

- プログラムされた【手動ローミング】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
-  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して『せってい』に移動します。
 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して『きのうせってい』に移動します。
 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して『サイト ローミング』に移動します。
 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して『サイト サーチ』に移動します。
 ます。  を押して選択します。

トーンが鳴ります。緑色のLEDが点滅します。ディスプレイに『サイト サーチ』と表示されます。

無線機が新しいサイトを見つけると、無線機には次のような通知が表示されます。

- ポジティブ トーンが鳴ります。
- LED が消灯します。
- ディスプレイに『サイト 〈エイリアス〉 見つかりました』と表示されます。

無線機が新しいサイトを見つけられない場合、無線機には次のような通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴ります。
- LED が消灯します。
- ディスプレイに『けんがい』と表示されます。

通信範囲内に新しいサイトが存在するものの無線機が接続できない場合、無線機には次のような通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴ります。

- LED がオフになります。
- ディスプレイに『チャンネル ビジー』と表示されます。

4.10.9.2

サイト ロック オン/オフ

オンに切り替えた場合、無線機は現在のサイトのみを検索します。オフに切り替えた場合、無線機は現在のサイトに加え、他のサイトも検索します。

プログラムされた【サイト ロック】ボタンを押します。

【サイト ロック】機能をオンに切り替えると、

- ポジティブ インジケータ トーンが聞こえて、無線機が現在のサイトにロックされていることを示しています。
- ディスプレイに『サイト ロック済み』と表示されます。

【サイト ロック】機能をオフに切り替えると、

- ネガティブ インジケータ トーンが聞こえます。無線機のロックが解除されていることを示しています。

- ディスプレイに「サイト ロックかいじょ」と表示されます。

4.10.9.3

隣接サイトのリストへのアクセス

この機能では、現在のホーム サイトに隣接するサイトのリストをチェックできます。下記の手順に従って、隣接サイトのリストにアクセスします。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して「Utilities」に移動します。 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して「きき じょうほう」に移動します。 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して、「隣接サイト」に移動します。 を押して選択します。

4.10.10

ホーム チャンネル リマインダ

これは、無線機が一定期間ホーム チャンネルにセットされていない場合に通知を出す機能です。

この機能を有効にしている場合は、無線機が一定期間ホーム チャンネルにセットされていないと、以下の動作が定期的に繰り返されます。

- ホーム チャンネル リマインダ トーンが鳴り、音声ガイドが聞こえます。
- ディスプレイに「ホームいがいのチャンネル」と表示されます。

4.10.10.1

ホーム チャンネル リマインダのミュート

ホーム チャンネル リマインダが鳴った場合に、リマインダを一時的にミュートできます。

プログラムされた ホーム チャンネル リマインダのミュート ボタンを押します。

ディスプレイに「HCR サイレンス」と表示されます。²

4.10.10.2

新しいホーム チャンネルの設定

ホーム チャンネル リマインダが通知された場合は、新しいホーム チャンネルをセットできます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ホーム チャンネルのリセット プログラム可能ボタンを押して、現在のチャンネルをホーム チャンネルとしてセットします。以下の手順をスキップします。
ディスプレイの 1 行目にチャンネル エイリアス、2 行目に「しん ホーム Ch」が表示されます。
-  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。
 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。
 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [ホーム チャンネル] に移動します。
 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して、目的の新しいホーム チャンネルのエイリアスに移動します。
 を押して選択します。
ディスプレイには、選択したチャンネル エイリアスの横に ✓ が表示されます。

4.10.11

[リモート モニタ]

この機能を使用して、特定の無線機のエイリアスまたは ID を持つターゲットの無線機のマイクをオンにします。この

機能を使用することで、ターゲット無線機の周りのあらゆる音声アクティビティをリモートでモニタできます。

この機能を使用するには、お使いの無線機とターゲット無線機の両方をプログラムする必要があります。

開始されると、ターゲットの無線機で緑色の LED が 1 回点滅します。この機能は、プログラムされた期間、または相手の無線機でユーザーが何らかの操作を実行したとき、自動的に停止します。

4.10.11.1

リモート モニタの開始

下記の手順に従って、無線機でリモート モニタを開始します。

- 1 プログラムされた [リモート モニタ] ボタンを押します。

- 2 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID

に移動します。  を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。

3 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
- プログラムされた長さの間、モニタ対象の無線機から音声の再生が開始され、ディスプレイに『きょうせいモニタ』と表示されます。タイマーの期限が切れると、警告トーンが鳴り、LED が消灯します。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

4.10.11.2

連絡先リストを使用したリモート モニタ
の開始

下記の手順に従って、連絡先リストを使用して無線機でリモート モニタを開始します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。
 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。
 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [リモート モニタ] に移動します。
 を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。

5 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
- プログラムされた長さの間、モニタ対象の無線機から音声の再生が開始され、ディスプレイに『きょうせいモニタ』と表示されます。タイマーの期限が切れると、警告トーンが鳴り、LED が消灯します。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

4.10.11.3

ダイアルを使用したりリモート モニタの開始

下記の手順に従って、ダイアルを使用して無線機でリモート モニタを開始します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [ダイアル] に移動します。  を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [むせんきばんごう] に移動します。  を押して選択します。
- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 無線機のエイリアスまたは ID を入力し、  を押して処理を続行します。

- 以前にダイアルした ID を編集し、  を押して処理を続行します。

-
- 6 ▲ または ▼ を押して [リモート モニタ] に移動します。  を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。 緑色の LED が点灯します。

-
- 7 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
- プログラムされた長さの間、モニタ対象の無線機から音声の再生が開始され、ディスプレイに [きょうせいモニタ] と表示されます。タイマーの期

限が切れると、警告トーンが鳴り、LED が消灯します。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

4.10.12

連絡先設定

連絡先は、無線機でアドレス帳として機能します。各エントリは、通話を開始するときに使用するエイリアスまたは ID に対応します。エントリはアルファベット順にソートされます。

各エントリは、コンテキストに応じて、次のような別々の通話タイプに関連づけられています。グループ コール、個別通話、ブロードキャスト コール、サイトー斉コール、マルチサイトー斉コール、PC コール、ディスパッチ コール。

PC コールとディスパッチ コールはデータ関連です。これらはアプリケーションで使用する場合にのみ利用できます。詳細については、データ アプリケーションのマニュアルを参照してください。

[れんらくさき] メニューでは、各エントリを 1 つのプログラミング可能な数値キーに、複数のエントリをキーパッドマイクに割り当てられます。1 つのエントリが 1 つの数値キーに割り当てられている場合は、そのエントリに対してクイック ダイアルを実行できます。



注:

各エントリに割り当てられる数値キーの前にチェックマークが表示されます。チェックマークが「なし」の前にある場合、その数値キーはエントリに割り当てられていません。

連絡先の各エントリには、以下の情報が表示されます。

- 通話タイプ
- 通話エイリアス
- 通話 ID



注:

あるチャンネルで秘話モード機能が有効であれば、そのチャンネルで、秘話対応のグループ コール、個別コール、一斉コール、および通話を発信することができます。無線機と同一のプライバシー キー、または同一のキー値とキー ID が設定された相手の無線機のみが、送信を復号化できます。

4.10.12.1

プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て

下記の手順に従って、無線機でプログラム可能な数値キーにエントリを割り当てます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。
 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。
 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [キー プログラム] に移動します。
 を押して選択します。

- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 目的の数値キーがエントリに割り当てられていない場合、▲ または ▼ を押して目的の数値キーに移動します。
 を押して選択します。
- 目的の数値キーがエントリに割り当てられている場合、ディスプレイに [しようちゅうキー] と表示され、テキスト行の 1 行目に [うわがき?] と表示されます。以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
▲ または ▼ を押して [はい] に移動します。
 を押して選択します。

無線機からはポジティブ インジケータ トーンが聞こえ、ディスプレイに [れんらくさきほぞんずみ] およびポジティブ ミニ通知が表示されます。

前の手順に戻るには、▲ または ▼ を押して [いいえ] に移動します。

4.10.12.2

エントリとプログラミング可能な数値キー間の関連付けの削除

下記の手順に従って、無線機でエントリとプログラミング可能な数値キー間の関連付けを削除します。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた数値キーを長押しして必要なエイリアスまたは ID に移動します。ステップ 4 に進みます。

-  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [キー プログラム] に移動します。 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [なし] に移動します。

 を押して選択します。

テキスト行の 1 行目に、[ぜんキーからさくじょしますか] と表示されます。

6 ▲ または ▼ を押して [はい] に移動します。

 を押して選択します。



注：

エントリが削除されたら、エントリとそのプログラミングされた数値キー間の関連付けは、削除されます。

ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。ディスプレイに [れんらくさきほぞんずみ] と表示されます。
前のメニューに自動的に戻ります。

4.10.12.3

新規連絡先の追加

下記の手順に従って、無線機で新規連絡先を追加します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して「Contacts」に移動します。 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して「しんき とうろく」に移動します。 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して、連絡先タイプを「むせん リスト」または「電話 リスト」から選択します。 を押して選択します。
- 5 キーパッドを使用して連絡先番号を入力し、 を押して先に進みます。

6

キーパッドを使用して連絡先名を入力し、 を押して先に進みます。

7

▲ または ▼ を押して必要な着信音タイプに移動します。 を押して選択します。

ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

4.10.13

通信インジケータ設定

この機能を使用すると、通信やテキスト メッセージの着信音を設定できます。

4.10.13.1

着信音のオンとオフの切り替え (個別コール用)

1

 を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [トーン/アラート] に移動します。 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して [ちゃくしんおん] に移動します。 を押して選択します。

- 6 ▲ または ▼ を押して [こべつコール] に移動します。 を押して選択します。

- 7 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - ▲ または ▼ を押して必要なトーンに移動します。 を押して選択します。

ディスプレイに ✓ と選択したトーンが表示されます。

- ▲ または ▼ を押して [オフ] に移動します。

 を押して選択します。

以前に着信音が有効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が [オフ] の隣に表示されます。

以前に着信音が無効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が [オフ] の隣に表示されません。

4.10.13.2

着信音のオンとオフの切り替え (テキストメッセージ用)

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [トーン/アラート] に移動します。  を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [ちゃくしんおん] に移動します。  を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して [テキスト メッセージ] に移動します。  を押して選択します。
ディスプレイに ✓ と現在のトーンが表示されます。

7 ▲ または ▼ を押して [メッセージ] に移動します。  を押して選択します。
ディスプレイに ✓ と現在のトーンが表示されます。

8 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して必要なトーンに移動します。  を押して選択します。

ディスプレイに ✓ と選択したトーンが表示されます。

- ▲ または ▼ を押して [オフ] に移動します。

 を押して選択します。

以前に着信音が有効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が [オフ] の隣に表示されます。

以前に着信音が無効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が [オフ] の隣に表示されません。

4.10.13.3

着信音のオンとオフの切り替え (ページング用)

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [トーン/アラート] に移動します。  を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [ちゃくしんおん] に移動します。  を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して [ページング] に移動します。  を押して選択します。

7 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して必要なトーンに移動します。  を押して選択します。
ディスプレイに ✓ と選択したトーンが表示されます。

- ▲ または ▼ を押して [オフ] に移動します。

 を押して選択します。

以前に着信音が有効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が [オフ] の隣に表示されます。

以前に着信音が無効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が [オフ] の隣に表示されません。

4.10.13.4

着信音のオンとオフの切り替え (テキスト付きテレメータ ステータス用)

下記の手順に従って、無線機でテレメータ ステータス用着信音のオン/オフを切り替えます。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して『きのうせってい』に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して『トーン/アラート』に移動します。  を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して『ちゃくしんおん』に移動します。  を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して『テレメトリ』に移動します。  を押して選択します。
現在のトーンは、✓で示されます。

7 ▲ または ▼ を押して必要なトーンに移動します。  を押して選択します。 選択した設定の隣りに ✓ A が表示されます。

着信音スタイルの割り当て

特定の連絡先から個別通話、ページング、またはテキストメッセージを受信したときに、事前定義された 11 個の着信音のいずれか 1 つが鳴るように、無線機をプログラムできます。リストを操作すると、各着信音スタイルが鳴ります。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して『Contacts』に移動します。  を押して選択します。
エントリはアルファベット順にソートされます。

3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して『ひょうじ/へんしゅう』に移動します。  を押して選択します。

5

『ちゃくしんおん』メニューが表示されるまで、を押します。

現在のトーンは  で示されます。

6 ▲ または ▼ を押して必要なトーンに移動しま

す。を押して選択します。

ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

1

を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動しま

す。を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動

します。を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [トーン/アラート] に移動

します。を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [ステップ アラート] に移

動します。

6

を押して、ステップ アラートを有効または無効にします。有効にすると、が [Enabled] の隣に表示されます。無効な場合、が [Enabled] の隣で非表示になります。

4.10.13.6

警告トーンの音量を上げる

無線機は、無線機通話に応答がない状態が続くと継続的に警告を発するようにプログラムできます。時間が経つにつれて、アラーム トーンは自動的に大きくなります。この機能はステップ アラートとして知られています。下記の手順に従って、無線機でアラーム トーンの音量を自動的に上げます。

4.10.14

通話履歴機能

無線機は、最近の発信、応答、不在の個別コールをすべて記録します。最近の通話の表示および管理を行うには、通話履歴機能を使用します。

お使いの無線機のシステム設定に応じて、不在着信アラートを通話履歴に含めることができます。各通話リストでは次のタスクを実行できます。

- 連絡先へのエイリアスまたは ID の保存
- 通話の削除
- 詳細の表示

4.10.14.1

最近の通話の表示

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して「つうわ りれき」に移動します。  を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して優先リストに移動します。オプションは「ふざいちゃくしん」、「へんとうずみ」、および「はっしん」リストです。

 を押して選択します。

ディスプレイに最近のエントリが表示されます。

- 4 ▲ または ▼ を押してリストを表示します。

PTT ボタンを押すと、現在ディスプレイに表示されているエイリアスまたは ID で、通話を開始できます。

4.10.14.2

通話リストからのエイリアスまたは ID の保存

下記の手順に従って、通話リストから無線機にエイリアスまたは ID を保存します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して『つうわ りれき』に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して必要なリストに移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して『ほかん』に移動します。
 を押して選択します。
ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。

6 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。  を押して選択します。

エイリアスなしで ID を格納することができます。
ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

4.10.14.3

通話リストからの通話の削除

下記の手順に従って、通話リストから通話を削除します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して『つうわ りれき』に移動します。  を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して必要なリストに移動します。  を押して選択します。
リストが空の場合:
 - トーンが鳴ります。

- ディスプレイに「リストにありません」と表示されます。

4 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して「Delete Entry?」(エントリをさくじょ?) に移動します。  を押して選択します。

6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  を押して「はい」を選択してエントリを削除します。
ディスプレイに「にゅうりょくさくじょずみ」と表示されます。
 - ▲ または ▼ を押して「いいえ」に移動します。  を押して選択します。
前の画面に戻ります。
-

4.10.14.4

通話リストからの詳細の表示

下記の手順に従って、通話リストから無線機の詳細を表示します。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して「つうわ りれき」に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して必要なリストに移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して「しょうさい」に移動します。  を押して選択します。
ディスプレイに詳細が表示されます。

4.10.15

ページング操作

ページング機能により、相手が応答できる状態になったらかけ直すよう、特定の無線機ユーザーに警告できます。

この機能は、無線機のエイリアスまたは ID のみに適用され、メニューから [れんらくさき] または [ダイアル] を選択するか、プログラムされた [ワンタッチ アクセス] ボタンからアクセスできます。

Capacity Max では、ページング機能を使用して、無線機のユーザーまたはディスパッチャが別の無線機ユーザーにアラートを送信し、時間があるときに発信ユーザーにコールバックするよう依頼することができます。本機能は音声通信を使用しません。

ディーラーまたはシステム管理者はページング操作を以下の 2 つの方法により設定できます。

- **PTT** ボタンを押したときに、個別コールにして通話発信者に直接応答できるように、無線機を設定する。
- **PTT** ボタンを押したときに、他のグループとの通信を継続できるように、無線機を設定する。ページング エントリで **PTT** ボタンを押しても、ユーザーは通話発信者に応答できません。[通話履歴] メニューの不在着信履歴オブ

ションに移動して、ここからページングに応答する必要があります。

OACSU (Off Air Call Set-Up) 個別コールを使用すると、ユーザーは迅速に応答できますが、FOACSU (Full Off Air Call Set-Up) 個別コールでは、通話にユーザーの確認応答が必要になります。そのため、ページング機能には OACSU タイプの通話を使用することが推奨されています。個別コール ページ 69 を参照してください。

4.10.15.1

ページングの発信

下記の手順に従って、無線機でページングを発信します。

- 1 プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。

ディスプレイに [ページング] と無線機のエイリアスと ID が表示されます。緑色の LED が点灯します。

- 2 確認応答を待ちます。

ページング承認を受信した場合は、ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

ページング承認を受信していない場合は、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

4.10.15.2

連絡先リストを使用したページングの発信

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。
 を押して選択します。
- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - 無線機のエイリアスまたは ID を直接選択します。
▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。
 を押して選択します。
 - [ダイアル] メニューを使用します。

▲ または ▼ を押して [ダイアル] に移動します。
 を押して選択します。

▲ または ▼ を押して [むせんきばんごう]

に移動します。 を押して選択します。
ディスプレイに [むせん ID:] と表示されます。カーソルが点滅します。ページングの送

り先無線機の ID を入力します。 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [ページング] に移動します。
 を押して選択します。
ディスプレイに [ページング] と無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。緑色の LED が点灯します。
- 5 確認応答を待ちます。
 - 承認を受信した場合は、ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

- 承認を受信していない場合は、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

4.10.15.3

ページングへの応答

ページングを受信した場合：

- 反復トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が点滅します。
- ディスプレイに通知リストが表示され、ページングとともに、呼び出し元無線機のエイリアスまたは ID が示されます。

ディーラーまたはシステム管理者の設置に応じて、以下の 1 つを行うことによりページングに応答できます。

- PTT** ボタンを押し、個別通信を使って発信者に直接応答します。
- PTT** ボタンを押し、通常のグループ通信を続けます。

ページングは通信履歴メニューの不在着信履歴オプションに移動します。不在着信履歴から発信者に応答できます。

詳しくは、「[通知リスト ページ 183](#)」および「[通話履歴機能 ページ 125](#)」を参照してください。

4.10.16

動的な発信者のエイリアス

この機能を使用すると、発信者のエイリアスを無線機の前面パネルから動的に編集できます。

通話中は、受信無線機に送信無線機の発信者のエイリアスが表示されます。

[発信者のエイリアス] リストには、送信無線機の発信者のエイリアスを最大 500 件保存できます。個別コールを [発信者のエイリアス] リストから表示または発信できます。無線機の電源を切ると、発信者のエイリアスの受信履歴が [発信者のエイリアス] リストから削除されます。

4.10.16.1

無線機の電源を入れた後に発信者のエイリアスを編集する

1 無線機の電源を入れます。

2 新しい発信者のエイリアスを入力します。  を押して次の操作へ進みます。

ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。



注：

通話中は、受信無線機に新しい発信者のエイリアスが表示されます。

4.10.16.2

発信者のエイリアスをメインメニューから編集する

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [きき じょうほう] に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [ID] に移動します。  を押して選択します。

5  を押して次の操作へ進みます。

6 ▲ または ▼ を押して [へんしゅう] に移動します。  を押して選択します。

7

新しい発信者のエイリアスを入力します。  を押して選択します。

ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。



注：

通話中は、受信無線機に新しい発信者のエイリアスが表示されます。

3 ▲ または ▼ を押して優先リストに移動します。



を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して『しょうさい』に移動しま



す。を押して選択します。

4.10.16.3

発信者のエイリアス リストを表示する

[発信者のエイリアス] リストにアクセスして、発信者のエイリアスの詳細の送受信を表示できます。

1



を押してメニューにアクセスします。

2

▲ または ▼ を押して『はっしんしゃエイリアス』に移動します。  を押して選択します。

4.10.16.4

個別コールを発信者のエイリアス リストから開始

[発信者のエイリアス] リストにアクセスして、個別コールを開始できます。

1



を押してメニューにアクセスします。

2

▲ または ▼ を押して『はっしんしゃエイリアス』に移動します。  を押して選択します。

3

▲ または ▼ を押して <[必要な発信者のエイリアスJ> に移動します。

4 呼び出すには、PTT ボタンを押し続けます。

4.10.17

ミュート モード

ミュート モードでは、無線機のすべての音声インジケータを無音にできます。

ミュート モードを開始すると、緊急操作などの優先度の高い機能を除くすべての音声インジケータがミュートされます。

ミュート モードを終了すると、無線機で、継続中のトーンおよび音声の再生が再開されます。



重要：

一度に有効にできるのは、フェイス ダウンかマン ダウンのいずれか一方のみです。両方の機能を同時に有効にすることはできません。

この機能が適用されるモデルは、、、XiR P8668i/XiR P8660i/GP338D+、XiR P8608i/XiR P8600i/GP328D+、XiR P8628i/XiR P8620i、のみです。

4.10.17.1

ミュート モードの有効化

下記の手順に従って、ミュート モードを有効にします。

以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- この機能には、プログラムされた【ミュート モード】ボタンからアクセスします。
- 無線機の前面を 1 回だけ下に向けると、この機能にアクセスできます。

無線機のモデルによっては、フェイス ダウン機能はラジオ メニューを使用して有効にするか、システム管理者が有効にします。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。



重要：

一度に有効にできるのは、マンダウンとフェイス ダウンのいずれか一方のみです。両方の機能を同時に有効にすることはできません。

ミュート モードを有効にすると、次のことが発生します。

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに【ミュート モード オン】と表示されます。

- 赤色の LED ライトの点滅が開始し、ミュート モードが終了するまで点滅したままになります。
- ディスプレイのホーム画面に【ミュート モード】アイコンが表示されます。
- 無線機がミュートになります。
- ミュート モード タイマーが、設定された時間のカウントダウンを開始します。

4.10.17.2

ミュート モード タイマーの設定

ミュート モード タイマーを設定すると、事前設定した所定の時間の間、ミュート モード機能を有効にすることができます。タイマーの時間は、無線機メニューで 0.5 ～ 6 時間の範囲内に設定できます。ミュート モードは、タイマーの時間が切れると終了します。

タイマーを 0 のままにすると、無線機の前面を上向きにするか、プログラムされた【ミュート モード】ボタンを押すまで、無線機は無期限にミュート モードのままになります。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [ミュート タイマー] に移動します。 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して各桁の数値を編集し、 を押します。

4.10.17.3

ミュート モードの終了

この機能は、ミュート モード タイマーの時間が切れると、自動的に終了します。

ミュート モードを手動で終了するには、次のいずれかの操作を実行します。

- プログラムされた【ミュート モード】ボタンを押します。
- 任意のエントリで **PTT** ボタンを押します。
- 無線機の前面を 1 回だけ上に向けます。

ミュート モードを無効にすると、次のことが発生します。

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに『ミュート モード オフ』と表示されます。
- 点滅する赤い LED が消灯します。
- ホーム画面から【ミュート モード】アイコンが消えます。
- 無線機のミュートが解除され、スピーカーが元の状態に戻ります。
- タイマーの時間が切れていない場合、ミュート モードタイマーが停止します。



注：
ユーザーが音声を送信した場合や、プログラムされていないチャンネルに切り替えた場合も、ミュート モードは終了します。

緊急操作

重大な状況を示すために、緊急アラームが使用されます。いつでも、現在のチャンネルでアクティビティがある場合であっても、緊急操作を開始できます。

Capacity Max では、受信中の無線機は一度に 1 つのみの緊急アラームをサポートできます。2 つ目の緊急アラームが開始されると、1 つ目のものより優先されます。

緊急アラームを受信したときに、受信者はアラームを削除してアラーム リストを終了することも、**PTT** ボタンを押して非緊急の音声を送信して緊急アラームに応答することもできます。

ディーラーまたはシステム管理者は、プログラムされた【緊急】ボタンの押し下げ時間を設定できます。ただし、他のボタンと同様、長押しは除きます。

短押し

0.05 ～ 0.75 秒の間

長押し

1.00 ～ 3.75 秒の間

緊急ボタンには、緊急のオン/オフ機能が割り当てられています。緊急ボタンに割り当てられている操作については、ディーラーに確認してください。



注：

緊急ボタンの短押しに緊急モードのオンを割り当てると、緊急ボタンの長押しには緊急モードの終了が割り当てられます。

緊急ボタンの長押しに緊急モードのオンを割り当てると、緊急ボタンの短押しには緊急モードの終了が割り当てられます。

お使いの無線機は、3つの緊急アラームをサポートしています。

- 緊急アラーム
- 通話による緊急アラーム
- 音声ガイドおよび緊急アラーム

また、各アラームには以下のタイプがあります。

レギュラー

無線機がアラーム信号を送信し、音声インジケータと視覚的インジケータのいずれかまたは両方で示されます。

サイレント

無線機がアラーム信号を送信しますが、音声インジケータも視覚的インジケータも示されません。プログラム

された [ホット マイク] 送信時間が終了するか、**PTT** ボタンが押されるまで、スピーカから音が漏れることなく通話を受信します。

音声付きサイレント

音声または視覚的インジケータなしにアラーム信号を送信しますが、着信通話の音はスピーカから聞こえます。ホット マイクが有効な場合、プログラムされたホット マイク送信時間の終了後に着信通話の音がスピーカから聞こえます。**PTT** ボタンを押した場合にのみ、インジケータが表示されます。



注：

上記の緊急アラームのいずれか1つのみを、プログラムされた **[緊急]** ボタンに割り当てることができます。

4.10.18.1

緊急アラームの送信

この機能では、音声信号ではない緊急アラームを送信します。この機能を使用して、無線機グループにアラートを通

知できます。下記の手順に従って、無線機で緊急アラームを送信します。

お使いの無線機がサイレントに設定されている場合、緊急モード中にオーディオや視覚的インジケータは一切表示されません。

1 プログラムされた【緊急オン】ボタンを押します。

次のいずれかが表示されます。

- ディスプレイに「Tx アラーム」および宛先のエイリアスが表示されます。
- 「Tx テレグラム」および宛先のエイリアスが表示されます。

緑色の LED が点灯します。【緊急】アイコンが表示されます。



注：

プログラムされている場合は、緊急検索トーンが鳴ります。このトーンは、無線機で音声を送受信するときにはミュートされ、緊急モードが終了すると停止されます。緊急検索トーンはディーラーまたはシステム管理者がプログラムできます。

2 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合：

- 緊急トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点滅します。
- ディスプレイに「アラームそうしん」と表示されます。

再試行がすべて失敗して処理が正常に行われなかった場合：

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに「アラーム NG」と表示されます。

緊急アラーム モードが終了し、ホーム画面に戻ります。



注：

緊急アラームのみに構成されている場合、緊急プロセスは緊急アラームの提供からのみ構成されます。緊急状態は、システムから確認を受けるか、チャネル アクセスの試行回数を終えると終了します。

緊急アラームのみとして機能する場合、音声通話は緊急アラームの送信に関連付けられません。

4.10.18.2

通話による緊急アラームの送信

この機能では、通話による緊急アラームを無線機グループまたはディスパッチャに送信します。グループ内のインフラストラクチャから確認応答があると、無線機グループは、プログラムされた緊急チャンネルで通信できます。

無線機は、アラーム プロセス後に緊急通話を行うために、緊急アラームと通話を設定しておく必要があります。

1 プログラムされた [緊急オン] ボタンを押します。

【Tx アラーム】および宛先のエイリアスが表示されます。【緊急】アイコンが表示されます。緑色の LED が点灯します。



注：

無線機がプログラムされている場合は、緊急検索トーンが鳴ります。このトーンは、無線機で音声を送受信するときにはミュートされ、緊急モードが終了すると停止されます。

緊急アラームの確認応答の受信に成功すると：

- 緊急トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点滅します。

- ディスプレイに『アラームそうしん』と表示されます。
- ディスプレイに『きんきゅう』と宛先グループのエイリアスが表示されると、無線機が緊急通話モードに入ります。

緊急アラームの確認応答の受信に失敗すると：

- すべての再試行が終了します。
- 低いトーンが鳴ります。
- ディスプレイに『アラーム NG』と表示されます。
- 無線機が緊急アラーム モードを終了します。

2 PTT ボタンを押して音声送信を開始します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに、【グループコール】アイコンが表示されます。

3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

- **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

ディスプレイに、発信者とグループのエイリアスが表示されます。

5 電話に応答するには、**[PTT]** ボタンを押します。

チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **[PTT]** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。

6 緊急オフ ボタンを押して、緊急モードを終了します。

無線機はホーム画面に戻ります。



注：

通話許可トーンが鳴るかどうかは、無線機のプログラムによって異なります。緊急に関する無線機のプログラム内容の詳細については、無線機のディーラーまたはシステム管理者にお問い合わせください。

緊急通話の発信者は、 を押して、進行中の緊急通話を終了できます。無線機は通話アイドル状態に戻りますが、緊急通話画面は開いたままです。

4.10.18.3

緊急アラームと音声ガイドの送信

この機能では、緊急アラームと音声ガイドを無線機グループに送信します。無線機のマイクは自動的に有効になり、**PTT** ボタンを押さずに無線機グループと通信できます。このアクティブな状態のマイクを "ホット マイク" と呼びます。

緊急サイクル モードが有効な場合、プログラムされた期間、"ホット マイク" と受信期間が繰り返されます。緊急サイクル モードでは、受信コールの音はスピーカから聞こえます。

プログラムされた受信期間に **PTT** ボタンを押すと、通話禁止音が聞こえます。これは、**PTT** ボタンを放す必要があることを示します。**PTT** ボタンが押されたことは無視され、緊急モードが保たれます。

ホットマイクが有効なときに **[PTT]** ボタンを押し、ホットマイクの期限が切れた後もそのまま押し続けていた場合は、**[PTT]** ボタンを放すまで無線機は送信を続けます。

緊急アラームのリクエストに失敗すると、無線機はそのリクエストを再送信せず、直接 "ホットマイク" 状態に入ります。



注：

"ホットマイク" を使用できないアクセサリもあります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

下記の手順に従って、無線機で緊急アラームと音声ガイドを送信します。

1 プログラムされた **[緊急オン]** ボタンを押します。

以下のいずれかの結果が表示されます。

- **【Tx アラーム】** および宛先のエイリアスが表示されます。

- **【Tx テレグラム】** および宛先のエイリアスが表示されます。

緑色の LED が点灯します。緊急アイコンが表示されます。

2 ディスプレイに **「アラームそうしん」** と表示されたら、マイクに向かってはっきりと話します。

次の場合、無線機は自動的に送信を終了します。

- 緊急サイクルモードが有効で、"ホットマイク" と通話受信のサイクルの期限が切れた場合。
- 緊急サイクルモードが無効で、"ホットマイク" の期限が切れた場合。

3 緊急オフ ボタンを押して、緊急モードを終了します。 無線機はホーム画面に戻ります。

4.10.18.4

緊急アラームの受信

受信側無線機は一度に 1 つのみの緊急アラームをサポートできます。2 つ目の緊急アラームが開始されると、1 つ目の

ものより優先されます。下記の手順に従って、無線機で緊急アラームを受信して閲覧します。

緊急アラームを受信した場合:

- トーンが鳴ります。
- 赤色の LED が点滅します。
- ディスプレイに、緊急アラーム リスト、緊急トークグループ ID またはエイリアス、および発信中の無線機の ID またはエイリアスが表示されます。

1  を押してアラームを表示します。

2  を押し、アラーム リストでアクションのオプションとエントリの詳細を閲覧します。

3 アラーム リストを終了するには、 を押して「はい」を選択します。

無線機はホーム画面に戻り、未解決の緊急アラームを示す【きんきゅうアイコン】が上部に表示されま

す。アラーム リストのエントリを削除すると、【きんきゅう】アイコンは消えます。

4  を押してメニューにアクセスします。

5 「アラーム」を選択すると、アラーム リストが再表示されます。

6 緊急モードを終了するまでトーンが鳴り続け、赤色の LED が点滅します。ただし、トーンはミュートすることができます。以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 緊急アラームを受信した無線機グループを呼び出すには、**PTT** ボタンを押します。
- プログラム可能ボタンを押します。

4.10.18.5

緊急アラームへの応答

緊急アラームを受信したときに、受信者はアラームを削除してアラーム リストを終了することも、**PTT** ボタンを押して非緊急の音声を送信して緊急アラームに応答することも

できます。下記の手順に従って、無線機で緊急アラームに
応答します。

- 1 緊急アラーム表示が有効になっている場合、無線機
が緊急アラームを受信すると、緊急アラーム リスト
が表示されます。▲ または ▼ を押して必要なエ
イリアスまたは ID に移動します。

- 2 チャンネル フリー指示機能が有効な場合、送信無線機
で **[PTT]** ボタンが離された瞬間に、短い警告トーン
が鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるよ
うになったことを示します。緊急アラームの送信先
と同じグループに緊急でない音声を転送するには、
[PTT] ボタンを押します。
緑色の LED が点灯します。

- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに
向かってはっきりと話します (有効な場合)。
- **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイク
に向かってはっきりと話してください (有効な場
合)。

- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

緊急操作を開始した無線機が応答する場合:

- 赤色の LED が点滅します。
- テキスト行に、[きんきゅうつうわ] アイコン、緊
急トークグループ ID またはエイリアス、および発
信中の無線機の ID またはエイリアスが表示され
ます。



注:

緊急通話表示が有効になっていない場合、デ
ィスプレイに、[きんきゅうつうわ] アイコ
ン、緊急トークグループ ID またはエイリ
アス、および発信中の無線機の ID またはエイ
リアスが表示されます。

4.10.18.6

通話による緊急アラームへの応答

下記の手順に従って、無線機で通話による緊急アラームに
応答します。

緊急通話を受信した場合:

- 緊急通話表示および緊急通話復号化トーンが有効になっている場合、緊急通話トーンが鳴ります。緊急通話表示のみが有効になっている場合、緊急通話トーンは鳴りません。
- ディスプレイの右上隅に【きんきゅうつうわ】アイコンが表示されます。
- テキスト行に、緊急トークグループ ID またはエイリアス、および発信中の無線機の ID またはエイリアスが表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

- 1 チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が【PTT】ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

緑色の LED が点灯します。

- 2 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

- 3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

緊急操作を開始した無線機が応答する場合:

- 赤色の LED が点滅します。
- テキスト行に、【きんきゅうつうわ】アイコン、緊急トークグループ ID またはエイリアス、および発信中の無線機の ID またはエイリアスが表示されます。



注:

緊急通話表示が有効になっていない場合、ディスプレイに、【きんきゅうつうわ】アイコン、緊急トークグループ ID またはエイリアス、および発信中の無線機の ID またはエイリアスが表示されます。

4.10.18.7

緊急モードの終了

プログラムされた【緊急オフ】ボタンを押します。

無線機には次の通知が表示されます。

- トーンが停止しました。

- 赤色の LED が消灯しました。
- 確認を受信すると、送信無線機のディスプレイに『キャンセルせいかう』と表示されます。確認が受信されない場合は、ディスプレイに『キャンセルしっぱい』と表示されます。



注：

[緊急キャンセル] 設定が送信無線機で有効になっている場合は、受信無線機の緊急アラームが停止して、ステータスが受信無線機の [アラーム リスト] に追加されます。

4.10.19

ステータス メッセージ

この機能を使用すると、ステータス メッセージを他の無線機に送信できます。

CPS-RM を使用してクイック ステータス リストを設定し、最大 99 のステータスを含めることができます。

各ステータス メッセージの最大長は、16 文字です。



注：

各ステータスには、対応する 0 ～ 99 の範囲のデジタル値があります。簡単に参照できるように、各ステータスにエイリアスを指定できます。

4.10.19.1

ステータス メッセージの送信

下記の手順に従って、ステータス メッセージを送信します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた [ワンタッチ アクセス] ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して『ステータス』に移動します。
 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して『クイック ステータス』に移動します。
 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して必要なステータス メッセージに移動します。
 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して、必要な無線機のエイリアスまたは ID、あるいはグループのエイリアスまたは ID

に移動します。  を押して選択します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- LED がオフになります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が 1 回だけ表示された後、[クイック ステータス] 画面に戻ります。
- ディスプレイには、送信されたステータス メッセージの隣に ✓ が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- LED がオフになります。
- ディスプレイに失敗通知が 1 回だけ表示された後、[クイック ステータス] 画面に戻ります。

4.10.19.2

プログラム可能ボタンを使用したステータス メッセージの送信

下記の手順に従って、プログラム可能ボタンを使用してステータス メッセージを送信します。

- 1 プログラムされた【ステータス メッセージ】ボタンを押します。

- 2 ▲ または ▼ を押して必要なステータス メッセージに移動します。  を押して選択します。 連絡先リストが表示されます。

- 3 ▲ または ▼ を押して、必要な無線機のエイリアスまたは ID、あるいはグループのエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- LED がオフになります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が 1 回だけ表示された後、[クイックステータス] 画面に戻ります。

- ディスプレイには、送信されたステータス メッセージの隣に  が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- LED がオフになります。
- ディスプレイに失敗通知が 1 回だけ表示された後、[クイックステータス] 画面に戻ります。

4.10.19.3

連絡先リストを使用したステータス メッセージの送信

下記の手順に従って、連絡先リストを使用してステータス メッセージを送信します。

-  を押してメニューにアクセスします。
- ▲ または ▼ を押して [れんらくさき] に移動します。 を押して選択します。

- ▲ または ▼ を押して、必要な無線機のエイリアスまたは ID、あるいはグループのエイリアスまたは ID

に移動します。 を押して選択します。

- ▲ または ▼ を押して [ステータス送信] に移動します。 を押して選択します。

- ▲ または ▼ を押して必要なステータス メッセージに移動します。 を押して選択します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- LED がオフになります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が 1 回だけ表示された後、[クイックステータス] 画面に戻ります。
- ディスプレイには、送信されたステータス メッセージの隣に  が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- LED がオフになります。
- ディスプレイに失敗通知が 1 回だけ表示された後、[クイックステータス] 画面に戻ります。

4.10.19.4

ダイアルを使用したステータス メッセージの送信

下記の手順に従って、ダイアルを使用してステータス メッセージを送信します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [れんらくさき] に移動します。 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [ダイアル] に移動します。 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [むせんきばんごう] に移動します。 を押して選択します。

- 5 必要な無線機のエイリアスまたは ID、あるいはグループのエイリアスまたは ID を入力し、 を押して処理を続行します。

- 6 ▲ または ▼ を押して [ステータス送信] に移動します。 を押して選択します。

- 7 ▲ または ▼ を押して必要なステータス メッセージに移動します。 を押して選択します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- LED がオフになります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が 1 回だけ表示された後、[クイックステータス] 画面に戻ります。
- ディスプレイには、送信されたステータス メッセージの隣に ✓ が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- LED がオフになります。
- ディスプレイに失敗通知が 1 回だけ表示された後、『クイックステータス』画面に戻ります。

4.10.19.5

ステータス メッセージの表示

下記の手順に従って、ステータス メッセージを表示します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して『ステータス』に移動します。
 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して『じゅしん BOX』に移動します。
 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して必要なステータス メッセージに移動します。
 を押して選択します。
ステータス メッセージの内容が、無線機のユーザーに表示されます。

受信したステータス メッセージは、通知リストにアクセスしても表示できます。詳細については、『[通知リスト ページ 183](#)』を参照してください。

4.10.19.6

ステータス メッセージへの応答

下記の手順に従って、ステータス メッセージに応答します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して『ステータス』に移動します。
 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して『じゅしん BOX』に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要なステータス メッセージに移動します。 を押して選択します。

5 ステータスの内容が表示されます。 を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して『へんしん』に移動します。 を押して選択します。

7 ▲ または ▼ を押して必要なステータス メッセージに移動します。 を押して選択します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- LED がオフになります。

- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示された後、『じゅしん BOX』画面に戻ります。
- ディスプレイには、送信されたステータス メッセージの隣に✓が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- LED がオフになります。
- ディスプレイに失敗通知が1回だけ表示された後、『じゅしん BOX』画面に戻ります。

4.10.19.7

ステータス メッセージの削除

下記の手順に従って、ステータス メッセージを無線機から削除します。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して『ステータス』に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して「じゅしん BOX」に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要なステータス メッセージに移動します。 を押して選択します。

5 ステータスの内容が表示されます。 を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して「さくじょ」に移動します。 を押して選択します。

7 ▲ または ▼ を押して「はい」に移動します。 を押して選択します。

- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示された後、「じゅしん BOX」画面に戻ります。

4.10.19.8

すべてのステータス メッセージの削除

下記の手順に従って、無線機からすべてのステータス メッセージを削除します。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して「ステータス」に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して「じゅしん BOX」に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して「ぜんさくじょ」に移動します。 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して「はい」に移動します。 を押して選択します。

- ディスプレイに「リストにありません」と表示されます。

4.10.20

テキスト メッセージング

無線機は、他の無線機やテキスト メッセージ アプリケーションからテキスト メッセージなどのデータを受信できません。

テキスト メッセージには、デジタル車載型無線機 (DMR) ショート テキスト メッセージと、テキスト メッセージの 2 種類があります。DMR ショート テキスト メッセージの最大長は 23 文字です。テキスト メッセージの最大長は、件名を含めて 280 文字です。件名は、電子メール アプリケーションからメッセージを受信した場合にのみ表示されます。



注:

この最大長は、ソフトウェアとハードウェアが最新のモデルにのみ適用されます。ソフトウェアやハードウェアが古い無線機モデルでは、最大長は 140 文字です。詳細については、ディーラーにお問い合わせください。

4.10.20.1

テキスト メッセージ

テキスト メッセージは受信 BOX に保存され、新しく受信した順番にソートされます。

無線機は、無操作タイマーの終了後に、現在の画面を終了します。  を長く押すと、いつでもホーム画面に戻ります。

4.10.20.1.1

テキスト メッセージの表示

- 1  を押してメニューにアクセスします。

 - 2 ▲ または ▼ を押して「メッセージ」に移動します。  を押して選択します。

 - 3 ▲ または ▼ を押して「じゅしん BOX」に移動します。  を押して選択します。
- 受信 BOX が空の場合:

- ディスプレイに「リストにありません」と表示されます。
- キー操作音がオンであればトーンが鳴ります。

4 ▲ または ▼ を押して必要なメッセージに移動します。 を押して選択します。

メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合は、件名の行が表示されます。

4.10.20.1.2

テレメータ ステータス メッセージの表示

下記の手順に従って、受信 BOX 内のテレメータ ステータス メッセージを表示します。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して「メッセージ」に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して「じゅしん BOX」に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要なメッセージに移動します。 を押して選択します。

テレメータ ステータス メッセージに返信することはできません。

ディスプレイに「テレメータ:」と表示されます。<ステータス メッセージ>

5 ホーム画面に戻るには、 を長押しします。

4.10.20.1.3

保存されたテキスト メッセージの表示

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
- プログラムされた【メッセージ】ボタンを押します。[ステップ 3](#)に進みます。

-  を押してメニューにアクセスします。

-
- 2 ▲ または ▼ を押して「メッセージ」に移動します。
 を押して選択します。
-

- 3 ▲ または ▼ を押して「したがき」に移動します。
 を押して選択します。
-

- 4 ▲ または ▼ を押して必要なメッセージに移動します。
 を押して選択します。
-

4.10.20.1.4

テキスト メッセージへの応答

テキスト メッセージを受信する場合:

- ディスプレイに通知リストが表示され、送信者のエイリアスまたは ID が示されます。
- ディスプレイに【メッセージ】アイコンが表示されます。



注:

PTT ボタンが押されると、警告画面が終了し、送信者への個別コールまたはグループ コールが開始されます。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して「ひょうじ」に移動します。
 を押して選択します。
 ディスプレイにテキスト メッセージが表示されます。メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合は、件名の行が表示されます。
 - ▲ または ▼ を押して「あとでひょうじ」に移動します。
 を押して選択します。
 テキスト メッセージを受信する前の画面に戻ります。
 - ▲ または ▼ を押して「さくじょ」に移動します。
 を押して選択します。
-

2



 を押して [じゅしん BOX] に戻ります。

4.10.20.1.5

クイック テキストによるテキスト メッセージへの返信

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた【メッセージ】ボタンを押します。手順 3 に進みます。

-  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して【メッセージ】に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して【じゅしん BOX】に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要なメッセージに移動します。 を押して選択します。

メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合は、件名の行が表示されます。

5  を押してサブメニューにアクセスします。

6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して【へんしん】に移動します。 を押して選択します。

- ▲ または ▼ を押して【クイックへんしん】に移動します。 を押して選択します。

点滅するカーソルが表示されます。必要に応じてメッセージを書き込んだり、編集したりできます。

7

メッセージが完成したら、 を押します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

8 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
- 無線機で『さいそうしん』オプション画面が再び表示されます。

テキスト メッセージの転送

『さいそうしん』オプション画面が表示されている場合:

1

▲ または ▼ を押して『てんそう』に移動し、 を押して同じメッセージを別の無線機またはグループのエイリアスまたは ID に送信します。

2

▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

3 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- トーンが鳴ります。

4.10.20.1.6

- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

4.10.20.1.7

ダイアルを使用したテキスト メッセージの転送

- 1 ▲ または ▼ を押して『てんそう』に移動します。 を押して選択します。
- 2  を押して、別の無線機、グループのエイリアス、または ID に同じメッセージを送信します。
- 3 ▲ または ▼ を押して『ダイアル』に移動します。 を押して選択します。
ディスプレイに『むせん ID:』と表示されます。

4

無線機の ID を入力し、 を押して先に進みます。
ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

5 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

4.10.20.1.8

テキスト メッセージの編集

『へんしゅう』を選択してメッセージを編集します。



注:

件名行が存在する場合 (電子メール アプリケーションから受信したメッセージの場合)、この行は編集できません。

- 1 ▲ または ▼ を押して『へんしゅう』に移動しま

す。  を押して選択します。

ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。

- 2 キーパッドを使用してメッセージを編集します。

- ◀ を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。
- ▶ または  を押すと、スペース 1 つ分右側に移動します。
-  を押して、不要な文字を削除します。

-  を長押しすると、テキスト入力方法が変更されます。

3

メッセージが完成したら、  を押します。

4

以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して『そうしん』に移動し、
 を押してメッセージを送信します。
- ▲ または ▼ を押して『ほぞん』に移動し、
 を押してメッセージを下書きフォルダに保存します。
-  を押してメッセージを編集します。
-  を押してメッセージを削除するか、下書きフォルダにこのメッセージを保存します。

4.10.20.1.9

テキスト メッセージの送信

新規作成したテキスト メッセージまたは保存されたテキスト メッセージがあると仮定します。

メッセージ受信者を選択します。以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは

ID に移動します。  を押して選択します。

- ▲ または ▼ を押して「ダイアル」に移動します。  を押して選択します。ディスプレイの 1 行目に「むせん ID:」と表示されます。ディスプレイの 2 行目に、点滅するカーソルが表示されます。無線機のエイリアスまたは ID を入力します。  を押します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

正常に行われた場合:

- トーンが鳴ります。

- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- 低いトーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
- メッセージが [送信済みアイテム] フォルダに移動します。
- メッセージに [送信失敗] アイコンが付きます。



注:

新規作成されたテキスト メッセージの場合、無線機は「さいそうしん」オプション画面に戻ります。

4.10.20.1.10

保存されたテキスト メッセージの編集

1

メッセージの表示中に、  を押します。

- 2 ▲ または ▼ を押して『へんしゅう』に移動します。 を押して選択します。
点滅するカーソルが表示されます。

- 3 キーパッドを使用してメッセージを入力します。

◀ を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。

▶ または (# ) を押すと、スペース 1 つ分右側に移動します。

(*<) を押して、不要な文字を削除します。

(# ) を長押しすると、テキスト入力方法が変更されます。

- 4 メッセージが完成したら、 を押します。

以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して『そうしん』に移動します。 を押してメッセージを送信します。

-  を押します。▲ または ▼ を押してメッセージの保存または削除を選択します。 を押して選択します。

4.10.20.1.11

テキスト メッセージの再送信

『さいそうしん』オプション画面が表示されている場合:

 を押して、同じ無線機、グループのエイリアス、または ID に、同じメッセージを再送信します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

- 無線機で「さいそうしん」オプション画面が再び表示されます。

4.10.20.1.12

受信 BOX からのテキスト メッセージの削除

下記の手順に従って、無線機で受信 BOX からテキスト メッセージを削除します。

- 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【メッセージ】 ボタンを押します。 [ステップ 3](#) に進みます。

-  を押してメニューにアクセスします。

- ▲ または ▼ を押して【メッセージ】に移動します。 を押して選択します。

- ▲ または ▼ を押して【じゅしん BOX】に移動します。 を押して選択します。

受信 BOX が空の場合:

- ディスプレイに【List Empty】と表示されます。
- トーンが鳴ります。

- ▲ または ▼ を押して必要なメッセージに移動します。 を押して選択します。

メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合は、件名の行が表示されます。

-  を押してサブメニューにアクセスします。

- ▲ または ▼ を押して【Delete】に移動します。 を押して選択します。

- ▲ または ▼ を押して【はい】に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。画面は【受信トレイ】に戻ります。

4.10.20.1.13

受信 BOX からのすべてのテキスト メッセージの削除

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【メッセージ】ボタンを押します。ステップ 3 に進みます。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して【メッセージ】に移動します。 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して【じゅしん BOX】に移動します。 を押して選択します。
受信 BOX が空の場合:
 - ディスプレイに【List Empty】と表示されます。
 - トーンが鳴ります。

- 4 ▲ または ▼ を押して【ぜんさくじょ】に移動します。 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して【はい】に移動します。 を押して選択します。
ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示され
ます。

4.10.20.1.14

下書きフォルダに保存したテキスト メッセージの削除

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【メッセージ】ボタンを押します。ステップ 3 に進みます。
 -  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して『メッセージ』に移動します。 を押して選択します。
-
- 3 ▲ または ▼ を押して『したがり』に移動します。 を押して選択します。
-
- 4 ▲ または ▼ を押して必要なメッセージに移動します。 を押して選択します。
-
- 5
メッセージの表示中に、 を再度押します。
-
- 6 ▲ または ▼ を押して『さくじょ』に移動します。 を押してテキスト メッセージを削除します。
-

みテキスト メッセージの再送信、転送、編集、または削除を実行できます。

送信 BOX フォルダは、最大で 30 件の最近送信されたメッセージを格納できます。フォルダが一杯であるときにテキスト メッセージを送信すると、置き換えとして、フォルダの一番古いテキスト メッセージが自動的に削除されます。

メッセージ送信中にメッセージ送信画面を終了すると、ディスプレイや音声による通知を行わずに、送信 BOX フォルダ内のメッセージのステータスが更新されます。

送信 BOX フォルダ内のメッセージ ステータスが更新される前に、無線機のモードが変更されたり電源がオフになると、実行中のメッセージを完了できなくなり、そのメッセージには自動的に [送信失敗] アイコンが表示されます。

無線機では、同時に最大で 5 件の実行中メッセージを使用できます。この間、新しいメッセージを送信できなくなり、新しいメッセージには自動的に [送信失敗] アイコンが表示されます。

4.10.20.2

送信済みテキスト メッセージ

別の無線機に送信されたメッセージは、送信 BOX フォルダに保存されます。最近送信されたテキスト メッセージは、必ず送信 BOX フォルダの一番上に追加されます。送信済

 ボタンを長押しすると、無線機はいつでもホーム画面に戻ります。

 注：
従来型デジタル、Capacity Plus チャンネルなど、チャンネルタイプが一致しない場合、送信済みメッセージの編集、転送、または削除のみを行えます。

4.10.20.2.1

送信済みテキスト メッセージの表示

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【メッセージ】ボタンを押します。[ステップ 3](#)に進みます。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して【メッセージ】に移動します。 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して【そうしん BOX】に移動します。 を押して選択します。

【そうしん BOX】フォルダが空の場合:

- ディスプレイに【リストにありません】と表示されます。
- キー操作音がオンであれば低い音でトーンが鳴ります。

- 4 ▲ または ▼ を押して必要なメッセージに移動します。 を押して選択します。

メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合は、件名の行が表示されます。

4.10.20.2.2

送信済みテキスト メッセージの送信

送信済みメッセージを表示する場合:

- 1  を押します。

- 2 ▲ または ▼ を押して『さいそうしん』に移動します。  を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

3 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ・ トーンが鳴ります。
- ・ ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ・ トーンが鳴ります。
- ・ ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
- ・ 無線機に『さいそうしん』オプション画面が表示されます。詳細については、「[テキスト メッセージの再送信 ページ 159](#)」を参照してください。

送信 BOX フォルダからの送信済みテキストメッセージの削除

下記の手順に従って、無線機で送信 BOX フォルダから送信済みテキスト メッセージを削除します。

送信済みメッセージを表示する場合:

- 1  を押します。

- 2 ▲ または ▼ を押して『さくじょ』に移動します。  を押して選択します。

4.10.20.3

クイック テキスト メッセージ

無線機では、ディーラーがプログラミングするクイック テキスト メッセージを最大 50 まで使用できます。

クイック テキスト メッセージは事前定義されていますが、送信前に各メッセージを編集できます。

4.10.20.3.1

クイック テキスト メッセージの送信

下記の手順に従って、無線機で事前に定義したクイック テキスト メッセージを事前に定義したエイリアスに送信します。

- 1 プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

-
- 2 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

- 無線機に『さいそうしん』オプション画面が表示されます。詳細については、[テキスト メッセージの再送信 ページ 159](#) を参照してください。

4.10.21

テキスト入力設定

お使いの無線機では、さまざまなテキストを設定できます。無線機でのテキストの入力に対して次を設定できます。

- 単語予測
- 単語修正
- 文章大文字修正
- マイ ワード

利用できるテキスト入力方法は以下のとおりです。

- 数字
- 符号
- 予測またはマルチタップ

- 言語 (プログラムする場合)



注:



を押すと、いつでも前の画面に戻ります。を押すと、
を長く押すとホーム画面に戻ります。無線機は、無
操作タイマーの終了後に、現在の画面を終了します。



4.10.21.1

単語予測

無線機は、頻繁に入力する語に共通する並び順を学習できます。学習内容をもとに、テキスト エディタに共通する語の並びの最初の単語を入力すると、使用する可能性のある次の語を予測します。

1



メニューにアクセスします を押します。

2

▲ または ▼ を押して『せってい』に移動し、
を押して選択します。



3

▲ または ▼ を押して『きのうせってい』に移動
し、を押して選択します。



4 ▲ または ▼ を押して『もじにゅうりょく』に移
動し、を押して選択します。



5

▲ または ▼ を押して『よそく』に移動し、
を押して選択します。



◀ または ▶ を使用して、選択したオプションを変更
することもできます。

6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- を押して単語予測を有効にします。ディス
プレイで [ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。
- を押して単語予測を無効にします。[ゆうこ
う] の隣から ✓ が消えます。

4.10.21.2

文章大文字修正

この機能は、新しい文を入力するごとに、最初の語の最初の文字を自動的に大文字にするときに使用します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [もじにゅうりょく] に移動します。 を押して選択します。
- 5 ▲ または ▼ を押して [おおもじ] に移動します。 を押して選択します。
- 6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  を押して大文字を有効にします。有効になると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。
-  を押して大文字を無効にします。無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。

4.10.21.3

カスタム語の表示

自分のカスタム語を無線機に組み込まれた辞書に追加できます。無線機は、その語を含むリストを管理します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して「もじにゅうりょく」に移動します。  を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して「マイ ワード」に移動します。  を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して「たんご リスト」に移動します。  を押して選択します。
ディスプレイにはカスタム語のリストが表示されます。

4.10.21.4

カスタム語の編集

無線機に保存したカスタム語を編集できます。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して「Utilities」に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して「Radio Settings」に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して「もじにゅうりょく」に移動します。  を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して「マイ ワード」に移動します。  を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して「たんご リスト」に移動します。  を押して選択します。
ディスプレイにはカスタム語のリストが表示されます。

- 7 ▲ または ▼ を押して必要な単語に移動します。

 を押して選択します。

- 8 ▲ または ▼ を押して『へんしゅう』に移動しま

す。  を押して選択します。

- 9 キーパッドを使用して、カスタム語を編集します。

- ◀ を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。
- ▶ キーを押すと、スペース 1 つ分右側に移動します。
- 不要な文字を削除するときは、 キーを押します。
-  を長押しすると、テキスト入力方法が変更されます。

10

カスタム語が完成したら、 を押します。

ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、カスタム語が保存中であることが示されます。

- カスタム語が保存されると、トーンが鳴り、ディスプレイにはポジティブ ミニ通知が表示されます。
- カスタム語を保存していない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

4.10.21.5

カスタム語の追加

無線機の組み込み辞書に、カスタム語を追加できます。

1

 を押してメニューにアクセスします。

2

▲ または ▼ を押して『Utilities』に移動します。  を押して選択します。

3

▲ または ▼ を押して『Radio Settings』に移動します。  を押して選択します。

4

▲ または ▼ を押して『もじにゅうりょく』に移動します。  を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して『マイ ワード』に移動します。 を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して『しんき ついか』に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイにはカスタム語のリストが表示されます。

7 キーパッドを使用して、カスタム語を編集します。

- ◀ を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。
- ▶ キーを押すと、スペース 1 つ分右側に移動します。
- 不要な文字を削除するときは、 キーを押します。
-  を長押しすると、テキスト入力方法が変更されます。

8 カスタム語が完成したら、 を押します。

ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、カスタム語が保存中であることが示されます。

- カスタム語が保存されると、トーンが鳴り、ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
- カスタム語を保存していない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

4.10.21.6

カスタム語の削除

無線機に保存したカスタム語を削除できます。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して『Utilities』に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [もじにゅうりょく] に移動します。  を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [マイ ワード] に移動します。  を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して必要な単語に移動します。  を押して選択します。

7 ▲ または ▼ を押して [さくじょ] に移動します。  を押して選択します。

8 次のいずれかを選択します。

- [「エントリをさくじょ?」で  を押して [はい] を選択します。ディスプレイに [にゅうりょくさくじょずみ] と表示されます。

- ▲ または ▼ を押して [いいえ] に移動します。  を押して前の画面に戻ります。

4.10.21.7

すべてのカスタム語の削除

無線機に組み込まれた辞書からすべてのカスタム語を削除できます。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [もじにゅうりょく] に移動します。  を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して『マイ ワード』に移動します。
 [OK] を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して『Delete All』に移動します。
 [OK] を押して選択します。

7 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 『エントリをさくじょ?』で [OK] を押して『はい』を選択します。ディスプレイに『にゅうりょくさくじょずみ』と表示されます。
- 前の画面に戻るには、▲ または ▼ を押して『いいえ』に移動します。 [OK] を押して選択します。

4.10.22

プライバシー

この機能は、ソフトウェアベースのスクランブル ソリューションの使用により、不正なユーザーによる盗聴を防ぐの

に役立ちます。送信のシグナリングおよびユーザー識別の部分はスクランブルされません。

秘話モード対応で送信するには、無線機のチャンネルに秘話モードを設定する必要があります。ただし、秘話モードを設定していなくても受信はできます。秘話モード対応チャンネル上で、無線機はクリアな送信、つまりスクランブルされていない送信を引き続き受信できます。

無線機はスクランブル秘話モードをサポートします。

秘話対応の通話またはデータ送信のスクランブルを解除するには、送信側の無線機と同じ秘話モード用キー値およびキー ID を無線機にプログラムする必要があります。

無線機が別のキー値およびキー ID によるスクランブル通話を受信すると、スクランブル秘話では何も聞こえません。

無線機のプログラム方法に応じて、秘話モード対応チャンネル上で、無線機はクリアな通話、つまりスクランブルされていない通話を受信できます。さらに、無線機のプログラム方法に応じて、警告音を鳴らすことも鳴らさないこともできます。

無線機に秘話モードが割り当てられている場合、無線機が緊急通話または緊急アラームを送受信している場合を除き、ステータス バーに [セキュア] アイコンまたは [非セキュア] アイコンが表示されます。

無線機が送信しているときは、緑色の LED が点灯します。
無線機が進行中の秘話対応通話を受信しているときは、
LED が 2 回点滅します。



注：

無線機のモデルによっては、この秘話モード機能がない場合や、構成が異なる場合があります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

4.10.22.1

秘話モードのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機で秘話モードのオンとオフを切り替えます。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【ひわモード】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。
 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。
 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [ひわモード] に移動します。
 を押して選択します。

- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して [On] にします。
 を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [On] の隣に表示されます。
- ▲ または ▼ を押して [Off] にします。
 を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [Off] の隣に表示されます。

4.10.23

応答禁止

この機能を使用すると、無線機が着信通信に応答しないようにすることができます。



注:

無線機がどのようにプログラムされているかについてはディーラーにお問い合わせください。

有効にすると、無線機は着信通信に응答して送信通信を生成しません(無線機チェック、ページング、無線停止、リモート モニタ、自動登録サービス (ARS)、プライベート メッセージへの応答など)。

この機能が有効になっていると、無線機は個別通信の確認を受信できません。ただし、無線機で手動による送信を行うことはできます。

4.10.23.1

応答禁止の有効化または無効化

無線機の応答禁止を有効または無効にするには、次の手順に従います。

プログラムされた【おうとうきんし】ボタンを押します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が 1 回だけ表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が 1 回だけ表示されます。

4.10.24

機能停止/復帰

この機能では、システム内の任意の無線機の有効、無効を切り替えられます。たとえば、ディーラーやシステム管理者が、盗難にあった無線機を無効にして不正ユーザーが使用できないようにし、無線機を回収したら有効にしたい場合があります。

無線機を無効化 (機能停止) または有効化 (復帰) するには、コンソールを使用するか、別の無線機が開始したコマンドを使用します。

無線機が無効になると、ネガティブ インジケータ トーンが鳴り、ホーム画面に『チャンネルきょひ』と表示されます。

無線機が機能停止状態の場合、受信機は機能停止手順が実行されたシステムでユーザーが開始したあらゆるサービスを要求または受信できません。ただし、無線機は別のシステムに切り替えることができます。機能停止状態であっても、無線機は GNSS 位置報告を送信し続けるので、リモートでモニタできます。



注：

ディーラーやシステム管理者は、無線機を永久に無効にすることができます。詳細については、[無線終了 ページ 180](#) を参照してください。

4.10.24.1

無線機の機能停止

下記の手順に従って、無線機を無効にします。

- 1 プログラムされた [無線停止] ボタンを押します。

- 2 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。
緑色の LED が点滅します。

-
- 3 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合：

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合：

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

4.10.24.2

連絡先リストを使用した無線機の機能停止

下記の手順に従って、連絡先リストを使用して無線機を無効にします。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。
 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。
 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [むせんていし] に移動します。
 を押して選択します。

無線停止操作中に  を押すと、無線機が確認応答メッセージを受信できなくなります。

ディスプレイに [むせんていし: <<無線機のエイリアスまたは ID>>] と表示されます。緑色の LED が点滅します。

5 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
 - ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
-

4.10.24.3

ダイヤルを使用した無線機の機能停止

下記の手順に従って、ダイヤルを使用して無線機を無効にします。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。
 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [ダイヤル] に移動します。
 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [むせん リスト] に移動します。
 を押して選択します。
テキスト行の 1 行目に [むせん ID:] と表示されます。

- 5
無線機の ID を入力し、 を押して先に進みます。

- 6 ▲ または ▼ を押して [むせんていし] に移動します。
 を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点滅します。

-
- 7 確認応答を待ちます。
正常に行われた場合:
 - ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
 - ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。正常に行われなかった場合:
 - ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
 - ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
-

4.10.24.4

無線機の復帰

下記の手順に従って、無線機を有効にします。

- 1 プログラムされた【停止解除】ボタンを押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。

ディスプレイに【ていしかいじょ：＜無線機のエイリアスまたは ID＞】と表示されます。緑色の LED が点灯します。

- 3 確認応答を待ちます。
正常に行われた場合：
 - ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
 - ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。正常に行われなかった場合：
 - ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

4.10.24.5

連絡先リストを使用した無線機の復帰

下記の手順に従って、連絡先リストを使用して無線機を有効にします。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して【Contacts】に移動します。  を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して『ていしかいじょ』に移動

します。 を押して選択します。

ディスプレイに『ていしかいじょ: <無線機のエイリアスまたは ID>』と表示されます。緑色の LED が点灯します。

5 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

ダイヤルを使用した無線機の復帰

下記の手順に従って、ダイヤルを使用して無線機を有効にします。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して『Contacts』に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して『ダイヤル』に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して『こべつコール』に移動します。 を押して選択します。
テキスト行の 1 行目に『むせん ID:』と表示されます。

5 無線機の ID を入力し、 を押して先に進みます。

4.10.24.6

6 ▲ または ▼ を押して『ていしかいじょ』に移動

します。 を押して選択します。

ディスプレイに『ていしかいじょ: <無線機のエイリアスまたは ID>』と表示されます。緑色の LED が点灯します。

7 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

無線終了

この機能は、無線機への不正アクセスを制限するための拡張セキュリティ対策です。

無線終了を使用すると、無線機が操作不能になります。たとえば、盗まれた無線機や誤って配置された無線機が不正に使用されるのを防ぐために、ディーラーが無線機を終了したい場合があります。

電源を入れると、終了済みの無線機の画面に一時的に『むせんしゅうりょうずみ』が表示され、終了済み状態であることが示されます。



注:

終了済みの無線機は、Motorola Solutions のサービスステーションでのみ復帰させることができます。詳細については、ディーラーにお問い合わせください。

4.10.25

4.10.26

ローン ワーカー

この機能は、事前に定義された期間に、無線機のボタンの押下やチャンネル セレクタの使用などのユーザー操作がない場合に、緊急アラームを発します。

プログラムされた期間にユーザーによる操作がなく、無操作タイマーの時間が経過すると、無線機は音声インジケータでユーザーに最初の警告を発します。

事前に定義された通知タイマーの時間が経過しても確認応答がない場合、無線機はディーラーがプログラムした緊急状況を開始します。

4.10.27

パスワード ロック

パスワードを設定して、無線機へのアクセスを制限できます。無線機の電源を入れるたびに、パスワードを入力するように求められます。

無線機では、4桁のパスワード入力を使用できます。

ロック状態の無線機は、通信を受信できません。

4.10.27.1

パスワードを使用した無線機へのアクセス

無線機の電源を入れます。

1 4桁のパスワードを入力します。

- a 各桁の数値を編集するには、▲ または ▼ を押します。次の桁を入力して移動するには、 を押します。

2



を押してパスワードを確認します。

パスワードを正しく入力すると、無線機の電源が入ります。

1回目と2回目の試行後に誤ったパスワードを入力すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴り続けます。
- ディスプレイに『パスワードふてきごう』と表示されます。

ステップ1を繰り返します。

3回目の試行後に誤ったパスワードを入力すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が 2 回点滅します。
- ディスプレイに「パスワードふてきごう」に続き、「むせんきロックずみ」と表示されます。
- 無線機は 15 分間ロック状態になります。



注：
ロック状態の無線機は、オン/オフ/音量コントロールノブおよびプログラムされた【バックライト】ボタンからの入力にのみ反応します。

ロック状態の 15 分タイマーが終了するのを待ってから、[ステップ 1](#) を繰り返します。



注：
無線機の電源を切ってから再度入れると、15 分タイマーが再起動します。

4.10.27.2

ロック状態の無線機をロック解除する

ロック状態の無線機は、コールを受信できません。下記の手順に従って、ロック状態の無線機をロック解除します。

以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 無線機の電源がオンになっている場合には、15 分待ってから [パスワードを使用した無線機へのアクセス ページ 181](#) の手順を繰り返し、無線機にアクセスします。
- 無線機の電源がオフになっている場合には、無線機の電源をオンにします。ロック状態の 15 分タイマーが再起動されます。
トーンが鳴ります。黄色の LED が 2 回点滅します。ディスプレイに「むせんきロックずみ」と表示されます。
15 分待ってから [パスワードを使用した無線機へのアクセス ページ 181](#) の手順を繰り返し、無線機にアクセスします。

4.10.27.3

パスワードの変更

下記の手順に従って、無線機でパスワードを変更します。

1



を押してメニューにアクセスします。

2



または  を押して「Utilities」に移動しま



す。を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [パスワード ロック] に移動します。  を押して選択します。

5 現在の 4 桁のパスワードを入力し、  を押して次に進みます。

パスワードが正しくない場合は、ディスプレイに『パスワードふてきごう』と表示され、自動的に前のメニューへ戻ります。

6 ▲ または ▼ を押して [パスワード ヘンコウ] に移動します。  を押して選択します。

7 新しい 4 桁のパスワードを入力し、  を押して次に進みます。

8 新しい 4 桁のパスワードをもう一度入力し、  を押して次に進みます。

処理が正常に行われると、ディスプレイに『パスワードへんこうずみ』と表示されます。

処理が正常に行われなかった場合は、ディスプレイに『パスワードふてきごう』と表示されます。

前のメニューに自動的に戻ります。

4.10.28

通知リスト

無線機には、未読のメッセージ、テレメータ メッセージ、不在着信やページングなど、チャンネル上で未読のイベントをすべて収集する通知リストがあります。

通知リストにイベントが 1 件以上あると、ディスプレイに【おしらせ】アイコンが表示されます。

リストでは、最大 40 の未読イベントを使用できます。リストがいっぱいになると、自動的に最も古いイベントが次のイベントで置き換えられます。これらのイベントは、読まれた後、通知リストから削除されます。

テキスト メッセージ、不在着信、およびページング イベントの場合、通知の最大数は、テキスト メッセージで 30 件、不在着信またはページングで 10 件です。この最大数は、個々の機能 (JOB チケット、テキスト メッセージ、不在着信、またはページング) のリスト容量に応じて異なります。

4.10.28.1

通知リストへのアクセス

下記の手順に従って、無線機で通知リストにアクセスします。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた [通知] ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。

- 2  を押してメニューにアクセスします。

- 3 ▲ または ▼ を押して [おしらせ] に移動します。
 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して必要なイベントに移動します。
 を押して選択します。

ホーム画面に戻るには、 を長押しします。

4.10.29

エア接続プログラミング

ディーラーは、エア接続プログラミング (OTAP) を使用して、物理的に接続することなく、無線機をリモートから更新できます。さらに、一部の設定も OTAP から設定できます。

無線機が OTAP を実行中のときは、緑色の LED が点滅します。

大量データを受信した場合:

- ディスプレイに [大量データ] アイコンが表示されます。
- チャンネルがビジー状態になります。
- **PTT** ボタンを押すと、ネガティブ トーンが鳴ります。

OTAP が完了した場合 (構成に依存):

- ・ トーンが鳴ります。ディスプレイに「アップデート リセット」と表示されます。電源がオフになってからオンになり、無線機が再起動します。
- ・ 「リスタート」または「えんきする」を選択できます。「えんきする」を選択すると、前の画面に戻ります。自動再起動が行われるまで、ディスプレイに「OTAP 遅延タイマー」アイコンが表示されます。

自動再起動後に無線機の電源が入った場合:

- ・ 成功すると、ディスプレイに「ソフト アップデートかんりょう」と表示されます。
- ・ プログラミングの更新に失敗すると、トーンが鳴り、赤色の LED が 1 回点滅し、ディスプレイに「ソフト アップデートしっぱい」と表示されます。



注:

プログラミングの更新に失敗した場合は、無線機の電源をオンにするたびに、ソフトウェア更新に失敗したことを示すメッセージが表示されます。ソフトウェア更新失敗の表示を消去するために、最新のソフトウェアを使用して無線機を再プログラムするには、販売店にお問い合わせください。

更新されたソフトウェア バージョンについては、「[ソフトウェア更新情報のチェック ページ 214](#)」を参照してください。

4.10.30

受信信号強度インジケータ

この機能を使用して、受信信号強度インジケータ (RSSI) 値を表示できます。

ディスプレイでは、**[RSSI]** アイコンが右上端に表示されます。**[RSSI]** アイコンの詳細については、「[ディスプレイアイコン](#)」を参照してください。

4.10.30.1

RSSI 値の表示

ホーム画面で、◀ を 3 回押してすぐに ▶ を押します。このすべての操作を 5 秒以内に行います。

ディスプレイに現在の RSSI 値が表示されます。

ホーム画面に戻るには、 を長押しします。

4.10.31

正面パネル プログラミング

正面パネル プログラミング (FPP) の特定の機能パラメータをカスタマイズして無線機を効果的に利用できます。

機能パラメータをナビゲートする間、必要に応じて次のボタンを使用します。

上下左右のナビゲーション ボタン

オプションを左右にナビゲートしたり、値を増減するために押します。

メニュー/OK ボタン

オプションを選択したり、サブ メニューに入るために押します。

戻る/ホーム ボタン

短く押すと、前のメニューに戻ったり、選択画面を終了することができます。

長く押すと、いつでもホーム画面に戻ります。

4.10.31.1

正面パネル プログラミングモードの開始

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。
 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [PGM Radio] に移動します。
 を押して選択します。

4.10.31.2

FPP モード パラメータの編集

機能パラメータをナビゲートするときに必要に応じて次のボタンを使用します。

- ▲ ▼、- オプションをスクロールしたり、値を増減したり、垂直にナビゲートしたりします。
-  - オプションを選択するか、サブメニューを入力します。
-  - 短押しすると、前のメニューに戻るか、選択画面を終了することができます。長押しすると、ホーム画面に戻ります。

4.10.32

動的グループ番号割当 (DGNA)

動的グループ番号割当 (DGNA) は、コンソールが無線で無線機に新しいグループを割り当てたり削除したりできる機能です。

コンソールが DGNA を無線機に割り当てると、無線機は DGNA モードになります。

- トーンが鳴ります。
- ホーム画面に戻る前に、ディスプレイに一時的に「<DGNA グループ エイリアス> 割り当て済み」と表示されます。
- DGNA アイコンがステータス バーに表示されます。
- ホーム画面に DGNA グループ エイリアスが表示されません。

コンソールが無線機から DGNA を削除すると、無線機は前のグループに戻ります。

- トーンが鳴ります。
- ホーム画面に戻る前に、ディスプレイに一時的に「<DGNA グループ エイリアス> 削除済み」と表示されます。
- ステータス バーから DGNA アイコンが消えます。

- ホーム画面に、前のグループ エイリアスが表示されません。

無線機のプログラムに応じて、元のスキャン リスト チャンネルと DGNA 以外のグループを表示、編集、および聞き取ることができます。

無線機が DGNA モードになっている場合、[PTT] ボタンを押すと、現在の DGNA グループとのみ通信できます。以前の DGNA 以外のグループと通信するには、[ワンタッチ アクセス] ボタンをプログラムします。「[DGNA 以外の通話の発信 ページ 188](#)」を参照してください。



注：
無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

4.10.32.1

DGNA コールの発信

無線機が DGNA モードになっている場合、[PTT] ボタンを押して通話を発信します。

- DGNA トーンが鳴ります。

- ディスプレイに DGNA アイコンと DGNA グループ エイリアスが表示されます。



注：

無線機が DGNA モードではない場合に【ワンタッチ アクセス】ボタンを押すと、無線機からトーンが鳴り、エラーを示します。表示は変わりません。

4.10.32.2

DGNA 以外の通話の発信

- 1 プログラムされた【ワンタッチ アクセス】ボタンを押します。
 - ポジティブ トーンが鳴ります。
 - ワンタッチ上書き通話の音声ガイドが流れます。
 - ディスプレイに【<グループ エイリアス>】および【PTT を押す】と瞬間的に表示されます。



注：

無線機が DGNA モードではない場合に【ワンタッチ アクセス】ボタンを押すと、無線機からネガティブ トーンが鳴り、エラーを示します。表示は変わりません。

- 2 ネガティブ トーンが鳴る前に【PTT】ボタンを押すと、無線機がホーム画面に戻ります。



注：

無線機にホーム画面が表示されている場合、【PTT】を押すと DGNA グループへ通話を発信します。

4.10.32.3

DGNA 通話の受信と応答

DGNA コールを受信した場合：

- DGNA トーンが鳴ります。
- ディスプレイに、DGNA アイコン、DGNA グループ エイリアス、および無線機エイリアスが表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信通話の音はスピーカから聞こえます。

- 1 電話に応答するには、【PTT】ボタンを押します。

- 2 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

4.11

ユーティリティ

この章では、無線機で利用できるユーティリティ機能の操作について説明します。

4.11.1

キー ロック オプション

この機能を使用すると、無線機を使用していないときに誤ってボタンを押したり、チャンネルを変更したりすることを防ぐことができます。必要に応じて、キー、チャンネルセレクト ノブのいずれかをロック、またはその両方をロックすることを選択できます。

ディーラーは CPS/RM を使用して、次のいずれかのオプションを設定できます。

- キーをロック
- チャンネルセレクト ノブをロック
- キーとチャンネルセレクト ノブをロック

無線機がどのようにプログラムされているかについてはディーラーにお問い合わせください。

4.11.1.1

キー ロック オプションの有効化

次の手順は、無線機の構成方法に応じて、キーをロック、チャンネルセレクト ノブをロック、またはキーをロックとチャンネルセレクト ノブをロックのオプションのいずれかに適用されます。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【キー ロック】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『キーロック』に移動します。
 [OK] を押して選択します。

ディスプレイに『ロックずみ』と表示されます。

4.11.1.2

キー ロック オプションの無効化

次の手順は、無線機の構成方法に応じて、キーをロック、チャンネル セレクタ ノブをロック、またはキーをロックとチャンネル セレクタ ノブをロックのオプションのいずれかに適用されます。

以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた【キー ロック】ボタンを押します。
- ディスプレイに メニューと * をおしてロックかいじょ と表示されたら、[OK] を押してから [★<] を押します。

ディスプレイに『ロックかいじょ』と表示されます。

4.11.2

ハウリング抑制機能のオンとオフの切り替え

この機能により、受信コールでのハウリングを最小限に抑えることができます。下記の手順に従って、ハウリング抑制機能のオンとオフを切り替えます。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【ハウリング抑制】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。

- [OK] を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して『Utilities』に移動します。
 [OK] を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して『Radio Settings』に移動します。
 [OK] を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [ハウリング よくせい] に移動します。  を押して選択します。

5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  を押して、ハウリング抑制機能を有効にします。
-  を押して、ハウリング抑制機能を無効にします。

有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して、[ケーブル タイプ] に移動します。  を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して、選択したオプションを変更します。
現在のケーブル タイプは ✓ で示されます。

4.11.3

ケーブル タイプの特定

下記の手順に従って、無線機で使用するケーブルのタイプを選択します。

1  を押してメニューにアクセスします。

4.11.4

カメラ メニュー タイマー

ホーム画面に自動的に切り替わるまでメニューが表示され続ける時間を設定できます。下記の手順に従って、メニュー タイマーを設定します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [ひょうじ] に移動します。  を押して選択します。
- 5 ▲ または ▼ を押して [タイマー メニュー] に移動します。  を押して選択します。

- 6 ▲ または ▼ を押して必要な設定に移動します。



を押して選択します。

4.11.5

音声変換

音声変換機能は、ディーラーのみが有効にできます。音声変換が有効になっている場合、音声ガイド機能は自動的に無効になります。音声ガイドが有効になっている場合、音声変換機能が自動的に無効になります。

この機能では、次の機能を音声で知らせることができます。

- 現在のチャンネル
- 現在のゾーン
- プログラムされたボタン機能のオン/オフ
- 受信済みテキスト メッセージの内容
- 受信済み JOB チケットの内容

この音声インジケータは、お客様の要件に応じてカスタマイズできます。本機能は、ディスプレイに表示されているコンテンツの読み取りが困難な状況で役立ちます。

4.11.5.1

音声変換の設定

下記の手順に従って、音声変換機能を設定します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [おんせいガイド] に移動します。 を押して選択します。
- 5 ▲ または ▼ を押して以下の機能のいずれかに移動します。 を押して選択します。
利用可能な機能は以下の通りです。
 - すべて

- メッセージ
- JOB チケット
- チャンネル
- ゾーン
- プログラム ボタン

✓ 選択した設定の隣に  が表示されます。

4.11.6

グローバル ナビゲーション サテライトシステム (GNSS) のオンとオフの切り替え

グローバル ナビゲーション サテライト システム (GNSS) は、無線機の正確な位置を測定する衛星ナビゲーションシ

システムです。GNSS には、グローバル ポジショニング システム (GPS) と北斗衛星導航系統 (BDS) が含まれます。



注：

選択した無線機のモデルが GPS および BDS を備えていることがあります。GNSS で使用する衛星群は CPS を使用して構成されています。無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

この機能は、XiR P8668i/CP7668i シリーズにのみ適用されます。

1

2 次のいずれかの手順を実行して、無線機で GNSS のオンとオフを切り替えます。

- プログラムされた **[GNSS]** ボタンを押します。
-  を押してメニューにアクセスします。次の手順に進みます。

3 ▲ または ▼ を押して **[Utilities]** に移動します。
 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して **[Radio Settings]** に移動します。
 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して **[GNSS]** に移動します。
 を押して選択します。

6  を押して GNSS を有効または無効にします。
有効にすると、✓ が **[Enabled]** の隣に表示されます。
無効な場合、✓ が **[Enabled]** の隣で非表示になります。

4.11.7

初期画面のオンとオフの切り替え

手順に従って、初期画面の有効、無効を切り替えることができます。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [ひょうじ] に移動します。 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [しよきがめん] に移動します。 を押して選択します。

6  を押して [しよきがめん] を有効または無効にします。

ディスプレイに次のいずれかの結果が表示されます。

- 有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。

- 無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。

4.11.8

無線機トーン/アラートのオンとオフの切り替え

着信緊急警告トーン以外の、すべての無線機トーンやアラートは、必要に応じて有効化および無効化できます。下記の手順に従って、無線機でトーン/アラートのオンとオフを切り替えます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた [トーン/アラート] ボタンを押します。以下の手順をスキップします。

-  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [トーン/アラート] に移動します。  を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [ぜん トーン] に移動します。  を押して選択します。

6  を押して、すべてのトーンおよびアラートを無効または有効にします。ディスプレイに次のいずれかの結果が表示されます。

- 有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。
- 無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。

トーン/アラートのボリューム オフセット レベルの設定

この機能は、音声ボリュームを基準としてトーンまたはアラートのボリュームを調節できます。下記の手順に従って、無線機でトーンとアラートのボリューム オフセット レベルを設定します。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [トーン/アラート] に移動します。  を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [Vol オフセット] に移動します。  を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して必要なボリューム オフセット レベルに移動します。

対応する各ボリューム オフセット レベルのフィードバック トーンが鳴ります。

7 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  を押して選択します。必要な音量オフセットレベルが保存されます。
-  を押して終了します。変更が破棄されます。

4.11.10

通話許可トーンのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機で通話許可トーンのオンとオフを切り替えます。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [トーン/アラート] に移動します。  を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [きょか トーン] に移動します。  を押して選択します。

6  を押して通話許可トーンを有効または無効にします。

ディスプレイに次のいずれかの結果が表示されます。

- 有効にすると、✓が【Enabled】の隣に表示されます。
- 無効な場合、✓が【Enabled】の隣で非表示になります。

4.11.11

パワー アップ トーンのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機でパワー アップ トーンのオンとオフを切り替えます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して【Utilities】に移動します。
 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して【Radio Settings】に移動します。
 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して【トーン/アラート】に移動します。
 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して【でんげんオン】に移動します。
 を押して選択します。

- 6  を押してパワー アップ トーンを有効または無効にします。ディスプレイに次のいずれかの結果が表示されます。
 - 有効にすると、✓が【Enabled】の隣に表示されます。
 - 無効な場合、✓が【Enabled】の隣で非表示になります。

4.11.12

メッセージ アラーム トーンの設定

連絡先リストの各エントリに対するメッセージ アラーム トーンをカスタマイズできます。下記の手順に従って、無線機でメッセージ アラーム トーンを設定します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。
 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。
 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [メッセージ アラーム] に移動します。
 を押して選択します。

- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して [1 かいのみ] に移動します。
 を押して選択します。
ディスプレイの [1 かいのみ] の隣に ✓ が表示されます。
- ▲ または ▼ を押して [くりかえし] に移動します。
 を押して選択します。
ディスプレイの [くりかえし] の隣に ✓ が表示されます。

4.11.13

出力レベル

各チャネルの出力設定の高低をカスタマイズできます。

つよめ

この設定では、かなり離れた場所にある無線機とも交信できるようになります。

少ない

この設定では、近い場所にある無線機と交信できます。



注：
この機能は、同じ周波数の市民バンド チャネルには適用されません。

4.11.13.1

パワー レベルの設定

下記の手順に従って、無線機で出力レベルを設定します。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた **[Pow Level]** ボタンを押します。以下の手順をスキップします。

-  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [でんげん] に移動します。 を押して選択します。

5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して [■■■■■] に移動しま

す。 を押して選択します。

ディスプレイで ✓ が [■■■■■] の隣に表示されます。

- ▲ または ▼ を押して [■■■■■] に移動しま

す。 を押して選択します。

ディスプレイで ✓ が [■■■■■] の隣に表示されま

6

ホーム画面に戻るには、 を長押しします。

4.11.14

表示モードの変更

必要に応じて、無線機の表示モードをデイとナイトの間で切り替えられます。この機能により、ディスプレイの色パレットが影響を受けます。下記の手順に従って、無線機の表示モードを変更します。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた表示モード ボタンを押します。
以下の手順をスキップします。

-  を押してメニューにアクセスします。

-
- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。
 を押して選択します。

-
- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。
 を押して選択します。

-
- 4 ▲ または ▼ を押して [ひょうじ] に移動します。
 を押して選択します。
ディスプレイに [デイモード] と [ナイトモード] が表示されます。

-
- 5 ▲ または ▼ を押して必要な設定に移動します。
 を押して選択します。
選択した設定の横に ✓ が表示されます。

4.11.15

表示輝度の調整

下記の手順に従って、無線機の表示輝度を調整します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた [輝度] ボタンを押します。以下の手順をスキップします。

-  を押してメニューにアクセスします。

-
- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。
 を押して選択します。

-
- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。
 を押して選択します。

-
- 4 ▲ または ▼ を押して [きど] に移動します。
 を押して選択します。
ディスプレイに進行状況バーが表示されます。

- 5 ▲ または ▼ を押して表示輝度を増減します。



を押して選択します。

4.11.16

ディスプレイ バックライト タイマーの設定

必要に応じて、無線機のディスプレイ バックライト タイマーを設定できます。この設定は、メニュー ナビゲーション ボタンとキーパッドのバックライトにもそれぞれ影響します。下記の手順に従って、無線機でバックライト タイマーを設定します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【バックライト】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [ひょうじ] に移動します。 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して [バックライトタイマ] に移動します。 を押して選択します。

LED インジケータが無効になっているため、ディスプレイ バックライトとキーパッド バックライトは自動的にオフになります。詳細については、「[LED インジケータのオンとオフの切り替え ページ 203](#)」を参照してください。

4.11.17

オートバックライトのオン/オフの切り替え

必要に応じて、無線機のバックライトが自動的にオンになる設定の有効、無効を切り替えられます。有効の場合、無

線機が、通話、通知リスト イベント、または緊急アラームを受信すると、バックライトがオンになります。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [オートバックライト] に移動します。

- 5  を押して、オートバックライトを有効または無効にします。
ディスプレイに次のいずれかの結果が表示されます。
 - 有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。

- 無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。

4.11.18

LED インジケータのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機で LED インジケータのオンとオフを切り替えます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [LED ひょうじ] に移動します。  を押して選択します。
-

- 5  を押して LED 表示を有効または無効にします。ディスプレイに次のいずれかの結果が表示されます。
- 有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。
 - 無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。
-

4.11.19

言語の設定

下記の手順に従って、無線機で言語を設定します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
-

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。
-

- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。
-

- 4 ▲ または ▼ を押して [げんご] に移動します。  を押して選択します。
-

- 5 ▲ または ▼ を押して必要な言語に移動します。  を押して選択します。
- 選択した言語の横に ✓ が表示されます。
-

4.11.20

オプション ボードのオンとオフの切り替え

各チャンネル内のオプション ボード機能をプログラム可能なボタンに割り当てることができます。下記の手順に従っ

て、無線機でオプション ボードのオンとオフを切り替えます。

プログラムされた【オプション ボード】ボタンを押します。

4.11.21

音声ガイドのオンとオフの切り替え

この機能をオンにすると、ユーザーがゾーンとチャンネルを割り当てたときや、ユーザーがプログラム可能ボタンを押したときに、その内容を音声で知らせます。

ディスプレイに表示されているコンテンツの読み取りが困難な状況で役立ちます。

この音声インジケータは、お客様の要件に応じてカスタマイズできます。下記の手順に従って、無線機で音声ガイドのオンとオフを切り替えます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた【音声ガイド】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。

-  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [おんせいガイド] に移動します。 を押して選択します。

5  を押して、音声ガイドを有効または無効にします。

- 有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。
- 無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。

4.11.22

デジタル マイク AGC のオンとオフの切り替え

デジタル マイク自動ゲイン制御 (AGC) を使用すると、デジタル システム上で送信するときに、無線機のマイク ゲインを自動的に制御できます。

この機能は、大きい音が出ないようにしたり小さい音をプリセット値まで増幅したりして、音声レベルを一定に保ちます。下記の手順に従って、無線機でデジタル マイク AGC のオンとオフを切り替えます。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。
 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。
 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [Mic AGC-D] に移動します。
 を押して選択します。

5  を押して、デジタル マイク AGC を有効化/無効化します。

ディスプレイに次のいずれかの結果が表示されます。

- 有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。
 - 無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。
-

4.11.23

内部無線機スピーカと有線アクセサリの間のオーディオ ルートの切り替え

下記の手順に従って、内部無線機スピーカと有線アクセサリの間でオーディオ ルーティングを切り替えます。

次の条件を満たすとき、内部無線機スピーカと有線アクセサリのスピーカの間でオーディオ ルーティングを切り替えます。

- スピーカ付き有線アクセサリが接続されています。
- オーディオは、外部 Bluetooth アクセサリにルーティングされていません。

プログラムされた **【音声切替】** ボタンを押します。

オーディオ ルートが切り替わると、トーンが鳴ります。

無線機の電源を切るかアクセサリを取り外すと内部無線機スピーカへのオーディオ ルーティングがリセットされます。

4.11.24

インテリジェント オーディオのオンとオフの切り替え

定常騒音源と非定常騒音源の両方を含む、周辺環境の背景雑音が多い場合、それに負けないように音量を自動的に調整します。これは受信側の限定機能であり、送信音声は影響を受けません。下記の手順に従って、無線機でインテリジェント オーディオのオンとオフを切り替えます。



注：

この機能は、Bluetooth セッションでは使用できません。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた **【Int オーディオ】** ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
-  **OK** を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して **【Utilities】** に移動しま

す。  **OK** を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [インテリジェント オーディオ] に移動します。  を押して選択します。

- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して [On] にします。  を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [On] の隣に表示されます。
- ▲ または ▼ を押して [Off] にします。  を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [Off] の隣に表示されます。

手順に従って、無線機でトリル拡張のオンとオフを切り替えます。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた [トリル拡張] ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
-  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [トリル かくちょう] に移動します。  を押して選択します。

- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

4.11.25

トリル拡張のオンとオフの切り替え

歯茎でのトリル音 (転がるような "R") の単語を多用する言語で話しているとき、この機能を有効にできます。下記の

- ▲ または ▼ を押して [On] にします。  を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [On] の隣に表示されます。
- ▲ または ▼ を押して [Off] にします。  を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [Off] の隣に表示されます。

4.11.26

マイク ダイナミックひずみコントロール機能のオン/オフ

この機能では、マイク入力を無線機が自動的にモニタし、マイクのゲイン値を調節して音声ノイズを回避できます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [マイクひずみ] に移動します。  を押して選択します。

- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  を押してマイク ダイナミックひずみコントロールを有効にします。有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。
-  を押してマイク ダイナミックひずみコントロールを無効にします。無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。

4.11.27

音声アンビエンスの設定

下記の手順に従って、お使いの環境に応じて無線機で音声アンビエンスを設定します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
 - 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。
 を押して選択します。
 - 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。
 を押して選択します。
 - 4 ▲ または ▼ を押して [オンセイ アンビエンス] に移動します。
 を押して選択します。
 - 5 ▲ または ▼ を押して必要な設定に移動します。
 を押して選択します。
- 設定は次のとおりです。

- 工場出荷時の設定にするには [しょきち] を選択します。
- [だいおんりょう] を選択し、騒音環境下でスピーカの音量を上げます。
- [ワーク グループ] を選択し、複数の無線機が相互に近い場所にあるときのハウリングを緩和します。

選択した設定の横に ✓ が表示されます。

4.11.28

音声プロファイルの設定

下記の手順に従って、無線機で音声プロファイルを設定します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。
 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [オンセイ プロファイル] に移動します。  を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して必要な設定に移動します。
 を押して選択します。

設定は次のとおりです。

- [しよきち] を選択して先に選択されていた音声プロファイルを無効にし、工場出荷時の設定に戻ります。
- 40 代以上の成人でみられる騒音性難聴を補正するための音声プロファイルを [レベル 1]、[レベル 2]、または [レベル 3] から選択します。
- 甲高い声、鼻にかかった声、深い声など、お好みに応じて音声プロファイルを [トレブル ブース

ト]、[ミッド ブースト]、または [バス ブースト] から選択します。

選択した設定の横に ✓ が表示されます。

4.11.29

一般無線機情報

無線機には、一般的のパラメータに関する様々な情報が含まれています。

無線機の一般情報は以下のとおりです。

- バッテリーに関する情報
- 無線エイリアスと ID
- ファームウェアとコードプラグの各バージョン
- ソフトウェア更新
- GNSS 情報
- サイト情報

- 受信信号強度インジケータ



注:



を押して前の画面に戻ります。ホーム画面に

戻るには、 を長押しします。無線機は、無操作タイマーの終了後に、現在の画面を終了します。

4.11.29.1

バッテリー情報へのアクセス

無線機のバッテリーに関する情報を表示します。

1



を押してメニューにアクセスします。

2

▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動しま

す。 を押して選択します。

3

▲ または ▼ を押して [きき じょうほう] に移動

します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [バッテリー INFO] に移動し

ます。 を押して選択します。



注:

IMPRES バッテリーの場合のみ: バッテリーが IMPRES 充電器で調整が必要なとき、ディスプレイに [バッテリーかいふく] と表示されます。調整処理後、ディスプレイにはバッテリー情報が表示されます。

ディスプレイにバッテリー情報が表示されます。



注:

サポートされていないバッテリーの場合、ディスプレイに [不明なバッテリー] と表示されます。

4.11.29.2

無線エイリアスと ID のチェック

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた [無線エイリアスと ID] ボタンを押します。以下の手順をスキップします。

ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

プログラムされた **[無線エイリアスと ID]** ボタンを押して、前の画面に戻ることができます。

-  を押してメニューにアクセスします。

-
- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。
 を押して選択します。

-
- 3 ▲ または ▼ を押して [きき じょうほう] に移動します。
 を押して選択します。

-
- 4 ▲ または ▼ を押して [じきよく ナンバー] に移動します。
 を押して選択します。
- テキスト行の 1 行目に、無線エイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に、無線機 ID が表示されます。
-

ファームウェアとコードプラグのバージョン チェック

- 1  を押してメニューにアクセスします。

-
- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。
 を押して選択します。

-
- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Info] に移動します。
 を押して選択します。

-
- 4 ▲ または ▼ を押して [Versions] に移動します。
 を押して選択します。
- ディスプレイに現在のファームウェアとコードプラグの各バージョンが表示されます。
-

4.11.29.4

GNSS 情報の確認

無線機の GNSS 情報を表示します。

- 緯度
- 経度
- 高度
- 方向
- 速度
- HDOP
- 衛星
- バージョン

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。
 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [きき じょうほう] に移動します。
 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [GNSS じょうほう] に移動します。
 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して、必要な項目に移動します。
 を押して選択します。要求した GNSS 情報がディスプレイに表示されます。

4.11.29.5

ソフトウェア更新情報のチェック

この機能は、最新のソフトウェア更新の日付と時刻を表示します。下記の手順に従って、無線機でソフトウェア更新情報をチェックします。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [きき じょうほう] に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [ソフト アップデート] に移動します。 を押して選択します。
ディスプレイに最新のソフトウェア更新の日付と時刻が表示されます。

ソフトウェア更新メニューは、少なくとも 1 つの OTAP または Wi-Fi セッションが正常に終了した後でのみ使用できます。詳細については、[エア接続プログラミング ページ 357](#) を参照してください。

4.11.29.6

サイト情報の表示

下記の手順に従って、無線機がある現在のサイト名を表示します。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [きき じょうほう] に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [サイトじょうほう] に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイに現在のサイト名が表示されます。

他のシステム

このシステムで無線機ユーザーが利用可能な機能については、この章で取り扱います。

5.1

プッシュトゥトーク ボタン

プッシュトゥトーク ボタン (PTT) ボタンには基本的に 2 つの目的があります。

- 通信中に **PTT** ボタンを使用して、通信に加わっている他の無線機に送信できます。**PTT** ボタンを押すと、マイクが有効になります。
- 通信中でないときは、新規通信を発信するために [**PTT**] ボタンを使用します。

話すには、**PTT** ボタンを押して応答します。相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

通信許可トーンが有効となっている場合、短いアラート トーンが終了するまで待ってから話します。

5.2

216

プログラム可能ボタン

ディーラーは、プログラム可能ボタンに対して、ボタンを押す長さごとに、無線機能へのショートカットをプログラムできます。

短押し

押してすぐに離します。

長押し

プログラムされた時間の間、押し続けます。



注：

【きんきゅう】 ボタンを押す長さをプログラミングする方法については、「[緊急操作 ページ 318](#)」を参照してください。

5.3

指定可能な無線機機能

無線機の以下の機能をプログラム可能なボタンに割り当てることができます。

音声プロファイル

優先される音声プロファイルをユーザーが選択できます。

音声切替

内部無線機スピーカと有線アクセサリスピーカとの間のオーディオルーティングを切り替えます。

ページング

連絡先リストに直接アクセスして、ページングの送信先となる連絡先を選択できるようにします。

通信転送

通信転送機能のオンとオフを切り替えます。

通信履歴

通信履歴のリストを選択します。

チャンネル アナウンスメント

現在のチャンネルのゾーンとチャンネルアナウンス音声メッセージを示します。

連絡先

連絡先リストに直接アクセスできます。

緊急モード

プログラムに応じて、緊急通信を開始またはキャンセルします。

インテリジェント オーディオ

インテリジェントオーディオのオンとオフを切り替えます。

手動ダイヤル

無線機の ID を入力して個別通信を開始します。

手動サイト ローミング ³

手動サイト検索を開始します。

マイク AGC

内部マイクの自動ゲイン制御 (AGC) のオンとオフを切り替えます。

モニタ

選択されたチャンネルのアクティビティをモニタします。

通知

通知リストに直接アクセスできます。

迷惑チャンネル削除 ³

選択されたチャンネルを除く不要なチャンネルをスキャンリストから一時的に削除します。選択されたチャンネルとは、スキャンの開始元として選択されたゾーンまたはチャンネルの組み合わせを指します。

ワンタッチ アクセス

事前に定義した個別通信、電話通話、グループ通信、ページング、クイックテキストメッセージ、またはホーム復帰を直接開始します。

³ Capacity Plus では利用できません。

オプション ボード機能

オプション ボード対応チャンネルで、オプション ボード機能のオンとオフを切り替えます。

連続モニタ³

機能が無効になるまで、選択されたチャンネルですべての無線機トラフィックをモニタします。

電話

電話連絡先リストに直接アクセスできます。

プライバシー

秘話モードのオンとオフを切り替えます。

無線エイリアスと ID

無線エイリアスと ID を提供します。

無線機チェック

システム内の無線機がアクティブであるかどうかを判別します。

停止解除

ターゲットの無線機を遠隔で有効にできます。

無線停止

相手の無線機を遠隔で無効にできます。

リモート モニタ

インジケータを表示せずにターゲットの無線機のマイクをオンにします。

リピータ/ダイレクト³

リピータの使用と、別の無線機との直接的な通信とを切り替えます。

スキャン⁴

スキャンのオンとオフを切り替えます。

ホーム チャンネル リマインダのミュート

ホーム チャンネル リマインダをミュートします。

サイト情報

Capacity Plus-マルチサイトの現在のサイト名と ID を表示します。

音声ガイドが有効になっているときに、現在のサイトの音声ガイド メッセージを再生します。

サイト ロック³

オンに切り替えた場合、無線機は現在のサイトのみを検索します。オフに切り替えた場合、無線機は現在のサイトに加え、他のサイトも検索します。

ステータス

ステータス リスト メニューを選択します。

⁴ Capacity Plus-シングルサイトでは利用できません。

テレメトリ コントロール

ローカルまたはリモート無線機で、出力ピンをコントロールします。

テキスト メッセージ

テキスト メッセージ メニューを選択します。

音声割り込み

送信側無線機からの音声に割り込んで、チャンネルを解放します。

トリル拡張

トリル拡張のオンとオフを切り替えます。

音声ガイド オン/オフ

音声ガイドのオンとオフを切り替えます。

音声起動送信 (VOX)

VOX のオンとオフを切り替えます。

ゾーン選択

ゾーンのリストからの選択を可能にします。

5.4

指定可能な設定またはユーティリティ機能

無線機の以下の設定またはユーティリティ機能をプログラム可能なボタンに割り当てることができます。

トーン/アラート

全トーンとアラートのオンとオフを切り替えます。

バックライト

ディスプレイ バックライトのオンとオフを切り替えます。

バックライト輝度

輝度レベルを調節します。

表示モード

デイ/ナイト表示モードのオンとオフを切り替えます。

キー ロック

キーパッドのロックのオンとオフを切り替えます。

パワー レベル

送信出力レベルの高低を切り替えます。

5.5

プログラムされた機能へのアクセス

下記の手順に従って、無線機でプログラムされた機能にアクセスします。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされたボタンを押します。ステップ 3 に進みます。

-  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押してメニュー機能に移動したら、 を押して機能を選択するか、サブメニューに移動します。

- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  を押して前の画面に戻ります。

- ホーム画面に戻るには、 を長押しします。
一定の期間操作しないと、無線機は自動的にメニューを終了し、ホーム画面に戻ります。

5.6

ステータス インジケータ

この章では、無線機で使用するステータス インジケータおよびオーディオ トーンについて説明します。

5.6.1

アイコン

無線機の 132 × 90 ピクセル、256 色、液晶ディスプレイ (LCD) には、無線機の状態、テキスト エントリ、メニュー

エントリが表示されます。以下は、無線機のディスプレイに表示されるアイコンです。

表 8 : ディスプレイ アイコン

次のアイコンは、無線機ディスプレイ上部のステータスバーに表示されます。アイコンは外観や使用法の順に左詰めで配列され、チャンネル固有です。

	バッテリー バーの本数 (0 ～ 4) でバッテリーの残量を示します。このアイコンは低バッテリー状態になると点滅します。
	通話履歴 無線機の通話履歴。
	連絡先 無線機の連絡先が使用可能です。
	緊急 無線機が緊急モードです。
	GNSS 有効 GNSS 機能が有効です。測位を利用できる場合、アイコンは表示されたままになります。

	GNSS は利用不可 GNSS 機能は有効ですが、衛星からデータを受信していません。
	大量データ 大量データを受信中で、チャンネルがビジーです。
	メッセージ 着信メッセージ。
	モニタ 選択されたチャンネルをモニタ中です。
	ミュート モード ミュート モードが有効になると、スピーカがミュートされます。
	通知 通知リストに、1 つ以上の不在イベントがあります。
	オプション ボード オプション ボードが有効です。(オプション ボード対応モデルのみ)。

	オプション ボード非動作 オプション ボードが無効です。
	無線 (Over-the-Air) プログラミング遅延 タイマ 無線機の自動再起動までの残り時間を 示します。
	受信信号強度インジケータ (RSSI) 表示されるバーの数は、無線機の信号 強度を表します。バーが 4 本のときが 最大強度です。このアイコンは受信時 のみに表示されます。
	応答禁止 応答禁止が有効化されます。
	着信音のみ 呼出音モードが有効です。
	スキャン ⁵ スキャン機能が有効になっています。
	スキャン - 優先度 1 ⁵ 無線機は、優先度 1 に指定されたチャ ネル/グループのアクティビティを検 出します。
	スキャン - 優先度 2 ⁵ 無線機は、優先度 2 に指定されたチャ ネル/グループのアクティビティを検 出します。
	セキュア 秘話モード機能が有効です。
	サイン イン 無線機はリモート サーバーにサイン インします。
	サインアウト 無線機はリモート サーバーからサイ ンアウトします。
	サイレント モード サイレント呼出音モードが有効です。

⁵ Capacity Plus では利用不可です。

	サイト ローミング ⁶ サイト ローミング機能が有効です。
	⁵ ダイレクト モード リピータがない場合、無線機は無線機間で直接通信を行うように設定されています。
	トーン無効 トーンがオフです。
	非セキュア 秘話モード機能が無効です。
	投票スキャン 投票スキャン機能が有効です。

表 9 : 高度なメニュー アイコン

以下のアイコンは、2つのオプションのいずれかを選択できるメニュー項目の隣に表示されるか、2つのオプションがあるサブメニューがあることを示すために表示されます。

	チェックボックス (チェックされている) オプションが選択されていることを示します。
	チェックボックス (空) オプションが選択されていないことを示します。
	黒く塗りつぶされたボックス そのメニュー項目のサブメニューで、オプションが選択されていることを示します。

表 10 : 通話アイコン

以下は、通話中にディスプレイに表示されるアイコンです。これらのアイコンは、[れんらく さき] リストにも表示され、エイリアスや ID タイプを示します。

	個別コール 個別コール中であることを示します。 [れんらく さき] リストでは、無線機のエイリアス (名前) または ID (番号) を示します。
---	---

⁶ Capacity Plus-シングルサイトでは利用不可



グループ コール／斉コール
グループ コール中または一斉コール
中であることを示します。

[れんらく さき] リストでは、グループ
のエイリアス (名前) または ID (番号)
を示します。



グループ コール／斉コールとしての通
話
グループ コールまたは一斉コールと
して通話中であることを示します。

[れんらく さき] リストでは、グループ
のエイリアス (名前) または ID (番号)
を示します。



個別コールとしての通話
個別コールとして通話中であることを
示します。

[れんらく さき] リストでは、電話のエ
イリアス (名前) または ID (番号) を示
します。

表 11 : JOB チケットアイコン

次のアイコンは、JOB チケット フォルダ内で、ディスプレ
イに一時的に表示されます。



すべてのジョブ
リストされているすべてのジョブを
示します。



新しいジョブ
新しいジョブを示します。



処理中
ジョブの送信中です。これが表示さ
れた後で、JOB チケットの送信失敗ま
たは送信完了が示されます。



送信失敗
ジョブを送信できませんでした。



送信完了
ジョブが正常に送信されました。



優先度 1
ジョブの優先度が 1 であることを示
します。



優先度 2

ジョブの優先度が 2 であることを示します。



優先度 3

ジョブの優先度が 3 であることを示します。

表 12 : ミニ通知アイコン

次のアイコンは、タスクを実行するアクションが行われた後で、ディスプレイに瞬時的に表示されます。



送信に失敗 (ネガティブ)

アクションに失敗しました。



送信に成功 (ポジティブ)

アクションに成功しました。



通信処理中 (経過)

送信中です。これは、通信に成功または失敗したという表示の前に表示されます。

表 13 : 送信済みアイテム アイコン

以下のアイコンは、ディスプレイ右上隅にある送信 BOX フォルダに表示されます。



または



は

処理中

送信機のエイリアスまたは ID に対するメッセージの送信は保留中で、承認を待っている状態です。グループのエイリアスまたは ID に対するメッセージの送信が保留中です。



または



は

読み込まれた個別メッセージまたはグループメッセージ

メッセージが読み込まれました。



または



は

読み込まれていない個別メッセージまたはグループメッセージ

メッセージが読み込まれませんでした。



または



は

送信失敗

テキストメッセージを送信できません。



また

送信完了

メッセージは正常に送信されました。



は

5.6.2

LED インジケータ

LED インジケータは、無線機の操作ステータスを示します。

赤色の点滅

無線機はバッテリーの不一致を示しています。

電源投入時のセルフ テストに失敗しました。

緊急送信を受信しています。

低バッテリー状態で送信しています。

オートレンジ トランスポンダ システムで設定されている通信範囲から外れました。

ミュート モードが有効です。

緑色の点灯

無線機が電源オンになっています。

送信しています。

無線機はページングまたは緊急送信を送信しています。

緑色の点滅

通信またはデータを受信しています。

エア接続プログラミング送信を取得しています。

エア接続アクティビティを検出しています。



注：

このアクティビティによるプログラム済みチャンネルへの影響は、デジタル プロトコルの特性によって異なります。

Capacity Plus のエア接続アクティビティを無線機が検出しているときは、LED 表示はありません。

緑色の 2 回点滅

秘話モード対応通信またはデータを受信しています。

黄色の点灯

従来型チャンネルをモニタしています。

黄色の点滅

アクティビティをスキャンしています。

ページングにまだ応答していません。

すべての Capacity Plus-マルチサイト チャンネルがビジー状態です。

黄色の 2 回点滅

自動ローミング機能が有効です。

新規サイトを検索しています。

グループのページングにまだ応答していません。

ロックされています。

Capacity Plus の間は、無線機はリピータに接続されません。

すべての Capacity Plus チャンネルがビジー状態です。

5.6.3

トーン

以下は、無線機のスピーカから鳴るトーンです。



高いトーン



低いトーン

5.6.3.1

インジケータ トーン

タスクを実行するアクションが行われた後、インジケータ トーンによりステータスが音声で通知されます。



ポジティブ インジケータ トーン



ネガティブ インジケータ トーン

5.6.3.2

オーディオ トーン

オーディオ トーンは、無線機の状態や無線機が受信したデータへの応答を音で知らせます。



連続トーン

モノ トーン音。終了まで連続音が鳴ります。



定期トーン

無線機で設定した期間、定期的に音が鳴ります。トーンが開始、中止、反復されます。



反復トーン

ユーザーが停止するまで、シングル トーンが繰り返されます。



瞬間トーン

無線機で設定した短いトーンが 1 回鳴ります。

5.7

ゾーンとチャネルの選択

この章では、無線機でゾーンまたはチャネルを選択する操作について説明します。ゾーンとは、チャネルのグループのことです。

無線機は最大 1000 チャネルと 250 ゾーンをサポートします。1 ゾーンの最大チャネル数は 160 です。

それぞれのチャネルでは、異なる機能をプログラムすることも、異なるユーザー グループをサポートすることもできます。

5.7.1

ゾーンの選択

下記の手順に従って、無線機で必要なゾーンを選択します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【ゾーンせんたく】ボタンを押します。[ステップ 3](#)に進みます。
 -  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して「ゾーン」に移動します。



を押して選択します。

ディスプレイに ✓ と現在のゾーンが表示されます。

- 3 ▲ または ▼ を押して必要なゾーンに移動します。
 -  を押して選択します。

ディスプレイに「<ゾーン> せんたくずみ」が一時的に表示され、すぐに選択されたゾーンの画面に戻ります。

5.7.2

エイリアス検索を使用したゾーンを選択

下記の手順に従って、エイリアス検索を使用して、無線機で必要なゾーンを選択します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して『ゾーン』に移動します。
 を押して選択します。
ディスプレイに ✓ と現在のゾーンが表示されます。
- 3 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。
ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。
- 4 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。
エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されます。同じ名前のエントリが2つ以上ある場合、リス

トの最初に記載されたエントリがディスプレイに表示されます。

テキスト行の1行目に入力した文字が表示されます。テキスト行の次の行に検索結果の短い一覧が表示されます。

-
- 5  を押して選択します。
ディスプレイに『<ゾーン> せんたくずみ』が一時的に表示され、すぐに選択されたゾーンの画面に戻ります。
-

5.7.3

チャンネル選択

下記の手順に従って、無線機で必要なチャンネルを選択します。

チャンネル セレクタ ノブを回してチャンネル、無線機の ID またはグループ ID を選択します。



注：

【仮想チャンネル停止】が有効になっている場合、無線機は最初または最後のチャンネルを超える境界で停止し、トーンが聞こえます。

5.8

通信

この章では、通信の受信、応答、発信、停止の操作について説明します。

以下の機能のいずれかを使用してチャンネルを選択した後、無線機のエイリアスまたは ID、あるいはグループのエイリアスまたは ID を選択できます。

エイリアス検索

この方法は、キーパッド マイクを併用して、グループ通信、個別通信、および一斉通信のみに使用します。

連絡先リスト

この方法では、連絡先リストに直接アクセスできます。

ダイヤル (連絡先を使用)

この方法は、キーパッド マイクを併用して、個別通信および通話のみに使用します。

プログラム可能な数値キー

この方法は、キーパッド マイクを併用して、グループ通信、個別通信、および一斉通信のみに使用します。



注：

各数値キーに割り当てできるのは単一のエイリアスまたは ID ですが、単一のエイリアスまたは ID は、複数の数値キーに関連付けできます。キーパッド マイクのすべての数値キーに割り当てできます。詳細については、[プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て ページ 300](#) を参照してください。

プログラムされた【ワン タッチ アクセス】ボタン

この方法は、グループ、個別、電話通信のみに使用します。

ワン タッチ アクセス ボタンでは、プログラム可能ボタンの短押しまたは長押しに、それぞれ単一の ID のみを割り当てできます。お使いの無線機で、複数の【ワン タッチ アクセス】ボタンをプログラムできます。

プログラム可能ボタン

この方法は、電話通話のみに使用します。

5.8.1

グループ通信

ユーザー グループとの通話を受信/発信するには、無線機をそのグループの所属に設定する必要があります。

5.8.1.1

グループ通信への応答

ユーザー グループからの通信を受信するには、無線機がそのグループの一部として設定されている必要があります。下記の手順に従って、無線機でグループ通信に応答します。

グループ通信を受信した場合:

- 緑色の LED が点滅します。
- テキスト行の 1 行目に発信者のエイリアスが表示されます。
- テキスト行の 2 行目に、グループ通信エイリアスが表示されます。

- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  チャンел フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。
-  音声割り込み機能が有効になっている場合、**PTT** ボタンを押して送信側無線機から音声に割り込んで、応答できるようにそのチャンネルを解放します。

緑色の LED が点灯します。

2 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
-  **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

3 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

無線機が、ホーム画面以外の画面でグループ通信を受信すると、通信に応答するまでその画面のままとまります。

応答前に発信者のエイリアスを確認するには、 ボタンを長押ししてホーム画面に戻ります。

5.8.1.2

グループ通信の発信

下記の手順に従って、無線機でグループ通信を発信します。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- アクティブなグループのエイリアス（名称）または ID のチャンネルを選択します。
- プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。

2 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに、[グループ通信] アイコンとグループ通信エイリアスが表示されます。

3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
-  PTT サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

4 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。ディスプレイに [グループ通信] アイコン、グループのエイリアスまたは ID と、送信側無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。

5 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が PTT ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応

答できるようになったことを示しています。電話に
応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた
時間が経過すると、通話が終了します。通信を開始
する前の画面に戻ります。

5.8.1.3

連絡先リストを使用したグループ コール の発信

下記の手順に従って、連絡先リストを使用して無線機で
グループ コールを発信します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動しま
す。  を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID
に移動します。  を押して選択します。

- 4 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。

- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに
向かってはっきりと話します (有効な場合)。
-  **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイ
クに向かってはっきりと話してください (有効な
場合)。

- 6 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯し
ます。ディスプレイに [グループ コール] アイコン、
エイリアスまたは ID と、送信側無線機のエイリアス
または ID が表示されます。

- 7  チャネル フリー指示機能が有効になっている場
合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い
警告トーンが鳴ります。これは、そのチャネルが応
答できるようになったことを示しています。電話に
応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

5.8.1.4

プログラム可能な数値キーを使用したグループ コールの発信

下記の手順に従って、プログラム可能な数値キーを使用して無線機でグループ コールを発信します。

- 1 ホーム画面が表示されている場合、プログラム可能な数値キーを長く押すと、事前に定義されたエイリアスまたは ID が表示されます。

数値キーが特定のモードのエントリに割り当てられている場合、別のモードで数値キーを長く押しても、この機能は使用できません。

数値キーがエントリに割り当てられていない場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイの右上隅に [グループ コール] アイコンが表示されます。テキスト行の 1 行目に無線機のエイリアスが表示され

ます。テキスト行の 2 行目に、個別コールの場合は通話ステータスが表示され、一斉コールの場合は『いっせいコール』と表示されます。

- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
 -  **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。
-

- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。宛先のエイリアスが表示されます。

- 5  チャネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。通話を開始する前の画面に戻ります。

詳細については、[プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て ページ 300](#) を参照してください。

5.8.1.5

チャンネル セレクタ ノブを使用したグループ コールの発信

下記の手順に従って、チャンネル セレクタ ノブを使用してグループ コールを発信します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - アクティブなグループのエイリアスまたは ID のチャンネルを選択します。
 - プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。

- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに、**[グループ コール]** アイコンとエイリアスが表示されます。

- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
-  **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。ディスプレイに **[グループ コール]** アイコン、エイリアスまたは ID と、送信側無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。通話を開始する前の画面に戻ります。

- 5  チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

トーンが鳴ります。

5.8.2

個別通信

個別通信とは、1 台の無線機から別の 1 台の無線機への通信です。

個別通信には、2 つの設定方法があります。1 つは、無線機プレゼンス チェックの後で通信をセットアップする方法で、もう 1 つは通信を即座に設定する方法です。ディーラーは、これらのタイプのいずれか 1 つのみを無線機にプログラムできます。

個別通信の設定前にプレゼンス チェックを実行するようにプログラムされた無線機で、ターゲットの無線機が有効になっていない場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
- 無線機プレゼンス チェックを開始する前のメニューに戻ります。

詳細については、[プライバシー ページ 346](#) を参照してください。

5.8.2.1

個別通信への応答

下記の手順に従って、無線機で個別通信に応答します。

個別通信を受信した場合:

- 緑色の LED が点滅します。
- **【個別通信】** アイコンが右上隅に表示されます。
- テキスト行の 1 行目に発信者のエイリアスが表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

-  強制停止機能が有効になっている場合、**PTT** ボタンを押して進行中の割り込み可能通話を停止して、応答できるようにそのチャンネルを解放します。

緑色の LED が点灯します。

-
- 2 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

-
- 3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。ディスプレイに [Call Ended] と表示されます。

5.8.2.2

個別通信の発信

個別通信を開始するには無線機をプログラムする必要があります。この機能が無効な場合に通信を開始すると、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。下記の手順に従って、無線機で個別通信を発信します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- アクティブな無線機のエイリアスまたは ID のチャンネルを選択します。
- プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。

-
- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに [こべつ通信] アイコン、無線機のエイリアス、通信ステータスが表示されます。

-
- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

-
- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。

-
- 5  チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。ディスプレイに【Call Ended】と表示されます。

5.8.2.3

連絡先リストを使用した個別通信の発信

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して【Contacts】に移動します。
 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。
 を押して選択します。
- 4 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

無線機で通信の設定中に **PTT** ボタンを放すと、通知なしに前の画面に戻ります。

緑色の LED が点灯します。宛先のエイリアスが表示されます。

- 5 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

- 6 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。ディスプレイに送信ユーザーのエイリアスまたは ID が表示されます。

- 7  チャネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。ディスプレイに【Call Ended】と表示されます。

5.8.2.4

プログラム可能な数値キーを使用した個別コールの発信

下記の手順に従って、プログラム可能な数値キーを使用して無線機で個別コールを発信します。

- 1 ホーム画面が表示されている場合、プログラム可能な数値キーを長く押すと、事前に定義されたエイリアスまたは ID が表示されます。

数値キーが特定のモードのエントリに割り当てられている場合、別のモードで数値キーを長く押しても、この機能は使用できません。

数値キーがエントリに割り当てられていない場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイの右上隅に、**【こべつ コール】** アイコンが表示されます。テキスト行の 1 行目に発信者のエイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に通話ステータスが表示されます。

- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
-  **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。宛先のエイリアスが表示されます。

- 5  **チャンネル フリー** 指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。通話を開始する前の画面に戻ります。

詳細については、「[プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て ページ 300](#)」を参照してください。

5.8.2.5

プログラム可能なダイヤル ボタンを使用した個別コールの発信

下記の手順に従って、プログラム可能な【ダイヤル】ボタンを使用して個別コールを発信します。

1 【ダイヤル】画面に移動するには、プログラムされた【ダイヤル】ボタンを押します。

2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。
ディスプレイに「ばんごう:」と表示されます。

3 無線機のエイリアスを入力します。

4 PTT ボタンを押して通話を発信します。

ディスプレイの右上隅に、【こべつ コール】アイコンが表示されます。テキスト行の 1 行目に発信者のエイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に通話ステータスが表示されます。

5 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

6 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。

7  チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が PTT ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

5.8.3

一斉コール

一斉コールとは、ある無線機からチャンネルの各無線機への通話を指します。一斉コールは、ユーザーの注意を十分に

促す必要がある重要な通知に使用されます。チャンネルのユーザーは、一斉コールには応答できません。

5.8.3.1

一斉通信の受信

一斉通信を受信した場合:

- トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点滅します。
- ディスプレイの右上隅に [グループ通信] アイコンが表示されます。
- テキスト行の 1 行目に発信者のエイリアス ID が表示されます。
- テキスト行の 2 行目に、[いっせいコール] と表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

通信が終了すると、無線機は一斉通信を受信する前の画面に戻ります。

一斉通信の場合、事前に定めた終了前の待機時間は適用されません。

④ チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **[PTT]** ボタンを放したときに、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが使用できるようになったことを示しています。

一斉通信には応答できません。



注:

通信を受信中に別のチャンネルに切り替えると、無線機は一斉通信の受信を停止します。一斉通信が終了するまでは、メニュー ナビゲーションや編集はできません。

5.8.3.2

一斉コールの発信

一斉コールを発信するには無線機をプログラムする必要があります。下記の手順に従って、無線機で一斉コールを発信します。

- 1 アクティブな一斉コール グループのエイリアスまたは ID があるチャンネルを選択します。

2 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに、グループコールアイコンと「いっせいコール」が表示されます。

3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
-  PTT サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

チャンネルのユーザーは、一斉コールには応答できません。

5.8.3.3

プログラム可能な数値キーを使用した一斉コールの発信

下記の手順に従って、プログラム可能な数値キーを使用して無線機で一斉コールを発信します。

1 ホーム画面が表示されている場合、事前に定義されたエイリアスまたは ID に割り当てられたプログラム可能な数値キーを長く押します。

数値キーが特定のモードのエントリに割り当てられている場合、別のモードで数値キーを長く押しても、この機能は使用できません。

数値キーがエントリに割り当てられていない場合、ネガティブインジケータトーンが鳴ります。

2 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。テキスト行の 1 行目に無線機のエイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に通話ステータスが表示されます。

3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
 -  PTT サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。
-

- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。宛先のエイリアスが表示されます。

- 5  チャネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。通話を開始する前の画面に戻ります。

詳細については、[プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て ページ 300](#) を参照してください。

5.8.4

選択コール

選択コールとは、1 台の無線機から別の 1 台の無線機への通話です。アナログ システムでは、個別コールです。

5.8.4.1

選択コールへの応答

下記の手順に従って、無線機で選択コールに応答します。

選択コールを受信した場合:

- 緑色の LED が点滅します。
- 最初のテキスト行には、**【個別コール】** アイコンと発信者のエイリアス、または『**せんたく コール**』か『**ページング コール**』が表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

- 1 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

緑色の LED が点灯します。

- 2 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

- 3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。ディスプレイに『Call Ended』と表示されます。

5.8.4.2

選択コールの発信

選択コールを開始するには無線機をプログラムする必要があります。下記の手順に従って、無線機で選択コールを発信します。

- 1 アクティブな無線機のエイリアスまたは ID のチャンネルを選択します。

- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに こべつ コール アイコン、無線機のエイリアス、通話ステータスが表示されます。

- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
-  **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。

- 5  チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

- 6 ディスプレイに [Call Ended] と表示されます。

5.8.4.3

チャンネル セレクタ ノブを使用した選択コールの発信

個別コールと同様に、許可を受けた個別の無線機が開始した選択コールの受信や応答を行うことができますが、選択

コールを自分から開始するには、無線機がそのようにプログラムされている必要があります。

- 1 アクティブな無線機のエイリアスまたは ID のチャンネルを選びます。

- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

ディスプレイの右上隅に、【こべつ コール】アイコンが表示されます。テキスト行の 1 行目に発信者のエイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に通話ステータスが表示されます。

- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
-  **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。

- 5  チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

トーンが鳴ります。ディスプレイに [Call Ended] と表示されます。

5.8.5

電話通話

電話通話は、個別の無線機から電話機への通話です。

無線機で電話通話機能が有効になっていない場合:

- ディスプレイに [りようふか] と表示されます。
- 無線機の通話がミュートされます。
- 通話が終了すると、前の画面に戻ります。

電話通話中、次の場合に通話が終了します。

- 事前に設定されているディアクセス コードを使用してワンタッチ アクセス ボタンを押す。

- 追加の数字の入力としてディアクセス コードを入力する。

チャンネル アクセス中、コードのアクセス/アクセス解除中、または追加の数字の送信中、無線機はオン/オフ、音量コントロール、およびチャンネル セレクタの各ボタンやノブにのみ反応します。無効な入力を行うたびにトーンが鳴ります。

チャンネル アクセス中に  を押すと、コール試行が解除されます。トーンが鳴ります。



注：

アクセス コードまたはディアクセス コードは 10 文字以下にする必要があります。

詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

5.8.5.1

デュアル トーン マルチ周波数

デュアル トーン マルチ周波数 (DTMF) 機能を使用すると、無線機システム内で電話機システムを操作できます。

5.8.5.1.1

DTMF トーンの開始

下記の手順に従って、無線機で DTMF トーンを開始します。

1 **[PTT]** ボタンを押し続けます。

2 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 番号を入力して DTMF トーンを開始します。
-  を押して DTMF トーンを開始します。
-  を押して DTMF トーンを開始します。

5.8.5.2

個別コールとして電話通話への応答

下記の手順に従って、無線機で個別コール通話に応答します。

個別コール通話を受信した場合：

- ディスプレイの右上隅に **[電話]** アイコンが表示されます。
- ディスプレイに発信者のエイリアスまたは「でんわ」が表示されます。

無線機で無線通話機能が有効になっていない場合、ディスプレイの最初の行に『りようふか』と表示され、無線機によって通話がミュートされます。通話が終了すると、前の画面に戻ります。

- 1 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

- 2 通話を終了するには、 を押します。

ディスプレイに『でんわせつだん』と表示されます。通話が正常に終了した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに『Call Ended』と表示されます。

通話が正常に終了しなかった場合、無線機は通話画面に戻ります。この手順を繰り返してコールを終了します (または、電話のユーザーがコールを終了するまで待ちます)。

5.8.5.3

グループ コールとして電話通話への応答



下記の手順に従って、無線機でグループ コール通話に応答します。

グループ コール通話を受信した場合:

- ディスプレイの右上隅に [電話] アイコンが表示されます。
- ディスプレイにグループのエイリアスと『でんわ』が表示されます。

無線機で無線通話機能が有効になっていない場合、ディスプレイの最初の行に『りようふか』と表示され、無線機によって通話がミュートされます。

- 1 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

- 2 通話を終了するには、 を押します。

ディスプレイに『でんわせつだん』と表示されます。通話が正常に終了した場合:

- トーンが鳴ります。

- ディスプレイに【Call Ended】と表示されます。

通話が正常に終了しなかった場合、無線機は通話画面に戻ります。この手順を繰り返してコールを終了します (または、電話のユーザーがコールを終了するまで待ちます)。

5.8.5.4

一斉コールとして電話通話への応答

一斉コール通話を受信した場合は、一斉コール タイプがチャンネルに割り当てられている場合にのみ、通話の応答や終了が可能です。下記の手順に従って、無線機で一斉コール通話に応答します。

一斉コール通話を受信した場合:

- ディスプレイの右上隅に【電話】アイコンが表示されます。
- ディスプレイに【いっせいコール】と【でんわ】が表示されます。

無線機で無線通話機能が有効になっていない場合、ディスプレイの最初の行に【りようふか】と表示され、無線機によって通話がミュートされます。

通話が終了すると、前の画面に戻ります。

1 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

2 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

3

通話を終了するには、 を押します。

ディスプレイに【でんわせつだん】と表示されます。
通話が正常に終了した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに【いっせいコール】と【コールしゅうりょう】が表示されます。

通話が正常に終了しなかった場合、無線機は通話画面に戻ります。[ステップ 3](#) を繰り返します (または電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます)。

5.8.5.5

電話通話の発信

下記の手順に従って、無線機で通話を発信します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた **[PTT]** ボタンを押します。通話エントリ リストが表示されます。
 - プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。手順 3 に進みます。

-
- 2 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。

通話連絡先画面で **PTT** ボタンを押した場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
 - ディスプレイに **【コール >OK】** と表示されます。
- アクセス コードが事前に設定されていない場合、ディスプレイに **【アクセスコード:】** と表示されます。

3

アクセス コードを入力し、  を押して先に進みます。

アクセス コードまたはディアクセス コードは 10 文字以下にする必要があります。

- 4 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイの右上隅に 電話 アイコンが表示されます。テキスト行の 1 行目に無線機のエイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に通話ステータスが表示されます。通話に成功した場合:

- DTMF トーンが鳴ります。
- 電話機ユーザーのダイアル トーンが聞こえます。
- テキスト行の 1 行目に無線機のエイリアスが表示されます。
- ディスプレイの右上隅に **【電話】** アイコンが引き続き表示されます。

通話に失敗した場合:

- トーンが鳴ります。

- ディスプレイに『でんわ NG』と表示されてから、
『アクセスコード:』と表示されます。
- アクセス コードが [れんらくさき] リストで事前に設定されている場合、そのコールを開始する前の画面に戻ります。

5 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

6 通話中に追加の数字を入力する必要がある場合、

 を押して先に進みます。

通話中に必要な追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、通話を開始する前の画面に戻ります。

デュアル トーン マルチ周波数 (DTMF) トーンが鳴ります。前の画面に戻ります。

7

通話を終了するには、 を押します。

8 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ディアアクセス コードが事前に設定されていない場合は、ディスプレイに『ディアアクセスコード:』と表示されたらディアアクセス コードを入力し、

 を押して先に進みます。

前の画面に戻ります。

- プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。
ワンタッチ アクセス ボタンのエントリが空の場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

DTMF トーンが鳴り、ディスプレイに『でんわせつだん』と表示されます。

通話が正常に終了した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに『Call Ended』と表示されます。

通話が正常に終了しなかった場合、無線機は通話画面に戻ります。最後の 2 つの手順を繰り返すか、電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます。

5.8.5.6

連絡先リストを使用した電話通話の発信



下記の手順に従って、連絡先リストを使用して無線機で通話を発信します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。
 を押して選択します。
ディスプレイにアルファベット順でエントリが表示されます。

- 3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。 を押して選択します。
通話連絡先画面で **PTT** ボタンを押した場合:
 - ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
 - ディスプレイに [コール >OK] と表示されます。
 選択したエントリが空の場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに [つうわむこうなばんごう] と表示されます。

-
- 4 ▲ または ▼ を押して [つうわ] に移動します。

 を押して選択します。

アクセス コードが事前に設定されていない場合、ディスプレイに [アクセスコード:] と表示されます。

-
- 5 アクセス コードを入力し、 を押して先に進みます。
- アクセス コードまたはディアクセス コードは 10 文字以下にする必要があります。
- テキスト行の 1 行目に [よびだしちゅう] と表示されます。ディスプレイの 2 行目に無線機のエイリアスまたは ID と、[電話] アイコンが表示されます。通話に成功した場合:
- DTMF トーンが鳴ります。
 - 電話機ユーザーのダイアル トーンが聞こえます。

- テキスト行の 1 行目に無線機のエイリアスまたは ID と、**[RSSI]** アイコンが表示されます。
- テキスト行の 2 行目に『でんわ』と、**[電話]** アイコンが表示されます。

通話に失敗した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに『でんわ NG』と表示されてから、『アクセスコード:』と表示されます。
- アクセスコードが連絡先リストで事前に設定されている場合、通話を開始する前の画面に戻ります。

6 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。
[RSSI] アイコンが消えます。

7 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

8 通話中に追加の数字を入力する必要がある場合、
 を押して先に進みます。

通話中に必要な追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、通話を開始する前の画面に戻ります。

DTMF トーンが鳴ります。前の画面に戻ります。

9

通話を終了するには、 を押します。

10 ディアクセスコードが事前に設定されていない場合は、ディスプレイに『ディアクセスコード:』と表示

されたらディアクセスコードを入力し、 を押して先に進みます。

前の画面に戻ります。DTMF トーンが鳴り、ディスプレイに『でんわせつだん』と表示されます。
通話が正常に終了した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに『Call Ended』と表示されます。

通話が正常に終了しなかった場合、無線機は通話画面に戻ります。[ステップ 9](#)と[ステップ 10](#)を繰り返すか、電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます。電話連絡先画面で **PTT** ボタンを押すと、トーン

が鳴り、ディスプレイに『コール OK』と表示されます。

電話機ユーザーが通話を終了するとトーンが鳴り、ディスプレイに『でんわしゅうりょう』と表示されます。

電話通話でリクエストされた追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、その通話を開始する前の画面に戻ります。

5.8.5.7

プログラム可能な [TEL] ボタンで電話通話を行う

下記の手順に従って、プログラム可能な [TEL] ボタンで通話を行います。

- 1 プログラムされた [TEL] ボタンを押します。通話エントリ リストが表示されます。

- 2 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。アクセスコードが連絡先リストで事前に設定されていない

場合、ディスプレイに『アクセス コード:』と表示されます。アクセスコードを入力し、  ボタンを押して先に進みます。

- 緑色の LED が点灯します。通話 アイコンが右上端に表示されます。テキスト行の 1 行目に無線機のエイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に、通話ステータスが表示されます。
- 通話設定に成功すると、デュアル トーン マルチ周波数 (DTMF) トーンが鳴ります。電話機ユーザーのダイヤル トーンが聞こえます。テキスト行の 1 行目に無線機のエイリアス通話 アイコンは引き続き右上端に表示されています。テキスト行の 2 行目に、通話ステータスが表示されます。
- 通話設定に失敗するとトーンが鳴り、ディスプレイに『でんわ NG』と表示されます。アクセスコード入力画面に戻ります。アクセスコードが [れんらくさき] リストで事前に設定されている場合、そのコールを開始する前の画面に戻ります。

- 3 話すには、**PTT** ボタンを押して応答します。相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

- 4 電話コールで数字を入力する必要がある場合は、次の操作を実行します。以下のいずれか1つの手順を実行します。

- キーボードのいずれかのキーを押し、追加の数字の入力を始めます。ディスプレイの1行目に「つかへた:」と表示されます。ディスプレイの2行目に、点滅するカーソルが表示されます。残りの数字を入力し、 を押して、先に進みます。デュアル トーン マルチ周波数 (DTMF) トーンが鳴り、前の画面に戻ります。
- ワンタッチ アクセス ボタンを押します。デュアル トーン マルチ周波数 (DTMF) トーンが鳴ります。ワンタッチ アクセス ボタンのエントリが空の場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴りません。

-
- 5 通話を終了するには、 を押します。アクセスコードが連絡先リストで事前に設定されていない場合、ディスプレイの1行目に「ディアクセス コード:」と表示されます。ディスプレイの2行目に、点

滅するカーソルが表示されます。ディアクセス コードを入力し、 ボタンを押して先に進みます。

- デュアル トーン マルチ周波数 (DTMF) トーンが鳴り、ディスプレイに「でんわせつだん」と表示されます。
- 通話終了設定に成功するとトーンが鳴り、ディスプレイに「コールしゅうりょう」と表示されます。
- 通話終了設定に失敗すると、通話画面に戻ります。[ステップ3](#)と[ステップ5](#)を繰り返すか、電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます。
- 通話連絡先画面で **PTT** ボタンを押すと、トーンが鳴り、ディスプレイに「コール >OK」と表示されます。
- 電話機ユーザーが通話を終了するとトーンが鳴り、ディスプレイに「でんわしゅうりょう」と表示されます。

- 電話通話でリクエストされた追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、その通話を開始する前の画面に戻ります。



注：

チャンネル アクセス中に  を押すと、コール試行が解除され、トーンが鳴ります。

コール中、ディアクセス コードが事前設定されている状態でワンタッチ アクセス ボタンを押すか、追加の数字の入力としてディアクセス コードを入力すると、コールの終了が試行されます。

5.8.5.8

ダイヤルを使用した電話通話の発信

下記の手順に従って、ダイヤルを使用して無線機で通話を発信します。

1



を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [ダイヤル] に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [TELばんごう] に移動します。  を押して選択します。

ディスプレイに [ばんごう:] と表示され、カーソルが点滅します。

5

電話番号を入力し、  を押して先に進みます。

アクセス コードが事前に設定されていない場合、ディスプレイに [アクセスコード:] と表示され、カーソルが点滅します。

6

アクセス コードを入力し、  を押して先に進みます。

アクセスコードまたはディアクセスコードは10文字以下にする必要があります。

7

緑色のLEDが点灯します。ディスプレイの右上隅に【電話】アイコンが表示されます。テキスト行の1行目に無線機のエイリアスが表示されます。テキスト行の2行目に通話ステータスが表示されます。通話に成功した場合:

- DTMF トーンが鳴ります。
- 電話機ユーザーのダイアル トーンが聞こえます。
- テキスト行の1行目に無線機のエイリアスが表示されます。
- ディスプレイの右上隅に【電話】アイコンが引き続き表示されます。

通話に失敗した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに【でんわ NG】と表示されてから、【アクセスコード:】と表示されます。

- アクセスコードが連絡先リストで事前に設定されている場合、通話を開始する前の画面に戻ります。

8 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

9 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

10 通話中に追加の数字を入力する必要がある場合、



を押して先に進みます。

通話中に必要な追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、通話を開始する前の画面に戻ります。

DTMF トーンが鳴ります。前の画面に戻ります。

11

通話を終了するには、を押します。

12 以下のいずれか1つの手順を実行します。

- ディアクセスコードが事前に設定されていない場合は、ディスプレイに【ディアクセスコード:】

と表示されたらディアクセス コードを入力し、



を押して先に進みます。

前の画面に戻ります。

- プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。
ワンタッチ アクセス ボタンのエントリが空の場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

DTMF トーンが鳴り、ディスプレイに『でんわせつだん』と表示されます。

通話が正常に終了した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに『Call Ended』と表示されます。

通話が正常に終了しなかった場合、無線機は通話画面に戻ります。[ステップ 11](#) を繰り返します (または電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます)。

5.8.6

通話割り込みの開始

次の操作を実行すると、進行中の通話が中断されます。

- 音声 **PTT** ボタンを押します。
- 緊急ボタンを押します。
- データ送信を実行します。
- プログラムされた **TX** リモート送信解除 ボタンを押します。

受信者の無線機に『つうわ わりこみ』と表示されます。

5.8.7

ブロードキャスト音声通信

ブロードキャスト音声通信は、ユーザーからグループ全体に対する一方向の音声通信です。

ブロードキャスト音声通信機能では、通信を開始したユーザーのみがグループへ送信でき、通信の受信者は応答できません (コール ハング タイムなし)。

この機能を使用するには、無線機をプログラムする必要があります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

5.8.7.1

ブロードキャスト音声通話の発信

ブロードキャスト音声通話を行うように無線機をプログラムします。

- 1 アクティブなグループのエイリアスまたは ID のチャンネルを選択します。

- 2 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- アクティブなグループのエイリアスまたは ID のチャンネルを選択します。
- プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。

- 3 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに「ブロードキャスト コール」、**[グループ コール]** アイコン

とエイリアスが表示されます。ディスプレイに **[グループ通話]** アイコンとエイリアスが表示されます。

- 4 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
- **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。



注：

チャンネルのユーザーは、ブロードキャスト音声通話には応答できません。

通話が終了すると、前のメニューに戻ります。

5.8.7.2

プログラム可能な数値キーを使用したブロードキャスト音声通話の発信

下記の手順に従って、プログラム可能な数値キーを使用して無線機でブロードキャスト音声通話を発信します。

- 1 **【ホーム】**画面で、事前に定義されたエイリアスまたはID に割り当てられたプログラム済みの数値キーを長押しします。

数値キーが特定のモードのエントリに割り当てられている場合、別のモードで数値キーを長く押しても、この機能は使用できません。

数値キーがエントリに割り当てられていない場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。テキスト行の 1 行目に無線機のエイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に通話ステータスが表示されます。

- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

チャネルのユーザーは、ブロードキャスト音声通話に応答できません。

通話が終了すると、前のメニューに戻ります。

詳細については、[プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て ページ 300](#) を参照してください。

5.8.7.3

エイリアス検索を使用したブロードキャスト音声通話の発信

エイリアスや英数字検索を使用して、必要な無線機のエイリアスを取得することができます。この方法では、連絡先からのみ無線機のエイリアスを取得できます。この通話を確立中に [PTT] ボタンを放すと、通知なしに通話が終了し、前の画面に戻ります。相手の無線機が利用不可の場合、短いトーンが鳴り、ディスプレイに『あいてさきむこう』と表

示され、無線機プレゼンス チェックを開始する前のメニューに戻ります。



注:

エイリアス検索を終了するには、 ボタンまたは  を押します。無線機で通話の設定中に **PTT** ボタンを放すと、通知なしに前の画面に戻ります。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。
 を押して選択します。

ディスプレイにアルファベット順でエントリが表示されます。

3 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。
ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。

4 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。

エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されます。同じ名前のエントリが2つ以上ある場合、リストの最初に記載されたエントリがディスプレイに表示されます。

テキスト行の1行目に入力した文字が表示されます。テキスト行の次の行に検索結果の短い一覧が表示されます。

5 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに宛先 ID、通話タイプ、[通話] アイコンが表示されます。

6 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

チャネルのユーザーは、ブロードキャスト音声通話に応答できません。

通話が終了すると、前のメニューに戻ります。

5.8.7.4

ブロードキャスト音声通話の受信

ブロードキャスト音声通話を受信した場合:

- トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点滅します。
- ディスプレイの右上隅に【グループ コール】アイコンが表示されます。
- テキスト行の 1 行目に発信者のエイリアス ID が表示されます。
- テキスト行の 2 行目に、【ブロードキャスト コール】と表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

通話が正常すると、無線機は前の画面に戻ります。

ブロードキャスト音声通話の場合、事前に定めた終了前の待機時間は適用されません。

ブロードキャスト音声通話には応答できません。



注：
通話を受信中に別のチャンネルに切り替える場合、無線機はブロードキャスト音声通話の受信を停止します。ブロードキャスト音声通話が終了するまで、メニューナビゲーションや編集を続行することはできません。

アドレスなし通信

未アドレス通信とは、事前に定義された 16 のグループ ID のいずれかに対するグループ通信です。

この機能は CPS-RM を使用して設定されます。アドレスなし通信を開始または受信するには、事前定義された ID のいずれかの連絡先が必要です。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

5.8.8.1

未アドレス通話の発信

- 1 アクティブなグループのエイリアス（名称）または ID のチャンネルを選択します。
- 2 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - アクティブなグループのエイリアス（名称）または ID のチャンネルを選択します。
 - プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。

3 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。テキスト行に「みアドレスつうわ」、[グループ通話] アイコンおよびエイリアスが表示されます。

4 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
- **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

5 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。瞬間トーンが鳴ります。ディスプレイに「みアドレスつうわ」、[グループ通話] アイコン、エイリアスまたは ID と、送信側無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。

6 チャンネル フリー指示機能が有効な場合、送信無線機で [PTT] ボタンが放された瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるよ

うになったことを示します。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

通話の発信者は  を押して、グループ コールを終了できます。

5.8.8.2

未アドレス通話への応答

宛先なしコールを受信した場合:

- 緑色の LED が点滅します。
- 瞬間トーンが鳴ります。
- テキスト行に、「みアドレスつうわ」、発信者のエイリアス、およびグループ通話のエイリアスが表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が [PTT] ボタンを放した瞬間に、

短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

- 音声割り込み機能が有効になっている場合、**[PTT]** ボタンを押して送信側無線機から音声に割り込んで、応答できるようにそのチャンネルを解放します。

緑色の LED が点灯します。

2 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
- PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

5.8.9

オープン音声チャンネル モード (OVCM)

オープン音声チャンネル モード (OVCM) を使用すると、特定のシステムで動作するように事前に設定されていない無線機で、グループ通信または個別通信中に受信と送信の両方を行うことができます。

OVCM グループ通信はブロードキャスト通信にも対応しています。この機能を使用するように無線機をプログラムします。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

5.8.9.1

OVCM コールの発信

OVCM コールを発信するには無線機をプログラムする必要があります。下記の手順に従って、無線機で OVCM コールを発信します。

- 1 アクティブなグループのエイリアスまたは ID のチャンネルを選択します。
-

2 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- アクティブなグループのエイリアスまたは ID のチャンネルを選択します。

- プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。

3 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。

テキスト行に、通話タイプのアイコン、OVCM およびエイリアスが表示されます。無線機が OVCM 状態に入ったことを示します。

4 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
- **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

- テキスト行には、通話タイプのアイコン、OVCM、エイリアスが表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。



注：

ブロードキャスト コール中は、受信ユーザーがトークバックすることはできません。ディスプレイに「トークバック禁止」と表示されます。ブロードキャスト コール中に **[PTT]** ボタンを押すと、トークバック禁止音が瞬間的に鳴ります。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- チャネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **[PTT]** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。
- 音声割り込み機能が有効になっている場合、**[PTT]** ボタンを押して送信側無線機から音声に割り込んで、応答できるようにそのチャネルを解放します。

緑色の LED が点灯します。

5.8.9.2

OVCM コールへの応答

OVCM コールを受信した場合：

- 緑色の LED が点滅します。

2 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
- **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

5.9

高度な機能

この章では、無線機で利用できる機能の操作について説明します。

ディーラーやシステム管理者が、特定のニーズのために無線機をカスタマイズしている可能性もあります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

5.9.1

JOB チケット

この機能を使用して、実行するタスクを列挙するディスパッチャからのメッセージを、無線機で受信できます。



注：

この機能は、ユーザーの要件に応じて顧客プログラミング ソフトウェア (CPS) 経由でカスタマイズできます。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

次の 2 つのフォルダに、異なる種類の JOB チケットが含まれます。

[マイ タスク] フォルダ

ユーザーがサインインに使用したユーザー ID に割り当てられた、個人用の JOB チケット

[共有タスク] フォルダ

ユーザーのグループに割り当てられた共有 JOB チケット

JOB チケットに応答して、チケットを JOB チケット フォルダに並べることができます。既定のフォルダ名は **[All]**、**[New]**、**[Started]**、および **[Completed]** です。

JOB チケットは、無線機の電源を入れ直しても保持されません。

[All] フォルダには、すべての JOB チケットが配置されます。お使いの無線機のプログラムに応じて、JOB チケットは、優先度順、次に受信時刻順にソートされます。新規の JOB チケット、状態が最近変化した JOB チケット、および優先度が最高の JOB チケットが、リストの先頭に列挙されます。

JOB チケットの最大件数に達すると、最後のチケットが次のチケットに取って代わられます。無線機のモデルに応じて、最大 100 件または 500 件の JOB チケットがサポートされます。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。無線機は、JOB チケット ID が重複している JOB チケットを、自動的に検出して破棄します。

JOB チケットの重要度に応じて、ディスパッチャで優先度レベルが追加されます。優先度レベルには、3 段階(優先度 1、優先度 2、優先度 3) あります。優先度 1 が最高の優先度で、優先度 3 が最低の優先度です。その他に、優先度なしの JOB チケットもあります。

ディスパッチャが下記の変更を行うと、それによって無線機が更新されます。

- JOB チケットの内容修正。
- JOB チケットの優先度レベルの追加または編集。
- JOB チケットのフォルダからフォルダへの移動。

- JOB チケットのキャンセル。

5.9.1.1

JOB チケット フォルダへのアクセス

下記の手順に従って、JOB チケット フォルダへアクセスします。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた **[JOB チケット]** ボタンを押します。[ステップ 3](#) に進みます。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して「ワーク チケット」に移動します。 を押して選択します。
- 3  または  を押して必要なフォルダに移動します。 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して必要な JOB チケットに移動します。  を押して選択します。
-

5.9.1.2

リモート サーバーのログインとログアウト

ユーザー ID を使用して、リモート サーバーへのログインとログアウトが可能です。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
-

- 2 ▲ または ▼ を押して『ログイン』に移動します。  を押して選択します。
- ログイン済みの場合は、メニューに『ログアウト』と表示されます。
- ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。
-

- 3 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
 - ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
-

5.9.1.3

JOB チケットの作成

無線機は JOB チケットを作成できます。これは、JOB チケット テンプレートをベースにしたもので、実行が必要な作業を送信します。

JOB チケット テンプレートを構成するには、CPS プログラミング ソフトウェアが必要です。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して「JOB チケット」に移動します。 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して「チケットさくせい」に移動します。 を押して選択します。

5.9.1.4

単数の JOB チケット テンプレートを使った JOB チケットの送信

単数の JOB チケット テンプレートを使って無線機が構成されている場合、JOB チケットを送信するには、次の操作を実行します。

- 1 キーパッドを使用して、必要な部屋番号を入力します。 を押して選択します。

- 2 ▲ または ▼ を押して「へやのステータス」に移動します。 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して必要なオプションに移動します。 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して「そうしん」に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。

- 5 確認応答を待ちます。
正常に行われた場合:
 - ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
 - ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。正常に行われなかった場合:
 - ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

5.9.1.5

複数の JOB チケット テンプレートを使った JOB チケットの送信

複数の JOB チケット テンプレートを使って無線機が構成されている場合、JOB チケットを送信するには、次の操作を実行します。

- 1 ▲ または ▼ を押して必要なオプションに移動します。 を押して選択します。

- 2 ▲ または ▼ を押して『そうしん』に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。

- 3 確認応答を待ちます。
正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

5.9.1.6

JOB チケットへの応答

下記の手順に従って、無線機で JOB チケットに応答します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して『JOB チケット』に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して必要なフォルダに移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要な JOB チケットに移動します。 を押して選択します。

5 サブメニューにアクセスするには、 を再度押します。

対応する数値キー (1 ~ 9) を押して、【クイックへんしん】を行います。

6 ▲ または ▼ を押して必要な JOB チケットに移動します。 を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。

7 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

5.9.1.7

JOB チケットの削除

下記の手順に従って、無線機で JOB チケットを削除します。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた **[JOB チケット]** ボタンを押します。[ステップ 4](#) に進みます。
-  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して **[JOB チケット]** に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して必要なフォルダに移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して『すべて』フォルダに移動します。 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して必要な JOB チケットに移動します。 を押して選択します。

6 JOB チケットの表示中に、 を再度押します。

7 ▲ または ▼ を押して『さくじょ』に移動します。 を押して選択します。
ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。

8 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

5.9.1.8

すべての JOB チケットの削除

下記の手順に従って、無線機のすべての JOB チケットを削除します。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた **[JOB チケット]** ボタンを押します。[ステップ 3](#) に進みます。
-  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して『JOB チケット』に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して必要なフォルダに移動します。
 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して『すべて』フォルダに移動します。
 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して『ぜんさくじょ』に移動します。
 を押して選択します。

6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して『はい』に移動します。



を押して選択します。

ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

- ▲ または ▼ を押して『いいえ』に移動します。



を押して選択します。

前の画面に戻ります。

5.9.2

272

複数サイト コントロール



無線機は、現在のサイトからの信号が弱い場合や、無線機が現在のサイトからの信号をまったく検出できない場合は、サイトを検索してサイト間を切り替えられます。

信号が強ければ、無線機は現在のサイトに留まります。

この設定は、現在の無線機チャンネルが IP Site Connect または Capacity Plus-Multi-Site 設定に含まれている場合に適用されます。

無線機では、次のいずれかのサイト検索を実行できます。

- 自動サイト検索
- 手動サイト検索

現在のチャンネルがローミング リスト付きの複数サイト チャンネルで、通信範囲外であり、サイトがロック解除されている場合、無線機もまた自動サイト検索を実行します。

5.9.2.1

自動サイト検索の開始

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた【サイト ロック オン/オフ】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
-  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [サイト ローミング] に移動します。 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [サイト アンロック] に移動します。 を押して選択します。

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに【サイト ロックかいじょ】と表示されます。

- 無線機が新しいサイトを検索している間、LED が黄色で素早く点滅します。
- 無線機がサイトをロックすると、黄色の LED は消灯します。

5.9.2.2

自動サイト検索の停止

下記の手順に従って、無線機が新規サイトをアクティブに検索しているときに自動サイト検索を停止します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【サイト ロック オン/オフ】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [サイト ローミング] に移動します。  を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [サイト ロック] に移動します。  を押して選択します。

- トーンが鳴ります。
 - [ゆうこう] の隣から ✓ が消えます。
 - LED がオフになります。
 - ディスプレイに現在のチャンネル エイリアスが表示されます。
-

5.9.2.3

手動サイト検索の有効化

1 下記の作業のどちらかを実行します。

- プログラムされた【手動ローミング】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。
-

2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動します。
 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [サイト ローミング] に移動します。  を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [サイト サーチ] に移動します。  を押して選択します。

トーンが鳴ります。緑色の LED が点滅します。ディスプレイに [サイト サーチ] と表示されます。

無線機が新しいサイトを見つけると、無線機には次のような通知が表示されます。

- ポジティブ トーンが鳴ります。
- LED が消灯します。
- ディスプレイに『サイト 〈エイリアス〉 見つかりました』と表示されます。

無線機が新しいサイトを見つけられない場合、無線機には次のような通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴ります。
- LED が消灯します。
- ディスプレイに『けんがい』と表示されます。

通信範囲内に新しいサイトが存在するものの無線機が接続できない場合、無線機には次のような通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴ります。
- LED がオフになります。
- ディスプレイに『チャンネル ビジー』と表示されます。

5.9.3

テキスト入力設定

お使いの無線機では、さまざまなテキストを設定できます。無線機でのテキストの入力に対して次を設定できます。

- 単語予測
- 単語修正
- 文章大文字修正
- マイワード

利用できるテキスト入力方法は以下のとおりです。

- 数字
- 符号
- 予測またはマルチタップ
- 言語 (プログラムする場合)



注：



を押すと、いつでも前の画面に戻ります。を押すと、ホーム画面に戻ります。無線機は、無操作タイマーの終了後に、現在の画面を終了します。



5.9.3.1

単語予測の有効化/無効化

単語予測無線機は、頻繁に入力する語に共通する並び順を学習できます。学習内容をもとに、テキスト エディタに共

通する語の並びの最初の単語を入力すると、使用する可能性のある次の語を予測します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。
 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。
 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [もじにゅうりょく] に移動します。
 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して [よそく] に移動します。
 を押して選択します。

- 6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して [もじにゅうりょく] に移動します。
 を押して選択します。
-  を押して単語予測を有効にします。有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。
-  を押してマイク ダイナミックひずみコントロールを無効にします。無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。

5.9.3.2

文章大文字修正

この機能は、新しい文を入力するごとに、最初の語の最初の文字を自動的に大文字にするときに使用します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。
 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [もじにゅうりょく] に移動します。 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [おおもじ] に移動します。 を押して選択します。

6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  を押して大文字を有効にします。有効になると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。
-  を押して大文字を無効にします。無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。

カスタム語の表示

自分のカスタム語を無線機に組み込まれた辞書に追加できます。無線機は、その語を含むリストを管理します。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [もじにゅうりょく] に移動します。 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [マイ ワード] に移動します。 を押して選択します。

5.9.3.3

- 6 ▲ または ▼ を押して『たんご リスト』に移動します。 を押して選択します。
- ディスプレイにはカスタム語のリストが表示されます。

5.9.3.4

カスタム語の編集

無線機に保存したカスタム語を編集できます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して『Utilities』に移動します。 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して『Radio Settings』に移動します。 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『もじにゅうりょく』に移動します。 を押して選択します。
 - 5 ▲ または ▼ を押して『マイ ワード』に移動します。 を押して選択します。
 - 6 ▲ または ▼ を押して『たんご リスト』に移動します。 を押して選択します。
- ディスプレイにはカスタム語のリストが表示されます。
- 7 ▲ または ▼ を押して必要な単語に移動します。 を押して選択します。
 - 8 ▲ または ▼ を押して『へんしゅう』に移動します。 を押して選択します。
 - 9 キーパッドを使用して、カスタム語を編集します。
 - ◀ を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。

- ▶ キーを押すと、スペース 1 つ分右側に移動します。
- 不要な文字を削除するときは、 キーを押します。
-  を長押しすると、テキスト入力方法が変更されます。

10

カスタム語が完成したら、 を押します。

ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、カスタム語が保存中であることが示されます。

- カスタム語が保存されると、トーンが鳴り、ディスプレイにはポジティブ ミニ通知が表示されます。
- カスタム語を保存していない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

5.9.3.5

カスタム語の追加

無線機の組み込み辞書に、カスタム語を追加できます。

1

 を押してメニューにアクセスします。

2

▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。
 を押して選択します。

3

▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。
 を押して選択します。

4

▲ または ▼ を押して [もじにゅうりょく] に移動します。
 を押して選択します。

5

▲ または ▼ を押して [マイ ワード] に移動します。
 を押して選択します。

6

▲ または ▼ を押して [しんき ついか] に移動します。
 を押して選択します。

ディスプレイにはカスタム語のリストが表示されます。

7 キーパッドを使用して、カスタム語を編集します。

- ◀ を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。
- ▶ キーを押すと、スペース 1 つ分右側に移動します。
- 不要な文字を削除するときは、(★←) キーを押します。
- (# ㊦) を長押しすると、テキスト入力方法が変更されます。

8 カスタム語が完成したら、 を押します。

ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、カスタム語が保存中であることが示されます。

- カスタム語が保存されると、トーンが鳴り、ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
- カスタム語を保存していない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

カスタム語の削除

無線機に保存したカスタム語を削除できます。

-  を押してメニューにアクセスします。
- ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。
- ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。
- ▲ または ▼ を押して [もじにゅうりょく] に移動します。 を押して選択します。
- ▲ または ▼ を押して [マイ ワード] に移動します。 を押して選択します。

5.9.3.6

6 ▲ または ▼ を押して必要な単語に移動します。

 を押して選択します。

7 ▲ または ▼ を押して「さくじょ」に移動しま

す。 を押して選択します。

8 次のいずれかを選択します。

- 「エントリをさくじょ？」で  を押して「はい」を選択します。ディスプレイに「にゅうりよくさくじょずみ」と表示されます。
- ▲ または ▼ を押して「いいえ」に移動します。 を押して前の画面に戻ります。

5.9.3.7

すべてのカスタム語の削除

無線機に組み込まれた辞書からすべてのカスタム語を削除できます。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して「Utilities」に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して「Radio Settings」に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して「もじにゅうりよく」に移動します。 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して「マイ ワード」に移動します。 を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して「Delete All」に移動します。 を押して選択します。

7 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 「[エントリをさくじょ?」で  を押して「はい」を選択します。ディスプレイに「にゅうりょくさくじょずみ」と表示されます。
- 前の画面に戻るには、▲ または ▼ を押して「いいえ」に移動します。  を押して選択します。

5.9.4

ダイレクト モード

この機能を使用すれば、リピータが作動していない場合や、お使いの無線機がリピータの圏外にある場合でも、通話範囲内にある他の無線機との通信を継続できます。

ダイレクトモード設定は、電源を切った後も保持されます。



注：
この機能は、同じ周波数の Capacity Plus-シングルサイト、Capacity Plus-マルチサイト、および Citizens Band チャンネルでは利用できません。

5.9.4.1

282

リピータとダイレクト モードの切り替え

下記の手順に従って、無線機でリピータとダイレクト モードを切り替えます。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【リピータ/トークアラウンド】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して「Utilities」に移動します。  を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して「Radio Settings」に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して「ダイレクトモード」に移

動します。  を押して選択します。

有効にすると、✓ が「Enabled」の隣に表示されます。

無効な場合、✓ が「Enabled」の隣で非表示になります。

前の画面に自動的に戻ります。

5.9.5

モニタ機能

この機能を使用すると、ターゲットの無線機のマイクをリモートで有効にできます。この機能を使用することで、ターゲットの無線機の周りのあらゆる音声アクティビティをモニタできます。



注：

この機能は、Capacity Plus-シングルサイトおよび Capacity Plus-マルチサイトでは利用できません。

5.9.5.1

チャンネルのモニタ

下記の手順に従って、チャンネルをモニタします。

1 プログラムされた【モニタ】ボタンを長押しします。

ディスプレイに【モニタ】アイコンが表示され、LED が黄色に点灯します。

チャンネルを使用している場合：

- ディスプレイに【モニタ】アイコンが表示されます。
- 無線機のアクティビティが聞こえることも、何も聞こえないこともあります。
- 黄色の LED が点灯します。

モニタされているチャンネルが空いていると、"ホワイト ノイズ" が聞こえます。

2 話すには、PTT ボタンを押して応答します。相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

5.9.5.2

連続モニタ

連続モニタを使用して、選択したチャンネルのアクティビティを継続的にモニタできます。

5.9.5.2.1

連続モニタのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機で連続モニタのオンとオフを切り替えます。

プログラムされた【連続モニタ】ボタンを押します。

無線機が本モードに入ると：

- 警告トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が点灯します。
- ディスプレイに『れんぞくモニタ オン』と【モニタ】アイコンが表示されます。

無線機が本モードを終了すると：

- 警告トーンが鳴ります。
- 黄色の LED がオフになります。

- ディスプレイに『れんぞくモニタ オフ』と表示されます。

5.9.6

無線機チェック

この機能を使用すると、システム内の他の無線機がアクティブであるかどうかを、無線機のユーザーを呼び出さずに判断できます。ターゲットの無線機には、音声や映像による通知は行われません。この機能は、無線機のエイリアスまたは ID にのみ適用されます。この機能を使用するには、無線機をプログラムする必要があります。

5.9.6.1

無線機チェックの送信

下記の手順に従って、無線機で無線機チェックを送信します。

- 1 プログラムされた【無線機チェック】ボタンを押します。

- 2 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。

確認応答を待ちます。

無線機が承認待ちのときに  を押すと、トーンが鳴り、無線機はすべての試行を強制終了し、無線機チェック モードを終了します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

無線機のエイリアスまたは ID の画面に戻ります。

5.9.6.2

連絡先リストを使用して無線機チェックを送信する

下記の手順に従って、連絡先リストを使用して、無線機で無線機チェックを送信します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [むせんチェック] に移動します。  を押して選択します。
ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。

- 5 確認応答を待ちます。

無線機が承認待ちのときに  を押すと、トーンが鳴り、無線機はすべての試行を強制終了し、無線機チェックモードを終了します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

無線機のエイリアスまたは ID の画面に戻ります。

リモート モニタには 2 種類あります。

- 認証を使用しないリモート モニタ
- 認証を使用するリモート モニタ

認証を伴うリモート モニタは、購入可能な機能です。認証を伴うリモート モニタでは、無線機でターゲットの無線機のマイクをオンにする際に検証が必要です。

無線機で、ユーザー認証を使用してターゲットの無線機に対してこの機能を開始する場合、パズフレーズが必要です。パズフレーズは、CPS を使用して、ターゲットの無線機に事前にプログラムしておきます。

この機能を使用するには、お使いの無線機とターゲット無線機の両方をプログラムする必要があります。

この機能は、プログラムされた期間の経過後、または相手の無線機でユーザーが何らかの操作を実行したときに、停止します。

5.9.7

リモート モニタ

この機能を使用して、無線機のエイリアスまたは ID でターゲットの無線機のマイクをオンにします。この機能を使用することで、ターゲット無線機の周りのあらゆる音声アクティビティをリモートでモニタできます。

5.9.7.1

リモート モニタの開始

下記の手順に従って、無線機でリモート モニタを開始します。

- 1 プログラムされた【リモート モニタ】ボタンを押します。

- 2 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。

- 3  を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。

- ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。
- パスフレーズ画面が表示されます。

パスフレーズを入力します。  を押して次の操作へ進みます。

- パスフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中

であることが示されます。緑色の LED が点灯します。

- パスフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。

- 4 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
- プログラムされた長さの間、モニタ対象の無線機から音声の再生が開始され、ディスプレイに『きょうせいモニタ』と表示されます。タイマーの期限が切れると、警告トーンが鳴り、LED が消灯します。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

5.9.7.2

連絡先リストを使用したりモート モニタの開始

下記の手順に従って、連絡先リストを使用して無線機でリモート モニタを開始します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。
 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。
 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [リモート モニタ] に移動します。

- 5  を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。

- ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。
- パスフレーズ画面が表示されます。

パスフレーズを入力します。 を押して次の操作へ進みます。

- パスフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。
- パスフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。

6 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
- プログラムされた長さの間、モニタ対象の無線機から音声の再生が開始され、ディスプレイに「き

ようせいモニタ』と表示されます。タイマーの期限が切れると、警告トーンが鳴り、LED が消灯します。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

5.9.7.3

ダイアルを使用したリモート モニタの開始

下記の手順に従って、ダイアルを使用して無線機でリモート モニタを開始します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [ダイアル] に移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [むせんきばんごう] に移動します。  を押して選択します。

- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 無線機のエイリアスまたは ID を入力し、  を押して処理を続行します。
- 以前にダイアルした ID を編集し、  を押して処理を続行します。

- 6 ▲ または ▼ を押して [リモート モニタ] に移動します。

- 7  を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。

- ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色のLEDが点灯します。
- パスフレーズ画面が表示されます。

パスフレーズを入力します。  を押して次の操作へ進みます。

- パスフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色のLEDが点灯します。
- パスフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。

8 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブインジケータトーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブミニ通知が表示されます。
- プログラムされた長さの間、モニタ対象の無線機から音声の再生が開始され、ディスプレイに『き

ようせいモニタ』と表示されます。タイマーの期限が切れると、警告トーンが鳴り、LEDが消灯します。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブインジケータトーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブミニ通知が表示されます。

5.9.8

スキャンリスト

スキャンリストは、個別チャネルまたはグループに対して作成され、割り当てられます。無線機は、現在のチャネルまたはグループのスキャンリストで指定されたチャネルまたはグループ系列を循環して、音声アクティビティをスキャンします。

無線機では、最大250のスキャンリストを使用できます。リスト内の最大メンバー数は16です。

各スキャンリストには、アナログとデジタルの両方のエントリを混在させることができます。

スキャン リストを編集して、チャンネルの追加や削除、優先順位付けが可能です。

正面パネル プログラミングから、新しいスキャン リストを無線機に追加できます。詳細については、[正面パネル プログラミング ページ 186](#) を参照してください。

メンバーに優先度が設定されている場合は、メンバーのエイリアスの左側に【優先度】アイコンが表示され、優先度 1 と優先度 2 のどちらのチャンネル リストに属しているかが示されます。スキャン リストに複数の優先度 1 または優先度 2 チャンネルを含めることはできません。優先度を【なし】に設定すると、【優先度】アイコンは表示されません。



注：
この機能は、Capacity Plus では利用できません。

5.9.8.1

スキャン リスト内のエントリの表示

下記の手順に従って、無線機でスキャン リストのエントリを表示します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して【スキャン】に移動します。
 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して【スキャン リスト】に移動します。
 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を使用して、リストにある各メンバーを表示します。

5.9.8.2

エイリアス検索を使用したスキャン リスト内のエントリの表示

下記の手順に従って、エイリアス検索を使用して無線機でスキャン リストのエントリを表示します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して【スキャン】に移動します。
 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して『スキャン リスト』に移動します。  を押して選択します。

- 4 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。
ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。

- 5 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。
エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されます。同じ名前のエントリが2つ以上ある場合、リストの最初に記載されたエントリがディスプレイに表示されます。
テキスト行の1行目に入力した文字が表示されます。テキスト行の次の行に検索結果の短い一覧が表示されます。

5.9.8.3

スキャン リストへの新規エントリの追加

下記の手順に従って、無線機でスキャン リストに新規エントリを追加します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して『スキャン』に移動します。  を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して『スキャン リスト』に移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『メンバーつかい』に移動します。  を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。

- 6 ▲ または ▼ を押して必要な優先度に移動します。  を押して選択します。

ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されてから、『つかい?』と表示されます。

7 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 別のエントリを追加するには、▲ または ▼ を押して『はい』に移動します。 を押して選択します。ステップ 5 と ステップ 6 を繰り返します。
- 現在のリストを保存するには、▲ または ▼ を押して『いいえ』に移動します。 を押して選択します。

5.9.8.4

スキャン リストからのエントリの削除

下記の手順に従って、スキャン リストからエントリを削除します。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して『スキャン』に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して『スキャン リスト』に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して『さくじょ』に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイに『エントリをさくじょ?』と表示されます。

6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- エントリを削除するには、▲ または ▼ を押して『はい』に移動します。 を押して選択します。
ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

- 前の画面に戻るには、▲ または ▼ を押して
『いいえ』に移動します。  を押して選択します。

7 ステップ4 から ステップ6 を繰り返して、他のエントリを削除します。

8 すべての必要なエイリアスまたは ID を削除したら、
 を長押ししてホーム画面に戻ります。

5.9.8.5

スキャン リストのエントリに対して優先度を設定する

下記の手順に従って、無線機でスキャン リストのエントリに優先度を設定します。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して『スキャン』に移動します。
 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して『スキャン リスト』に移動します。
 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。
 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して『ゆうせんど』に移動します。
 を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して必要な優先度に移動します。
 を押して選択します。

ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示された後、前の画面に戻ります。【優先度】アイコンは、メンバーのエイリアスの左側に表示されます。

5.9.9

スキャン

スキャンを開始すると、無線機は現在のチャンネルのプログラム スキャン リストを循環して、音声アクティビティを検索します。



注：

この機能は、Capacity Plus では利用できません。

デジタル チャンネルをお使いの場合、デュアルモード スキャン中は、無線機はアナログ チャンネルにロックされます。通話中は、デジタル モードからアナログ モードに自動的に切り替わります。逆もまた同じです。

スキャンを開始するには 2 通りの方法があります。

メイン チャンネル スキャン (マニュアル)

無線機は、スキャン リストにあるすべてのチャンネルまたはグループをスキャンします。設定しだいで、自動的に、最後にスキャンしたアクティブなチャンネルまたはグループのスキャンから開始されることも、スキャンの開始時に使用していたチャンネルからスキャンが開始されることもあります。

自動スキャン (自動)

自動スキャンが有効になっているチャンネルまたはグループを選択すると、無線機が自動的にスキャンを開始します。



注：

スキャンでグループ メッセージを受信する を設定すると、無線機はホーム以外のチャンネルからグループ メッセージを受信できるようになります。無線機は、ホーム チャンネルのグループ メッセージには返信できますが、ホーム以外のチャンネルでは返信できません。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

5.9.9.1

スキャンのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機でスキャンのオンとオフを切り替えます。



注：

スキャン中、無線機は選択されたチャンネルから送信されるデータ (テキスト メッセージ、位置情報、PC データなど) の受信のみを行います。

- 1 チャンネル セレクタ ノブを回して、スキャン リストがプログラムされているチャンネルを選択します。

2



を押してメニューにアクセスします。

3 ▲ または ▼ を押して『スキャン』に移動します。
 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して『スキャンちゅう』に移動します。
 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して必要なスキャン状態に移動し、
 を押して選択します。

スキャンが有効になっている場合:

- ディスプレイに『スキャン オン』と『スキャン』アイコンが表示されます。
- 黄色の LED が点滅します。

スキャンが無効になっている場合:

- ディスプレイに『スキャン オフ』と表示されます。
- 『スキャン』アイコンが消えます。
- LED がオフになります。

5.9.9.2

スキャン中の送信への応答

スキャン中、無線機はアクティビティが検知されたチャンネルまたはグループで停止します。無線機は、ハング タイムと呼ばれるプログラムされた時間だけそのチャンネルに留まります。下記の手順に従って、スキャン中に送信に応答します。

- 1  チャネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **[PTT]** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。ハング タイム中に **PTT** ボタンを押します。

緑色の LED が点灯します。

- 2 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
-  **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

- 3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

ハング タイム中に応答しないと、無線機は他のチャネルまたはグループのスキャンに戻ります。

5.9.9.3

迷惑チャネルの削除

チャネルで不要な通話やノイズ ("迷惑" チャネルと称する) が発生し続ける場合、その不要なチャネルをスキャン リストから一時的に削除できます。この機能は、選択チャネルとして指定されているチャネルには適用されません。下記の手順に従って、無線機で迷惑チャネルを削除します。

- 1 無線機が不要なチャネル、つまり迷惑チャネルにロックされているときに、プログラムされた【迷惑チャネル削除】ボタンをトーンが鳴るまで押します。

- 2 プログラムされた【迷惑チャネル削除】ボタンを放します。

迷惑チャネルが削除されます。

5.9.9.4

迷惑チャネルの復元

下記の手順に従って、無線機で迷惑チャネルを復元します。

以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 無線機の電源を切り、もう一度電源を入れます。
- プログラムされた【スキャン】ボタンまたはメニューを使用してスキャンを停止し、再開します。
- チャネル セレクタ ノブでチャネルを変更します。

5.9.10

投票スキャン



投票スキャン機能は、複数の基地局がさまざまなアナログチャネルで同じ情報を送信している領域を幅広くカバーするための機能です。

無線機は、複数の基地局のアナログ チャネルをスキャンし、投票プロセスを実行して最大強度の受信信号を選択します。これがいったん確立されると、その基地局からの送信を受信します。

投票スキャンの実行時に、黄色の LED が点滅し、【投票スキャン】アイコンが表示されます。

投票スキャン中に送信に応答するには、「[スキャン中の送信への応答 ページ 296](#)」を参照してください。

5.9.11

連絡先設定

連絡先は、無線機でアドレス帳として機能します。各エントリは、通話を開始するときに使用するエイリアスまたは ID に対応します。エントリはアルファベット順にソートされます。

各エントリは、コンテキストに応じて、次のような別々の通話タイプに関連づけられています。グループコール、個別コール、一斉コール、PC コール、ディスパッチコール。

PC コールとディスパッチ コールはデータ関連です。これらはアプリケーションで使用する場合にのみ利用できます。詳細については、データ アプリケーションのマニュアルを参照してください。

● その他、[れんらくさき] メニューでは、各エントリを 1 つのプログラミング可能な数値キーに、複数のエントリをキーパッド マイクに割り当てることができます。1 つのエントリが 1 つの数値キーに割り当てられている場合は、そのエントリに対してクイック ダイヤルを実行できます。



注:

各エントリに割り当てられる数値キーの前にチェックマークが表示されます。チェックマークが「なし」の前にある場合、その数値キーはエントリに割り当てられていません。

連絡先の各エントリには、以下の情報が表示されます。

- [通話タイプ]
- 通話エイリアス
- [通話 ID]



注:

あるチャンネルで秘話モード機能が有効であれば、そのチャンネルで、秘話モード対応のグループ コール、個別コール、および一斉コールを発信することができます。お使いの無線機と同一のプライバシー キー、または同じキー値とキー ID を有する相手先無線機のみが、送信を復号できます。

5.9.11.1

新規連絡先の追加

下記の手順に従って、無線機で新規連絡先を追加します。

1



を押してメニューにアクセスします。

2



または ▼ を押して [Contacts] に移動しま



す。を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して『しんき とうろく』に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して、連絡先タイプを『むせん リスト』または『電話 リスト』から選択します。
 を押して選択します。

5 キーパッドを使用して連絡先番号を入力し、  を押して先に進みます。

6 キーパッドを使用して連絡先名を入力し、  を押して先に進みます。

7 ▲ または ▼ を押して必要な着信音タイプに移動します。  を押して選択します。
ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

既定の連絡先の設定

下記の手順に従って、無線機で既定の連絡先を設定します。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して『Contacts』に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して『しよきちにセット』に移動します。  を押して選択します。
ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。ディスプレイでは、選択した既定のエイリアスまたは ID の横に ✓ が表示されます。

5.9.11.3

プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [キー プログラム] に移動します。  を押して選択します。

- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - 目的の数値キーがエントリに割り当てられていない場合、▲ または ▼ を押して目的の数値キーに移動します。  を押して選択します。

- 目的の数値キーがエントリに割り当てられている場合、ディスプレイに [しようちゅうキー] と表示され、テキスト行の 1 行目に [うわがき?] と表示されます。以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

▲ または ▼ を押して [はい] に移動します。

 を押して選択します。

無線機からはポジティブ インジケータ トーンが聞こえ、ディスプレイに [れんらくさきはぞんずみ] およびポジティブ ミニ通知が表示されます。

前の手順に戻るには、▲ または ▼ を押して [いいえ] に移動します。

5.9.11.4

エントリとプログラミング可能な数値キー間の関連付けの削除

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた数値キーを長押しして必要なエイリアスまたは ID に移動します。 [ステップ 4](#) に進みます。

-  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。
 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [キー プログラム] に移動します。 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [なし] に移動します。
 を押して選択します。

テキスト行の 1 行目に、[ぜんキーからさくじょしま
すか] と表示されます。

6 ▲ または ▼ を押して [はい] に移動します。
 を押して選択します。



注:

エントリが削除されたら、エントリとそのプログラミングされた数値キー間の関連付けは、削除されます。

ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。ディスプレイに [れんらくさきほぞんずみ] と表示されます。
前のメニューに自動的に戻ります。

5.9.12

通信インジケータ設定

この機能を使用すると、通信やテキスト メッセージの着信音を設定できます。

5.9.12.1

着信音のオンとオフの切り替え (ページング用)

1



を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。
 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。
 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [トーン/アラート] に移動します。
 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して [ちゃくしんおん] に移動します。
 を押して選択します。

- 6 ▲ または ▼ を押して [ページング] に移動します。
 を押して選択します。

- 7 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - ▲ または ▼ を押して必要なトーンに移動します。
 を押して選択します。

ディスプレイに ✓ と選択したトーンが表示されます。

- ▲ または ▼ を押して [オフ] に移動します。

 を押して選択します。

以前に着信音が有効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が [オフ] の隣に表示されます。

以前に着信音が無効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が [オフ] の隣に表示されません。

5.9.12.2

着信音のオンとオフの切り替え (個別コール用)

下記の手順に従って、無線機で個別コール受信時の着信音のオンとオフを切り替えます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。
 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [トーン/アラート] に移動します。 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [ちゃくしんおん] に移動します。 を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して [こべつコール] に移動します。 を押して選択します。

個別コールの着信音がオンの場合は、[オン] の隣に ✓ が表示されます。

個別コールの着信音がオフの場合は、[オフ] の隣に ✓ が表示されます。

7 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して必要なトーンに移動します。 を押して選択します。

ディスプレイに ✓ と選択したトーンが表示されます。

- ▲ または ▼ を押して [オフ] に移動します。

 を押して選択します。

以前に着信音が有効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が [オフ] の隣に表示されます。

以前に着信音が無効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が [オフ] の隣に表示されません。

5.9.12.3

着信音のオンとオフの切り替え (選択コール用)

下記の手順に従って、無線機で選択コール受信時の着信音のオン/オフを切り替えます。

1

 を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [トーン/アラート] に移動します。 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [ちゃくしんおん] に移動します。 を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して [せんたくコール] に移動します。 を押して選択します。
ディスプレイに ✓ と現在のトーンが表示されます。

7 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して必要なトーンに移動します。 を押して選択します。
ディスプレイに ✓ と選択したトーンが表示されます。

- ▲ または ▼ を押して [オフ] に移動します。 を押して選択します。
以前に着信音が有効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が [オフ] の隣に表示されます。
以前に着信音が無効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が [オフ] の隣に表示されません。

5.9.12.4

着信音のオンとオフの切り替え (テキストメッセージ用)

下記の手順に従って、無線機でテキストメッセージ受信時の着信音のオン/オフを切り替えます。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [トーン/アラート] に移動します。 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [ちゃくしんおん] に移動します。 を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して [テキスト メッセージ] に移動します。 を押して選択します。
ディスプレイに ✓ と現在のトーンが表示されます。

7 ▲ または ▼ を押して [メッセージ] に移動します。 を押して選択します。

現在のトーンでディスプレイに ✓ が表示されます。

8 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して必要なトーンに移動します。 を押して選択します。
ディスプレイに ✓ と選択したトーンが表示されます。

- ▲ または ▼ を押して [オフ] に移動します。 を押して選択します。
以前に着信音が有効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が [オフ] の隣に表示されます。
以前に着信音が無効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が [オフ] の隣に表示されません。

5.9.12.5

着信音のオンとオフの切り替え (テキスト付きテレメータ ステータス用)

下記の手順に従って、無線機でテレメータ ステータス用着信音のオン/オフを切り替えます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。
 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動します。
 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [トーン/アラート] に移動します。
 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して [ちゃくしんおん] に移動します。
 を押して選択します。

- 6 ▲ または ▼ を押して [テレメトリ] に移動します。
 を押して選択します。
現在のトーンは、✓ で示されます。

- 7 ▲ または ▼ を押して必要なトーンに移動します。
 を押して選択します。 選択した設定の隣りに ✓ A が表示されます。

5.9.12.6

着信音スタイルの割り当て

特定の連絡先から個別通話、ページング、またはテキストメッセージを受信したときに、事前定義された 11 個の着信音のいずれか 1 つが鳴るように、無線機をプログラムできます。リストを操作すると、各着信音スタイルが鳴ります。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。 を押して選択します。

エントリはアルファベット順にソートされます。

- 3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [ひょうじへんしゅう] に移動します。 を押して選択します。

- 5 [ちゃくしんおん] メニューが表示されるまで、 を押します。
現在のトーンは ✓ で示されます。

- 6 ▲ または ▼ を押して必要なトーンに移動します。 を押して選択します。

ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

5.9.12.7

警告トーンの音量を上げる

無線機は、無線機通話に応答がない状態が続くと継続的に警告を発するようにプログラムできます。時間が経つにつれて、アラーム トーンは自動的に大きくなります。この機能はステップ アラートとして知られています。下記の手順に従って、無線機でアラーム トーンの音量を自動的に上げます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [トーン/アラート] に移動します。  を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [ステップ アラート] に移動します。

6  を押して、ステップ アラートを有効または無効にします。有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。

5.9.13

通話履歴機能

無線機は、最近の発信、応答、不在の個別コールをすべて記録します。最近の通話の表示および管理を行うには、通話履歴機能を使用します。

お使いの無線機のシステム設定に応じて、不在着信アラートを通話履歴に含めることができます。各通話リストでは次のタスクを実行できます。

- 連絡先へのエイリアスまたは ID の保存
- 通話の削除
- 詳細の表示

5.9.13.1

最近の通話の表示

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [つうわ りれき] に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して優先リストに移動します。オプションは [ふざいちゃくしん]、[へんとうずみ]、および [はっしん] リストです。



を押して選択します。

ディスプレイに最近のエントリが表示されます。

- 4 ▲ または ▼ を押してリストを表示します。

PTT ボタンを押すと、現在ディスプレイに表示されているエイリアスまたは ID で、通話を開始できます。

5.9.13.2

通話リストの詳細の表示

下記の手順に従って、無線機で通話の詳細を表示します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して『つうわ りれき』に移動します。  を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して必要なリストに移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して『しょうさい』に移動します。  を押して選択します。
ディスプレイに通話の詳細が表示されます。

5.9.13.3

通話リストからのエイリアスまたは ID の保存

下記の手順に従って、通話リストから無線機にエイリアスまたは ID を保存します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して『つうわ りれき』に移動します。  を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して必要なリストに移動します。
 [OK] を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。
 [OK] を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して『ほかん』に移動します。
 [OK] を押して選択します。
 ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。

- 6 必要なエイリアスの残りの文字を入力します。
 [OK] を押して選択します。
 エイリアスなしで ID を格納することができます。
 ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

通信リストからの通信の削除

下記の手順に従って、通話リストから通話を削除します。

- 1 [OK] を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して『つうわ りれき』に移動します。
 [OK] を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して必要なリストに移動します。
 [OK] を押して選択します。
 リストが空の場合:
 - トーンが鳴ります。
 - ディスプレイに『リストにありません』と表示されます。
- 4 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。
 [OK] を押して選択します。

5.9.13.4

- 5 ▲ または ▼ を押して [Delete] に移動します。



を押して選択します。

- 6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  を押して [はい] を選択してエントリを削除します。
ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
- ▲ または ▼ を押して [いいえ] に移動します。
 を押して選択します。
前の画面に戻ります。

5.9.14

ページング操作

ページング機能を使用して、特定の無線機ユーザーに、かけ直すようアラートを送信できます。

この機能は、無線機のエイリアスまたは ID のみに適用され、メニューから [れんらくさき] または [ダイヤル] を選択

するか、プログラムされた [ワンタッチ アクセス] ボタンを使用してアクセスできます。

5.9.14.1

ページングへの応答

ページングを受信した場合：

- 反復トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が点滅します。
- ディスプレイに通知リストが表示され、ページングとともに、呼び出し元無線機のエイリアスまたは ID が示されます。

ディーラーまたはシステム管理者の設置に応じて、以下の 1 つを行うことによりページングに応答できます。

- **PTT** ボタンを押し、個別通信を使って発信者に直接応答します。
- **PTT** ボタンを押し、通常のグループ通信を続けます。
ページングは通信履歴メニューの不在着信履歴オプションに移動します。不在着信履歴から発信者に応答できます。

詳しくは、「[通知リスト ページ 183](#)」および「[通話履歴機能 ページ 125](#)」を参照してください。

5.9.14.2

ページングの発信

下記の手順に従って、無線機でページングを発信します。

- 1 プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。

ディスプレイに「ページング」と無線機のエイリアスと ID が表示されます。緑色の LED が点灯します。

- 2 確認応答を待ちます。

ページング承認を受信した場合は、ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

ページング承認を受信していない場合は、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

5.9.14.3

312

連絡先リストを使用したページングの発信

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。
- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - 無線機のエイリアスまたは ID を直接選択します。
▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。
 - [ダイアル] メニューを使用します。
▲ または ▼ を押して [ダイアル] に移動します。  を押して選択します。
▲ または ▼ を押して [むせんきばんごう] に移動します。  を押して選択します。

ディスプレイに「むせん ID:」と表示されます。カーソルが点滅します。ページングの送

り先無線機の ID を入力します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して「ページング」に移動します。  を押して選択します。

ディスプレイに「ページング」と無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。緑色の LED が点灯します。

- 5 確認応答を待ちます。
- 承認を受信した場合は、ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
 - 承認を受信していない場合は、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

動的な発信者のエイリアス

この機能を使用すると、発信者のエイリアスを無線機の前面パネルから動的に編集できます。

通話中は、受信無線機に送信無線機の発信者のエイリアスが表示されます。

[発信者のエイリアス] リストには、送信無線機の発信者のエイリアスを最大 500 件保存できます。個別コールを [発信者のエイリアス] リストから表示または発信できます。無線機の電源を切ると、発信者のエイリアスの受信履歴が [発信者のエイリアス] リストから削除されます。

5.9.15.1

無線機の電源を入れた後に発信者のエイリアスを編集する

- 1 無線機の電源を入れます。

5.9.15

2

新しい発信者のエイリアスを入力します。  を押して次の操作へ進みます。

ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。



注：

通話中は、受信無線機に新しい発信者のエイリアスが表示されます。

3 ▲ または ▼ を押して『きき じょうほう』に移動します。  を押して選択します。

4

▲ または ▼ を押して『ID』に移動します。  を押して選択します。

5

 を押して次の操作へ進みます。

6

▲ または ▼ を押して『へんしゅう』に移動します。  を押して選択します。

7

新しい発信者のエイリアスを入力します。  を押して選択します。

ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。



注：

通話中は、受信無線機に新しい発信者のエイリアスが表示されます。

5.9.15.2

発信者のエイリアスをメイン メニューから編集する

1

 を押してメニューにアクセスします。

2

▲ または ▼ を押して『Utilities』に移動します。  を押して選択します。

5.9.15.3

発信者のエイリアス リストを表示する

[発信者のエイリアス] リストにアクセスして、発信者のエイリアスの詳細の送受信を表示できます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して『はっしんしゃエイリアス』に移動します。  を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して優先リストに移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『しょうさい』に移動します。  を押して選択します。

個別コールを発信者のエイリアス リストから開始

[発信者のエイリアス] リストにアクセスして、個別コールを開始できます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して『はっしんしゃエイリアス』に移動します。  を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して <[必要な発信者のエイリアス]> に移動します。

- 4 呼び出すには、**PTT** ボタンを押し続けます。

5.9.15.4

5.9.16

ミュート モード

ミュート モードでは、無線機のすべての音声インジケータを無音にできます。

ミュート モードを開始すると、緊急操作などの優先度の高い機能を除くすべての音声インジケータがミュートされます。

ミュート モードを終了すると、無線機で、継続中のトーンおよび音声の再生が再開されます。



重要：

一度に有効にできるのは、フェイス ダウンかマン ダウンのいずれか一方のみです。両方の機能を同時に有効にすることはできません。

この機能が適用されるモデルは、、、XiR P8668i/XiR P8660i/GP338D+, XiR P8608i/XiR P8600i/GP328D+, XiR P8628i/XiR P8620i、のみです。

5.9.16.1

ミュート モードの有効化

下記の手順に従って、ミュート モードを有効にします。

以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- この機能には、プログラムされた【ミュート モード】ボタンからアクセスします。
- 無線機の前面を 1 回だけ下に向けると、この機能にアクセスできます。

無線機のモデルによっては、フェイス ダウン機能はラジオ メニューを使用して有効にするか、システム管理者が有効にします。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。



重要：

一度に有効にできるのは、マンダウンとフェイス ダウンのいずれか一方のみです。両方の機能を同時に有効にすることはできません。

ミュート モードを有効にすると、次のことが発生します。

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに【ミュート モード オン】と表示されます。
- 赤色の LED ライトの点滅が開始し、ミュート モードが終了するまで点滅したままになります。
- ディスプレイのホーム画面に【ミュート モード】アイコンが表示されます。
- 無線機がミュートになります。

- ミュート モード タイマーが、設定された時間のカウントダウンを開始します。

5.9.16.2

ミュート モード タイマーの設定

ミュート モード タイマーを設定すると、事前設定した所定の時間の間、ミュート モード機能を有効にすることができます。タイマーの時間は、無線機メニューで 0.5 ～ 6 時間の範囲内に設定できます。ミュート モードは、タイマーの時間が切れると終了します。

タイマーを 0 のままにすると、無線機の前面を上向きにするか、プログラムされた【ミュート モード】ボタンを押すまで、無線機は無期限にミュート モードのままになります。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。
 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。
 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [ミュート タイマー] に移動します。
 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して各桁の数値を編集し、
 を押します。

5.9.16.3

ミュート モードの終了

この機能は、ミュート モード タイマーの時間が切れると、自動的に終了します。

ミュート モードを手動で終了するには、次のいずれかの操作を実行します。

- プログラムされた【ミュート モード】ボタンを押します。
- 任意のエントリで **PTT** ボタンを押します。

- 無線機の前面を 1 回だけ上に向けます。

ミュート モードを無効にすると、次のことが発生します。

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに『ミュート モード オフ』と表示されます。
- 点滅する赤い LED が消灯します。
- ホーム画面から【ミュート モード】アイコンが消えます。
- 無線機のミュートが解除され、スピーカーが元の状態に戻ります。
- タイマーの時間が切れていない場合、ミュート モードタイマーが停止します。



注：

ユーザーが音声を送信した場合や、プログラムされていないチャンネルに切り替えた場合も、ミュート モードは終了します。

5.9.17

緊急操作

重大な状況を示すために、緊急アラームが使用されます。いつでも、現在のチャンネルでアクティビティがある場合であっても、緊急操作を開始できます。

ディーラーは、プログラムされた【緊急】ボタンの押し下げ時間を設定できます。ただし、他のボタンと同様、長押しは除きます。

短押し

0.05 ～ 0.75 秒の間

長押し

1.00 ～ 3.75 秒の間

緊急ボタンには、緊急のオン/オフ機能が割り当てられています。緊急ボタンに割り当てられている操作については、ディーラーに確認してください。



注：

緊急ボタンの短押しで緊急モードが開始される場合には、長押しで緊急モードが終了します。

緊急ボタンの長押しで緊急モードが開始される場合には、短押しで緊急モードが終了します。

お使いの無線機は、3 つの緊急アラームをサポートしています。

- 緊急アラーム

- 通話による緊急アラーム
- 音声ガイドおよび緊急アラーム 



注：

上記の緊急アラームのいずれか 1 つのみを、プログラムされた **[緊急]** ボタンに割り当てることができません。

また、各アラームには以下のタイプがあります。

レギュラー

無線機がアラーム信号を送信し、音声インジケータと視覚的インジケータのいずれかまたは両方で示されます。

サイレント

無線機がアラーム信号を送信しますが、音声インジケータも視覚的インジケータも示されません。プログラムされた **[ホット マイク]** 送信時間が終了するか、**PTT** ボタンが押されるまで、スピーカから音が漏れることなく通話を受信します。

音声付きサイレント

音声または視覚的インジケータなしにアラーム信号を送信しますが、着信通話の音はスピーカから聞こえます。ホット マイクが有効な場合は、プログラムされた **[ホット マイク]** 送信時間が終了すると、着信通話の音がスピーカから聞こえます。**PTT** ボタンを押した場合にのみ、インジケータが表示されます。

5.9.17.1

緊急アラームの受信

緊急アラームを受信した場合：

- トーンが鳴ります。
- 赤色の LED が点滅します。
- ディスプレイに、緊急 アイコン、緊急通話送信者のエイリアスが表示されます。また、複数のアラームが出ている場合は、すべての緊急通話送信者のエイリアスがアラーム リストに表示されます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- アラームが 1 つだけの場合、詳細を表示するには



を押します。

- 複数のアラームが出ている場合、詳細を表示するには、▲ または ▼ を押して必要なエイリアス



に移動し、を押します。

2



を押すと、操作オプションが表示されます。

3

アラーム リストを終了するには、 を押して「はい」を選択します。

4



を押してメニューにアクセスします。

5 「アラーム」を選択すると、アラーム リストが再表示されます。

6 ホーム画面に戻るには、次の操作を実行します。



を押します。

b ▲ または ▼ を押して「はい」に移動します。



を押して選択します。

無線機がホーム画面に戻り、ディスプレイに [緊急] アイコンが表示されます。

緊急アラームへの応答

1 ディスプレイにアラーム リストが表示されていることを確認します。▲ または ▼ を押して必要なエリアスまたは ID に移動します。

2 緊急アラームの送信先と同じグループに緊急でない音声を送信するには、[PTT] ボタンを押します。

 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が PTT ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。



注：

緊急音声を転送できるのは、緊急起動無線だけです。緊急受信無線を含めて、その他の無線は、緊急以外の音声を転送します。

緑色の LED が点灯します。無線機は緊急モードを保ちます。

3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

5.9.17.2

-  **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

緊急操作を開始した無線機が応答する場合:

- 緑色の LED が点滅します。
- ディスプレイに、[グループ コール] アイコンおよび ID、送信中の無線機の ID、およびアラーム リストが表示されます。

5.9.17.3

緊急アラームの送信

この機能では、音声信号ではない緊急アラームを送信します。この機能を使用して、無線機グループにアラートを通知できます。お使いの無線機がサイレントに設定されている場合、緊急モード中にオーディオや視覚的インジケータは一切表示されません。

下記の手順に従って、無線機で緊急アラームを送信します。

1 プログラムされた [緊急オン] ボタンを押します。

次のいずれかが表示されます。

- ディスプレイに [Tx アラーム] および宛先のエイリアスが表示されます。
-  [Tx テレグラム] および宛先のエイリアスが表示されます。

緑色の LED が点灯します。[緊急] アイコンが表示されます。



注:

プログラムされている場合は、緊急検索トーンが鳴ります。このトーンは、無線機で音声を送受信するときにはミュートされ、緊急モードが終了すると停止されます。緊急検索トーンは CPS を使ってプログラムできます。

2 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- 緊急トーンが鳴ります。
- 赤色の LED が点滅します。

- ディスプレイに「アラームそうしん」と表示されます。

再試行がすべて失敗して処理が正常に行われなかった場合:

- トーンが鳴ります。
 - ディスプレイに「アラーム NG」と表示されます。
- 緊急アラーム モードが終了し、ホーム画面に戻ります。

5.9.17.4

通話による緊急アラームの送信

この機能では、通話による緊急アラームを無線機グループに送信します。グループ内の無線機から確認応答がある
と、無線機グループは、プログラムされた緊急チャンネルで通信できます。

無線機がサイレントに設定されている場合、緊急モードではオーディオまたは視覚的インジケータは生成されず、無線機のスピーカから受信コールは聞こえません。コールを開始するには、PTT ボタンを押します。

無線機が音声付きのサイレントに設定されている場合、緊急モードではオーディオまたは視覚的インジケータは生成

されませんが、無線機のスピーカからは着信コールが聞こえます。PTT ボタンを押して通話を開始するか、または通話に応答した時点で、インジケータが表示されます。

下記の手順に従って、無線機で通話による緊急アラームを送信します。

1 プログラムされた【緊急オン】ボタンを押します。

次のように表示されます:

- 「Tx テレグラム」および宛先のエイリアスが表示されます。

緑色の LED が点灯します。【緊急】アイコンが表示されます。



注:

プログラムされている場合は、緊急検索トーンが鳴ります。このトーンは、無線機で音声を送受信するときにはミュートされ、緊急モードが終了すると停止されます。緊急検索トーンは、ディーラーまたはシステム管理者がプログラムできます。

2 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- 緊急トーンが鳴ります。
- 赤色の LED が点滅します。
- ディスプレイに『アラームそうしん』と表示されます。
- ディスプレイに『きんきゅう』と宛先グループのエイリアスが表示されると、無線機が緊急通話モードに入ります。

3 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに、[グループ コール] アイコンが表示されます。

4 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
-  **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

5 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

ディスプレイに、発信者とグループのエイリアスが表示されます。

6 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が PTT ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、PTT ボタンを押します。

7 通話を終えた後に緊急モードを終了するには、緊急オフ ボタンを押します。

無線機はホーム画面に戻ります。

5.9.17.5

音声ガイドおよび緊急アラーム

この機能では、緊急アラームと音声ガイドを無線機グループに送信します。無線機のマイクは自動的に有効になり、PTT ボタンを押さずに無線機グループと通信できます。こ

のアクティブな状態のマイクを "ホット マイク" と呼びます。

緊急サイクル モードが有効な場合、プログラムされた期間、"ホット マイク" と受信期間が繰り返されます。緊急サイクル モードでは、受信コールの音はスピーカから聞こえます。

プログラムされた受信期間に **PTT** ボタンを押すと、通話禁止音が聞こえます。これは、**PTT** ボタンを放す必要があることを示します。**PTT** ボタンが押されたことは無視され、緊急モードが保たれます。

ホット マイク が有効なときに **[PTT]** ボタンを押し、ホット マイク の期限が切れた後もそのまま押し続けていた場合は、**[PTT]** ボタンを放すまで無線機は送信を続けます。

緊急アラームのリクエストに失敗すると、無線機はそのリクエストを再送信せず、直接 "ホット マイク" 状態に入ります。



注：

"ホット マイク" を使用できないアクセサリもあります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

緊急アラームと音声ガイドの送信

- 1 プログラムされた **[緊急オン]** ボタンを押します。

次のいずれかが表示されます。

- **【Tx アラーム】** および宛先のエイリアスが表示されます。

緑色の LED が点灯します。**[緊急]** アイコンが表示されます。

-
- 2 ディスプレイに **【アラーム そうしん】** と表示されたら、マイクに向かってはっきりと話します。

次の場合、無線機は自動的に送信を終了します。

- 緊急サイクル モードが有効で、ホット マイク と通話受信のサイクルの期限が切れた場合。
- 緊急サイクル モードが無効で、ホット マイク の期限が切れた場合。

-
- 3 緊急オフ ボタンを押して、緊急モードを終了します。
無線機はホーム画面に戻ります。
-

5.9.17.7

緊急モードの再開

下記の操作のどちらかを実行します。

- 無線機が緊急モードの間に、チャンネルを変更します。



注：

新しいチャンネルで緊急アラームを有効にした場合にのみ、緊急モードを再開できます。

- 緊急の起動または転送ステータス時に、プログラムされた【緊急オン】ボタンを押します。

無線機は緊急モードを終了し、再び緊急モードになります。

5.9.18

マン ダウン

この機能は、事前に定義された期間に、無線機の傾きや動きの有無など無線機の動きに変化があると、緊急アラームを発します。

プログラムされた期間内に、無線機の動きに変化があると、動きの変化の検出を示す音声インジケータで無線機からユーザーに最初の警告が発せられます。

事前に定義された通知タイマの時間が経過してもユーザーから確認応答がない場合、無線機は緊急アラームか緊急通話を発します。このリマインダは CPS を使用してプログラムできます。

5.9.18.1

マンダウン機能のオンとオフの切り替え



注：

プログラムされた【マンダウン】ボタンと【マンダウン】設定は、CPS を使用して構成されます。無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

マンダウン機能を無効にすると、有効にするまでプログラムされた警告トーンが繰り返し鳴ります。電源投入時にマンダウン機能に障害があると、デバイス障害トーンが鳴ります。デバイス障害トーンは、無線機が通常動作に戻るまで続きます。

次のいずれかの方法で、この機能を有効または無効にできます。

- プログラムされた【マンダウン】ボタンを押して、この機能のオンとオフを切り替えます。
- メニューを使用してこの機能にアクセスします。

- a.  を押してメニューにアクセスします。
- b. ▲ または ▼ を押して【Utilities】に移動します。 を押して選択します。
- c. ▲ または ▼ を押して【Radio Settings】に移動します。 を押して選択します。
- d. ▲ または ▼ を押して【マンダウン】に移動します。 を押して選択します。
◀ または ▶ を使用して、選択したオプションを変更することもできます。

- e.  を押して、マンダウンを有効または無効にします。

有効にすると、✓ が【Enabled】の隣に表示されます。

無効な場合、✓ が【Enabled】の隣で非表示になります。

5.9.19

テキスト メッセージング

無線機は、他の無線機やテキスト メッセージ アプリケーションからテキスト メッセージなどのデータを受信できます。

テキスト メッセージには、デジタル車載型無線機 (DMR) ショート テキスト メッセージと、テキスト メッセージの 2 種類があります。DMR ショート テキスト メッセージの最大長は 23 文字です。テキスト メッセージの最大長は、件名を含めて 280 文字です。件名は、電子メール アプリケー

ションからメッセージを受信した場合にのみ表示されます。



注:

この最大長は、ソフトウェアとハードウェアが最新のモデルにのみ適用されます。ソフトウェアやハードウェアが古い無線機モデルでは、最大長は 140 文字です。詳細については、ディーラーにお問い合わせください。

5.9.19.1

テキスト メッセージ

テキスト メッセージは受信 BOX に保存され、新しく受信した順番にソートされます。

5.9.19.1.1

テキスト メッセージの表示

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して「メッセージ」に移動します。
 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して「じゅしん BOX」に移動します。
 を押して選択します。

受信 BOX が空の場合:

- ディスプレイに「リストにありません」と表示されます。
- キー操作音がオンであればトーンが鳴ります。

4 ▲ または ▼ を押して必要なメッセージに移動します。
 を押して選択します。

メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合は、件名の行が表示されます。

5.9.19.1.2

テレメータ ステータス メッセージの表示

下記の手順に従って、受信 BOX 内のテレメータ ステータス メッセージを表示します。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して『メッセージ』に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して『じゅしん BOX』に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要なメッセージに移動します。 を押して選択します。

テレメータ ステータス メッセージに返信することはできません。

ディスプレイに『テレメータ:』と表示されます。<ステータス メッセージ>

5 ホーム画面に戻るには、 を長押しします。

5.9.19.1.3

保存されたテキスト メッセージの表示

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた【メッセージ】ボタンを押します。[ステップ 3](#)に進みます。

-  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して『メッセージ』に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して『したがき』に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要なメッセージに移動します。 を押して選択します。

5.9.19.1.4

テキスト メッセージへの応答

下記の手順に従って、無線機でテキスト メッセージに応答します。

テキスト メッセージを受信する場合:

- ディスプレイに通知リストが表示され、送信者のエイリアスまたは ID が示されます。
- ディスプレイに【メッセージ】アイコンが表示されます。



注:

PTT ボタンが押されると、警告画面が終了し、送信者への個別コールまたはグループ コールが開始されます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して【ひょうじ】に移動します。 を押して選択します。
ディスプレイにテキスト メッセージが表示されます。メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合は、件名の行が表示されます。
- ▲ または ▼ を押して【あとでひょうじ】に移動します。 を押して選択します。
テキスト メッセージを受信する前の画面に戻ります。

- ▲ または ▼ を押して【さくじょ】に移動します。 を押して選択します。

2



 を押して [じゅしん BOX] に戻ります。

5.9.19.1.5

テキスト メッセージへの返信

下記の手順に従って、無線機でテキスト メッセージに応答します。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた【メッセージ】ボタンを押します。手順 [ステップ 3](#) に進みます。
-  を押してメニューにアクセスします。

- #### 2 ▲ または ▼ を押して【メッセージ】に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して「じゅしん BOX」に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要なメッセージに移動します。 を押して選択します。
メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合は、件名の行が表示されます。

5  を押してサブメニューにアクセスします。

6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して「へんしん」に移動します。 を押して選択します。
- ▲ または ▼ を押して「クイックへんしん」に移動します。 を押して選択します。

点滅するカーソルが表示されます。必要に応じてメッセージを書き込んだり、編集したりできます。

7
メッセージが完成したら、 を押します。
ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

8 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- トーンが鳴ります。
 - ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
 - 無線機で「さいそうしん」オプション画面が再び表示されます。
-

5.9.19.1.6

テキスト メッセージの転送

下記の手順に従って、無線機でテキスト メッセージを転送します。

【さいそうしん】オプション画面が表示されている場合:

1

▲ または ▼ を押して『てんそう』に移動し、 を押して同じメッセージを別の無線機またはグループのエイリアスまたは ID に送信します。

2

▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

3 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

5.9.19.1.7

ダイアルを使用したテキスト メッセージの転送

下記の手順に従って、無線機でダイアルを使用してテキスト メッセージを転送します。

1 ▲ または ▼ を押して『てんそう』に移動します。 を押して選択します。

2

 を押して、別の無線機、グループのエイリアス、または ID に同じメッセージを送信します。

- 3 ▲ または ▼ を押して『ダイアル』に移動します。
 を押して選択します。
 ディスプレイに『むせん ID:』と表示されます。

- 4 無線機の ID を入力し、 を押して先に進みます。
 ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

- 5 確認応答を待ちます。
 正常に行われた場合:
- トーンが鳴ります。
 - ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
- 正常に行われなかった場合:
- トーンが鳴ります。
 - ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

5.9.19.1.8

テキスト メッセージの編集

『へんしゅう』を選択してメッセージを編集します。



注:
 件名行が存在する場合 (電子メール アプリケーションから受信したメッセージの場合)、この行は編集できません。

- 1 ▲ または ▼ を押して『へんしゅう』に移動します。
 を押して選択します。
 ディスプレイに表示されているカーソルが点滅します。
- 2 キーパッドを使用してメッセージを編集します。
- ◀ を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。
 - ▶ または (#) を押すと、スペース 1 つ分右側に移動します。
 - (*<) を押して、不要な文字を削除します。

-  を長押しすると、テキスト入力方法が変更されます。

3

メッセージが完成したら、 を押します。

4 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して『そうしん』に移動し、
 を押してメッセージを送信します。
- ▲ または ▼ を押して『ほぞん』に移動し、
 を押してメッセージを下書きフォルダに保存します。
-  を押してメッセージを編集します。
-  を押してメッセージを削除するか、下書きフォルダにこのメッセージを保存します。

テキスト メッセージの送信

新規作成したテキスト メッセージまたは保存されたテキスト メッセージがあると仮定します。

メッセージ受信者を選択します。以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。 を押して選択します。
- ▲ または ▼ を押して『ダイアル』に移動します。 を押して選択します。ディスプレイの 1 行目に『むせん ID:』と表示されます。ディスプレイの 2 行目に、点滅するカーソルが表示されます。無線機のエイリアスまたは ID を入力します。 を押します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

正常に行われた場合:

- トーンが鳴ります。

5.9.19.1.9

- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- 低いトーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
- メッセージが [送信済みアイテム] フォルダに移動します。
- メッセージに [送信失敗] アイコンが付きます。



注:

新規作成されたテキスト メッセージの場合、無線機は「さいそうしん」オプション画面に戻ります。

- 2 ▲ または ▼ を押して「へんしゅう」に移動します。
 を押して選択します。
 点滅するカーソルが表示されます。

- 3 キーパッドを使用してメッセージを入力します。

◀ を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。

▶ または (#) を押すと、スペース 1 つ分右側に移動します。

(←) を押して、不要な文字を削除します。

(#) を長押しすると、テキスト入力方法が変更されます。

- 4
 メッセージが完成したら、 を押します。
 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して「そうしん」に移動します。
 を押してメッセージを送信します。

5.9.19.1.10

保存されたテキスト メッセージの編集

- 1
 メッセージの表示中に、 を押します。

-  を押します。▲ または ▼ を押してメッセージの保存または削除を選択します。 を押して選択します。

5.9.19.1.11

テキスト メッセージの再送信

『さいそうしん』オプション画面が表示されている場合:

-  を押して、同じ無線機、グループのエイリアス、または ID に、同じメッセージを再送信します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

- 無線機で『さいそうしん』オプション画面が再び表示されます。

5.9.19.1.12

受信 BOX からのテキスト メッセージの削除

下記の手順に従って、無線機で受信 BOX からテキスト メッセージを削除します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【メッセージ】ボタンを押します。[ステップ 3](#)に進みます。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して『メッセージ』に移動します。 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して『じゅしん BOX』に移動します。 を押して選択します。

受信 BOX が空の場合:

- ディスプレイに「List Empty」と表示されます。
- トーンが鳴ります。

4 ▲ または ▼ を押して必要なメッセージに移動し

ます。  を押して選択します。

メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合は、件名の行が表示されます。

5 を押してサブメニューにアクセスします。

6 ▲ または ▼ を押して「Delete」に移動します。 を押して選択します。

7 ▲ または ▼ を押して「はい」に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。画面は「受信トレイ」に戻ります。

受信 BOX からのすべてのテキスト メッセージの削除

下記の手順に従って、無線機で受信 BOX からすべてのテキスト メッセージを削除します。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた【メッセージ】ボタンを押します。 [ステップ 3](#) に進みます。

-  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して「メッセージ」に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して「じゅしん BOX」に移動します。 を押して選択します。

受信 BOX が空の場合:

- ディスプレイに「List Empty」と表示されます。
- トーンが鳴ります。

4 ▲ または ▼ を押して『ぜんさくじょ』に移動します。
 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して『はい』に移動します。
 を押して選択します。

ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

5.9.19.1.14

下書きフォルダに保存したテキスト メッセージの削除

- 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【メッセージ】 ボタンを押します。[ステップ 3](#)に進みます。
 -  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して『メッセージ』に移動します。
 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して『したき』に移動します。
 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要なメッセージに移動します。
 を押して選択します。

5
 メッセージの表示中に、 を再度押します。

6 ▲ または ▼ を押して『さくじょ』に移動します。
 を押してテキスト メッセージを削除します。

5.9.19.2

送信済みテキスト メッセージ

別の無線機に送信されたメッセージは、送信 BOX フォルダに保存されます。最近送信されたテキスト メッセージは、必ず送信 BOX フォルダの一番上に追加されます。送信済

みテキスト メッセージの再送信、転送、編集、または削除を実行できます。

送信 BOX フォルダは、最大で 30 件の最近送信されたメッセージを格納できます。フォルダが一杯であるときにテキスト メッセージを送信すると、置き換えとして、フォルダの一番古いテキスト メッセージが自動的に削除されます。

メッセージ送信中にメッセージ送信画面を終了すると、ディスプレイや音声による通知を行わずに、送信 BOX フォルダ内のメッセージのステータスが更新されます。

送信 BOX フォルダ内のメッセージ ステータスが更新される前に、無線機のモードが変更されたり電源がオフになったりすると、実行中のメッセージを完了できなくなり、そのメッセージには自動的に [送信失敗] アイコンが表示されます。

無線機では、同時に最大で 5 件の実行中メッセージを使用できます。この間、新しいメッセージを送信できなくなり、新しいメッセージには自動的に [送信失敗] アイコンが表示されます。



ボタンを長押しすると、無線機はいつでもホーム画面に戻ります。



注：
従来型デジタル、Capacity Plus チャネルなど、チャネル タイプが一致しない場合、送信済みメッセージの編集、転送、または削除のみを行えます。

5.9.19.2.1

送信済みテキスト メッセージの表示 ●

下記の手順に従って、無線機で送信済みテキスト メッセージを表示します。

- 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた [メッセージ] ボタンを押します。 [ステップ 3](#) に進みます。
 -  を押してメニューにアクセスします。
-  または  を押して [メッセージ] に移動します。  を押して選択します。
-  または  を押して [そうしん BOX] に移動します。  を押して選択します。

[そうしん BOX] フォルダが空の場合:

- ディスプレイに『リストにありません』と表示されます。
- キー操作音がオンであれば低い音でトーンが鳴ります。

-
- 4 ▲ または ▼ を押して必要なメッセージに移動します。  を押して選択します。

メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合は、件名の行が表示されます。

5.9.19.2.2

送信済みテキスト メッセージの送信

下記の手順に従って、無線機で送信済みテキスト メッセージを送信します。

送信済みメッセージを表示する場合:

- 1
メッセージの表示中に、  を押します。
-

- 2 ▲ または ▼ を押して『さいそうしん』に移動します。  を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

- 3 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
 - ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
 - 無線機に『さいそうしん』オプション画面が表示されます。詳細については、「[テキスト メッセージの再送信 ページ 159](#)」を参照してください。
-

5.9.19.2.3

送信 BOX フォルダからのすべての送信済み
テキスト メッセージの削除

下記の手順に従って、無線機で送信 BOX フォルダからすべての送信済みテキスト メッセージを削除します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【メッセージ】ボタンを押します。ステップ 3 に進みます。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して【メッセージ】に移動します。 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して【そうしん BOX】に移動します。 を押して選択します。
[そうしん BOX] フォルダが空の場合:
 - ディスプレイに【List Empty】と表示されます。
 - トーンが鳴ります。

- 4 ▲ または ▼ を押して【ぜんさくじょ】に移動します。 を押して選択します。

- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して【はい】に移動します。 を押して選択します。
ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
- ▲ または ▼ を押して【いいえ】に移動します。 を押して選択します。
前の画面に戻ります。

5.9.19.3

クイック テキスト メッセージ

無線機では、ディーラーがプログラミングするクイック テキスト メッセージを最大 50 まで使用できます。

クイック テキスト メッセージは事前定義されていますが、送信前に各メッセージを編集できます。

5.9.19.3.1

クイック テキスト メッセージの送信

下記の手順に従って、無線機でクイック テキスト メッセージを送信します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【メッセージ】 ボタンを押します。手順 3 に進みます。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して【メッセージ】に移動します。 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して【クイック テキスト】に移動します。 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して必要なクイック テキスト メッセージに移動します。 を押して選択します。

必要に応じて、キーパッドを使用してメッセージを編集します。

- 5 メッセージの編集が終わったら  を押します。
- 6 以下の手順で受信者を選択し、メッセージを送信します。
 - a ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。 を押して選択します。
 - b ▲ または ▼ を押して【ダイアル】に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイの最初の行に【むせん ID:】が表示され、点滅するカーソルが 2 行目に表示されます。
 - c 無線機のエイリアスまたは ID を入力し、 を押します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

7 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
- 無線機に『さいそうしん』オプション画面が表示されます。詳細については、「[テキスト メッセージの再送信 ページ 159](#)」を参照してください。

5.9.20

アナログ メッセージ エンコード

無線機では、メッセージ リストから無線エイリアスまたはディスパッチャに、事前にプログラムされたメッセージを送信できます。

5.9.20.1

342

ディスパッチャへの MDC エンコード メッセージの送信

下記の手順に従って、無線機で MDC エンコード メッセージをディスパッチャに送信します。

1



を押してメニューにアクセスします。

2

▲ または ▼ を押して『メッセージ』に移動します。  を押して選択します。

3

▲ または ▼ を押して『クイック テキスト』に移動します。  を押して選択します。

4

▲ または ▼ を押して必要なメッセージに移動します。  を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

5 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

2 ▲ または ▼ を押して『メッセージ』に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して『クイック テキスト』に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要なメッセージに移動します。 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して必要な連絡先に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

6 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

5.9.20.2

連絡先への 5 トーン エンコード メッセージの送信

下記の手順に従って、無線機で 5 トーン エンコード メッセージを連絡先に送信します。

1  を押してメニューにアクセスします。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。



注:

詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

5.9.21

アナログ ステータス更新

無線機では、現在のアクティビティを示すステータス リストから無線機の連絡先 (5 トーン システム) またはディスパッチャ (Motorola データ通信システム) に、事前にプログラムされたメッセージを送信できます。

最後に確認されたメッセージがステータス リストの最上部に保存されます。他のメッセージは英数字順に並べられます。

5.9.21.1

定義済み連絡先へのステータス更新の送信

下記の手順に従って、無線機で定義済み連絡先にステータス更新を送信します。

- 1 ▲ または ▼ を押して「ステータス」に移動します。  を押して選択します。

- 2 ▲ または ▼ を押して必要なステータスに移動します。  を押して選択します。

5 トーン システムの場合、ステータス リストで **PTT** ボタンを押すと、選択したステータス更新が送信され、ホーム画面が表示されて、音声通話が開始されます。

- 3 ▲ または ▼ を押して「しよきちにセット」に移動します。  を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、ステータス更新が送信中であることが示されます。

4 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
- ディスプレイで、承認されたステータスの隣に  が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
- ディスプレイで、前のステータスの隣に  が表示されます。

5 トーン システムの場合、既定の連絡先設定の詳細については、「[既定の連絡先の設定 ページ 299](#)」を参照してください。

5.9.21.2

5 トーン ステータスの詳細の表示

下記の手順に従って、無線機で 5 トーン ステータスの詳細を表示します。

ソフトウェアのライセンス キーを購入済みであることを前提としています。

- 1 ▲ または ▼ を押して「ステータス」に移動しま

す。  を押して選択します。

- 2 ▲ または ▼ を押して必要なステータスに移動し

ます。  を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して「しょうさい」に移動しま

す。  を押して選択します。

ディスプレイに選択したステータスの詳細が表示されます。

5.9.21.3

5 トーン ステータスの詳細の編集

下記の手順に従って、無線機で 5 トーン ステータスの詳細を編集します。

- 1 ▲ または ▼ を押して『ステータス』に移動します。  を押して選択します。
- 2 ▲ または ▼ を押して必要なステータスに移動します。  を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して『へんしゅう』に移動します。  を押して選択します。
- 4 点滅するカーソルが表示されたら、◀ を押してスペース 1 個分左へ移動するか、▶ を押してスペース 1 個分右へ移動します。  を押して、不要な文字を削除します。  を長押しすると、テキスト入

力方法が変わります。編集が完了したら、 を押します。

ディスプレイに『ステータスほぞんずみ』と表示され、無線機がステータス リストに戻ります。

5.9.22

プライバシー

この機能は、ソフトウェアベースのスクランブル ソリューションの使用により、不正なユーザーによる盗聴を防ぐのに役立ちます。送信のシグナリングおよびユーザー識別の部分はスクランブルされません。

秘話モード対応で送信するには、無線機のチャンネルに秘話モードを設定する必要があります。ただし、秘話モードを設定していなくても受信はできます。秘話モード対応チャンネル上で、無線機はクリアな送信、つまりスクランブルされていない送信を引き続き受信できます。

無線機のモデルによっては、秘話モード機能がない場合や、構成が異なる場合があります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

お使いの無線機では、拡張プライバシーのみを使用できます。

秘話対応の通話またはデータ送信のスクランブルを解除するには、送信側の無線機と同じキー値およびキー ID を無線機にプログラムする必要があります。

無線機が別のキー値およびキー ID によるスクランブル通話を受信すると、何も聞こえません。

無線機のプログラム方法に応じて、秘話モード対応チャンネル上で、無線機はクリアな通話、つまりスクランブルされていない通話を受信できます。さらに、無線機のプログラム方法に応じて、警告音を鳴らすことも鳴らさないこともできます。

無線機にプライバシータイプが割り当てられている場合、無線機が緊急通話または緊急アラームを送受信している場合を除き、ステータスバーに【セキュア】アイコンまたは【非セキュア】アイコンが表示されます。

無線機が送信しているときは、緑色の LED が点灯します。無線機が進行中の秘話対応通話を受信しているときは、LED が 2 回点滅します。

5.9.22.1

秘話モードのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機で秘話モードのオンとオフを切り替えます。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【ひわモード】ボタンを押します。進行中の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。
- 3  または  を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。
- 4  または  を押して<必要なプライバシー>に移動します。 を押して選択します。
 - プライバシーがオンの場合、ディスプレイで【ゆうこう】の隣に ✓ が表示されます。
 - プライバシーがオフの場合、ディスプレイで【ゆうこう】の隣に空のボックスが表示されます。

5.9.23

応答禁止

この機能を使用すると、無線機が着信通信に応答しないようにすることができます。



注:

無線機がどのようにプログラムされているかについてはディーラーにお問い合わせください。

有効にすると、無線機は着信通信に응答して送信通信を生成しません(無線機チェック、ページング、無線停止、リモート モニタ、自動登録サービス (ARS)、プライベート メッセージへの応答など)。

この機能が有効になっていると、無線機は個別通信の確認を受信できません。ただし、無線機で手動による送信を行うことはできます。

5.9.23.1

応答禁止の有効化または無効化

無線機の応答禁止を有効または無効にするには、次の手順に従います。

プログラムされた【おうとうきんし】ボタンを押します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が 1 回だけ表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が 1 回だけ表示されます。

5.9.24

セキュリティ

この機能では、システム内の任意の無線機の有効、無効を切り替えられます。

たとえば、盗難にあった無線機を無効にして不正ユーザーが使用できないようにし、無線機を回収したら有効にできます。

無線機を有効または無効にする方法には、認証を使用する方法と認証を使用しない方法の 2 つがあります。

認証を伴う無線機の無効化は、購入可能な機能です。認証を伴う無線機の無効化では、無線機を有効化または無効化する際に検証が必要です。無線機で、ユーザー認証を使用してターゲットの無線機に対してこの機能を開始する場合、パズフレーズが必要です。パズフレーズは、CPS を使用して、ターゲットの無線機に事前にプログラムしておきます。

無線機を有効または無効にする手順の途中で  を押すと、承認を受信できなくなります。



注：

詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

5.9.24.1

無線機の無効化

下記の手順に従って、無線機を無効にします。

1 プログラムされた **[無線停止]** ボタンを押します。

2  または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。

3

 を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。

- 緑色の LED が点滅します。
- パズフレーズ画面が表示されます。

パズフレーズを入力します。  を押して次の操作へ進みます。

- パズフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。
- パズフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。

4 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合：

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合：

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

5.9.24.2

連絡先リストを使用した無線機の無効化



下記の手順に従って、連絡先リストを使用して無線機を無効にします。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。
 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。
 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『むせんていし』に移動します。

- 5  を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。

- 緑色の LED が点滅します。
- パスフレーズ画面が表示されます。

パスフレーズを入力します。 を押して次の操作へ進みます。

- パスフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。
- パスフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。

- 6 確認応答を待ちます。
正常に行われた場合:
• ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

5.9.24.3

ダイヤルを使用した無線機の無効化

下記の手順に従って、ダイヤルを使用して無線機を無効にします。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。
 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [ダイヤル] に移動します。
 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [むせん リスト] に移動します。
 を押して選択します。

テキスト行の 1 行目に [むせん ID:] と表示されます。

- 5 無線機の ID を入力し、 を押して先に進みます。

- 6 ▲ または ▼ を押して [むせんていし] に移動します。

- 7  を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。

- ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点滅します。
- パスフレーズ画面が表示されます。

パスフレーズを入力します。 を押して次の操作へ進みます。

- ・ パスフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。
- ・ パスフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。

8 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ・ ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ・ ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ・ ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ・ ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

無線機の有効化

下記の手順に従って、無線機を有効にします。

1 プログラムされた【停止解除】ボタンを押します。

2 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。

3  を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。

- ・ ディスプレイには【むせんオン: <無線機のエイリアスまたは ID>】と表示されます。緑色の LED が点灯します。
- ・ パスフレーズ画面が表示されます。

パスフレーズを入力します。  を押して次の操作へ進みます。

- ・ パスフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。

5.9.24.4

- ・ パスフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。

4 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ・ ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ・ ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ・ ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ・ ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

5.9.24.5

連絡先リストを使用した無線機の有効化



下記の手順に従って、連絡先リストを使用して無線機を有効にします。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [ていしかいじょ] に移動します。
- 5  を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。
 - ・ ディスプレイには [むせんオン: <無線機のエイリアスまたは ID>] と表示されます。緑色の LED が点灯します。
 - ・ パスフレーズ画面が表示されます。

パスフレーズを入力します。  を押して次の操作へ進みます。

- ・ パスフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。
- ・ パスフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。

6 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ・ ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ・ ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ・ ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ・ ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

5.9.24.6

ダイヤルを使用した無線機の有効化

下記の手順に従って、ダイヤルを使用して無線機を有効にします。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [ダイヤル] に移動します。  を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [こべつコール] に移動します。  を押して選択します。
テキスト行の 1 行目に [むせん ID:] と表示されます。
- 5 無線機の ID を入力し、  を押して先に進みます。

- 6 ▲ または ▼ を押して『ていしかいじょ』に移動します。

- 7  を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。

- ディスプレイには『むせんオン：＜無線機のエイリアスまたは ID＞』と表示されます。緑色の LED が点灯します。
- パスフレーズ画面が表示されます。

パスフレーズを入力します。  を押して次の操作へ進みます。

- パスフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。
- パスフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。

- 8 確認応答を待ちます。
正常に行われた場合：

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合：

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

5.9.25

ローン ワーカー

この機能を使用すると、事前に定義した期間中にユーザー操作（無線機のボタンの押下やチャンネル選択など）がない場合に、緊急アラームを発生させることができます。

プログラムされた期間にユーザーによる操作がなく、無操作タイマーの時間が経過すると、無線機は音声インジケータでユーザーに最初の警告を発します。

事前に定義した通知タイマーの時間が経過しても確認応答がない場合に、無線機から緊急アラームが発せられます。

この機能には、下記の緊急アラームのいずれか 1 つのみが割り当てられます。

- 緊急アラーム
- 通話による緊急アラーム
- 音声ガイドおよび緊急アラーム 

無線機は、緊急状態のままとなり、操作が行われるまで音声メッセージの送信が継続します。緊急状態の終了方法の詳細については、「[緊急操作 ページ 318](#)」を参照してください。



注：

詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

5.9.26

通知リスト

無線機には、未読のメッセージ、テレメータ メッセージ、不在着信やページングなど、チャネル上で未読のイベントをすべて収集する通知リストがあります。

通知リストにイベントが 1 件以上あると、ディスプレイに【おしらせ】アイコンが表示されます。

リストでは、最大 40 の未読イベントを使用できます。リストがいっぱいになると、自動的に最も古いイベントが次のイベントで置き換えられます。これらのイベントは、読まれた後、通知リストから削除されます。

テキスト メッセージ、不在着信、およびページング イベントの場合、通知の最大数は、テキスト メッセージで 30 件、不在着信またはページングで 10 件です。この最大数は、個々の機能 (JOB チケット、テキスト メッセージ、不在着信、またはページング) のリスト容量に応じて異なります。

5.9.26.1

通知リストへのアクセス

下記の手順に従って、無線機で通知リストにアクセスします。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた **[通知]** ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2  を押してメニューにアクセスします。
- 3  または  を押して【おしらせ】に移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して必要なイベントに移動します。
 を押して選択します。

ホーム画面に戻るには、 を長押しします。

5.9.27

オートレンジ トランスポンダ システム



オートレンジ トランスポンダ システム (ARTS) はアナログのみの機能で、無線機が ARTS を搭載した他の無線機の通信圏外にあるときに通知するよう設計されています。

ARTS を搭載した無線機は、定期的に信号の送受信を行って、互いに通信圏内にあることを確認します。

無線機は、次のようなステータスを示します。

初回警告

トーンが鳴ります。

ディスプレイにチャンネル エイリアスと『エリアない』が表示されます。

ARTS 通信圏内警告

プログラムされている場合はトーンが鳴ります。

ディスプレイにチャンネル エイリアスと『エリアない』が表示されます。

ARTS 通信圏外警告

トーンが鳴ります。赤色の LED が素早く点滅します。

ディスプレイに、『けんがい』とホーム画面が交互に表示されます。



注：
 詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

5.9.28

エア接続プログラミング

ディーラーは、物理的に接続せずにエア接続プログラミング (OTAP) 経由で無線機をリモートから更新できます。さらに、一部の設定も OTAP から設定できます。

無線機が OTAP を実行中のときは、緑色の LED が点滅します。

大量データを受信した場合:

- ディスプレイに [大量データ] アイコンが表示されます。
- チャンネルがビジー状態になります。
- PTT ボタンを押すと、ネガティブ トーンが鳴ります。

OTAP が完了した場合 (構成に依存):

- トーンが鳴ります。ディスプレイに『アップデート リセット』と表示されます。電源がオフになってからオンになり、無線機が再起動します。
- 『リスタート』または『えんきする』を選択できます。『えんきする』を選択すると、前の画面に戻ります。自動再起動が行われるまで、ディスプレイに [OTAP 遅延タイマー] アイコンが表示されます。

自動再起動後に無線機の電源が入った場合:

- 成功すると、ディスプレイに『ソフト アップデートかんりょう』と表示されます。
- プログラミングの更新に失敗すると、トーンが鳴り、赤色の LED が 1 回点滅し、ディスプレイに『ソフト アップデートしっぱい』と表示されます。



注:

プログラミングの更新に失敗した場合は、無線機の電源をオンにするたびに、ソフトウェア更新に失敗したことを示すメッセージが表示されます。ソフトウェア更新失敗の表示を消去するために、最新のソフトウェアを使用して無線機を再プログラムするには、販売店にお問い合わせください。

更新されたソフトウェア バージョンについては、「[ソフトウェア更新情報のチェック ページ 214](#)」を参照してください。

5.9.29

パスワード ロック

パスワードを設定して、無線機へのアクセスを制限できます。無線機の電源を入れるたびに、パスワードを入力するように求められます。

無線機では、4 桁のパスワード入力を使用できます。

ロック状態の無線機は、通信を受信できません。

5.9.29.1

パスワードを使用した無線機へのアクセス

無線機の電源を入れます。

- 1 4 桁のパスワードを入力します。

- a 各桁の数値を編集するには、▲ または ▼ を押します。次の桁を入力して移動するには、 を押します。

2 を押してパスワードを確認します。

パスワードを正しく入力すると、無線機の電源が入ります。

1 回目と 2 回目の試行後に誤ったパスワードを入力すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴り続けます。
- ディスプレイに『パスワードふてきごう』と表示されません。

ステップ 1 を繰り返します。

3 回目の試行後に誤ったパスワードを入力すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が 2 回点滅します。
- ディスプレイに『パスワードふてきごう』に続き、『むせんきロックずみ』と表示されます。
- 無線機は 15 分間ロック状態になります。



注：
ロック状態の無線機は、オン/オフ/音量コントロールノブおよびプログラムされた【バックライト】ボタンからの入力にのみ反応します。

ロック状態の 15 分タイマーが終了するのを待ってから、**ステップ 1** を繰り返します。



注：
無線機の電源を切ってから再度入れると、15 分タイマーが再起動します。

5.9.29.2

ロック状態の無線機をロック解除する

ロック状態の無線機は、コールを受信できません。下記の手順に従って、ロック状態の無線機をロック解除します。

以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 無線機の電源がオンになっている場合には、15 分待ってから **パスワードを使用した無線機へのアクセス ページ 181** の手順を繰り返し、無線機にアクセスします。
- 無線機の電源がオフになっている場合には、無線機の電源をオンにします。ロック状態の 15 分タイマーが再起動されます。

トーンが鳴ります。黄色の LED が 2 回点滅します。ディスプレイに「むせんきロックずみ」と表示されます。

15 分待ってから **パスワードを使用した無線機へのアクセス ページ 181** の手順を繰り返し、無線機にアクセスします。

5.9.29.3

パスワードの変更

下記の手順に従って、無線機でパスワードを変更します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して「Utilities」に移動します。  を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して「Radio Settings」に移動します。  を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して「パスワード ロック」に移動します。  を押して選択します。

- 5 現在の 4 桁のパスワードを入力し、  を押して次に進みます。

パスワードが正しくない場合は、ディスプレイに「パスワードふてきごう」と表示され、自動的に前のメニューへ戻ります。

- 6 ▲ または ▼ を押して「パスワード ヘンコウ」に移動します。  を押して選択します。

- 7 新しい 4 桁のパスワードを入力し、  を押して次に進みます。

- 8 新しい 4 桁のパスワードをもう一度入力し、  を押して次に進みます。

処理が正常に行われると、ディスプレイに「パスワードへんこうずみ」と表示されます。

処理が正常に行われなかった場合は、ディスプレイに「パスワードふてきごう」と表示されます。

前のメニューに自動的に戻ります。

5.9.30

正面パネル プログラミング

正面パネル プログラミング (FPP) の特定の機能パラメータをカスタマイズして無線機を効果的に利用できます。

機能パラメータをナビゲートする間、必要に応じて次のボタンを使用します。

上下左右のナビゲーション ボタン

オプションを左右にナビゲートしたり、値を増減するために押します。

メニュー/OK ボタン

オプションを選択したり、サブ メニューに入るために押します。

戻る/ホーム ボタン

短く押すと、前のメニューに戻ったり、選択画面を終了することができます。

長く押すと、いつでもホーム画面に戻ります。

5.9.30.1

正面パネル プログラミングモードの開始

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。
 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [PGM Radio] に移動します。
 を押して選択します。

5.9.30.2

FPP モード パラメータの編集

機能パラメータをナビゲートするときに必要に応じて次のボタンを使用します。

- ▲ ▼ 、 - オプションをスクロールしたり、値を増減したり、垂直にナビゲートしたりします。
-  – オプションを選択するか、サブメニューを入力します。
-  – 短押しすると、前のメニューに戻るか、選択画面を終了することができます。長押しすると、ホーム画面に戻ります。

5.10

ユーティリティ

この章では、無線機で利用できるユーティリティ機能の操作について説明します。

5.10.1

キー ロック オプション

この機能を使用すると、無線機を使用していないときに誤ってボタンを押したり、チャンネルを変更したりすることを防ぐことができます。必要に応じて、キー、チャンネルセレクト ノブのいずれかをロック、またはその両方をロックすることを選択できます。

ディーラーは CPS/RM を使用して、次のいずれかのオプションを設定できます。

- キーをロック
- チャンネルセレクト ノブをロック
- キーとチャンネルセレクト ノブをロック

無線機がどのようにプログラムされているかについてはディーラーにお問い合わせください。

5.10.1.1

キー ロック オプションの有効化

次の手順は、無線機の構成方法に応じて、キーをロック、チャンネルセレクト ノブをロック、またはキーをロックとチャンネルセレクト ノブをロックのオプションのいずれかに適用されます。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【キー ロック】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して『キーロック』に移動します。
 [OK] を押して選択します。

ディスプレイに『ロックずみ』と表示されます。

5.10.1.2

キー ロック オプションの無効化

次の手順は、無線機の構成方法に応じて、キーをロック、チャンネル セレクタ ノブをロック、またはキーをロックとチャンネル セレクタ ノブをロックのオプションのいずれかに適用されます。

以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた [キー ロック] ボタンを押します。
- ディスプレイに メニューと * をおしてロックかいじょ と表示されたら、[OK] を押してから [★<] を押します。

ディスプレイに『ロックかいじょ』と表示されます。

5.10.2

自動通話転送のオンとオフの切り替え

無線機を設定して、音声通話を別の無線機に自動的に転送できます。

- 1 [OK] を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して『Utilities』に移動します。
 [OK] を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して『Radio Settings』に移動します。
 [OK] を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して『つうわてんそう』に移動します。
 [OK] を押して選択します。
- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - ▲ または ▼ を押して転送を有効にします。有効にすると、✓ が『ゆうこう』の隣に表示されず。

- ▲ または ▼ を押して転送を無効にします。無効な場合、✓ が「ゆうこう」の隣で非表示になります。

- 5 ▲ または ▼ を押して、選択したオプションを変更します。

現在のケーブル タイプは ✓ で示されます。

5.10.3

ケーブル タイプの特定

下記の手順に従って、無線機で使用するケーブルのタイプを選択します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して「Utilities」に移動します。  を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して「Radio Settings」に移動します。  を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して、「ケーブル タイプ」に移動します。  を押して選択します。

5.10.4

カメラ メニュー タイマー

ホーム画面に自動的に切り替わるまでメニューが表示され続ける時間を設定できます。下記の手順に従って、メニュー タイマーを設定します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して「Utilities」に移動します。  を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して「Radio Settings」に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して『ひょうじ』に移動します。
 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して『タイマー メニュー』に移動します。
 を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して必要な設定に移動します。
 を押して選択します。

5.10.5

音声変換の設定

下記の手順に従って、音声変換機能を設定します。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して『Utilities』に移動します。
 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して『Radio Settings』に移動します。
 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して『おんせいガイド』に移動します。
 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して以下の機能のいずれかに移動します。
 を押して選択します。

利用可能な機能は以下の通りです。

- すべて
- メッセージ
- JOB チケット
- チャンネル
- ゾーン
- プログラム ボタン

✓ 選択した設定の隣に  が表示されます。

5.10.6

ハウリング抑制機能のオンとオフの切り替え

この機能により、受信コールでのハウリングを最小限に抑えることができます。下記の手順に従って、ハウリング抑制機能のオンとオフを切り替えます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた【ハウリング抑制】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
-  を押してメニューにアクセスします。

2  または  を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

3  または  を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。

4  または  を押して [ハウリング よくせい] に移動します。 を押して選択します。

5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  を押して、ハウリング抑制機能を有効にします。
-  を押して、ハウリング抑制機能を無効にします。

有効にすると、 が [Enabled] の隣に表示されます。無効な場合、 が [Enabled] の隣で非表示になります。

5.10.7

グローバルナビゲーション衛星システム (GNSS) のオンとオフの切り替え

グローバルナビゲーション衛星システム (GNSS) は、無線機の正確な位置を測定する衛星ナビゲーションシ

システムです。GNSS には、グローバル ポジショニング システム (GPS) と北斗衛星導航系統 (BDS) が含まれます。



注：

選択した無線機のモデルが GPS および BDS を備えていることがあります。GNSS で使用する衛星群は CPS を使用して構成されています。無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

この機能は、XiR P8668i/CP7668i シリーズにのみ適用されます。

1

2 次のいずれかの手順を実行して、無線機で GNSS のオンとオフを切り替えます。

- プログラムされた **[GNSS]** ボタンを押します。
-  を押してメニューにアクセスします。次の手順に進みます。

3 ▲ または ▼ を押して **[Utilities]** に移動します。
 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して **[Radio Settings]** に移動します。
 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して **[GNSS]** に移動します。
 を押して選択します。

6  を押して GNSS を有効または無効にします。
有効にすると、✓ が **[Enabled]** の隣に表示されます。
無効な場合、✓ が **[Enabled]** の隣で非表示になります。

5.10.8

初期画面のオンとオフの切り替え

手順に従って、初期画面の有効、無効を切り替えることができます。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [ひょうじ] に移動します。 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [しよきがめん] に移動します。 を押して選択します。

6  を押して [しよきがめん] を有効または無効にします。

ディスプレイに次のいずれかの結果が表示されます。

- 有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。

- 無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。

5.10.9

無線機トーン/アラートのオンとオフの切り替え

着信緊急警告トーン以外の、すべての無線機トーンやアラートは、必要に応じて有効化および無効化できます。下記の手順に従って、無線機でトーン/アラートのオンとオフを切り替えます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた [トーン/アラート] ボタンを押します。以下の手順をスキップします。

-  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [トーン/アラート] に移動します。  を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [ぜん トーン] に移動します。  を押して選択します。

6  を押して、すべてのトーンおよびアラートを無効または有効にします。ディスプレイに次のいずれかの結果が表示されます。

- 有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。
- 無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。

トーン/アラートのボリューム オフセット レベルの設定

この機能は、音声ボリュームを基準としてトーンまたはアラートのボリュームを調節できます。下記の手順に従って、無線機でトーンとアラートのボリューム オフセット レベルを設定します。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [トーン/アラート] に移動します。  を押して選択します。

5.10.10

5 ▲ または ▼ を押して [Vol オフセット] に移動します。 を押して選択します。

6 ▲ または ▼ を押して必要なボリューム オフセット レベルに移動します。

対応する各ボリューム オフセット レベルのフィードバック トーンが鳴ります。

7 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  を押して選択します。必要な音量オフセットレベルが保存されます。
-  を押して終了します。変更が破棄されます。

5.10.11

通話許可トーンのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機で通話許可トーンのオンとオフを切り替えます。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [トーン/アラート] に移動します。 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [きょか トーン] に移動します。 を押して選択します。

6  を押して通話許可トーンを有効または無効にします。

ディスプレイに次のいずれかの結果が表示されます。

- 有効にすると、✓が【Enabled】の隣に表示されます。
- 無効な場合、✓が【Enabled】の隣で非表示になります。

5.10.12

パワー アップ トーンのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機でパワー アップ トーンのオンとオフを切り替えます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して【Utilities】に移動します。
 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して【Radio Settings】に移動します。
 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して【トーン/アラート】に移動します。
 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して【でんげんオン】に移動します。
 を押して選択します。

- 6  を押してパワー アップ トーンを有効または無効にします。ディスプレイに次のいずれかの結果が表示されます。
 - 有効にすると、✓が【Enabled】の隣に表示されます。
 - 無効な場合、✓が【Enabled】の隣で非表示になります。

5.10.13

メッセージ アラーム トーンの設定

連絡先リストの各エントリに対するメッセージ アラーム トーンをカスタマイズできます。下記の手順に従って、無線機でメッセージ アラーム トーンを設定します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Contacts] に移動します。
 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。
 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [メッセージ アラーム] に移動します。
 を押して選択します。

- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して [1 かいのみ] に移動します。
 を押して選択します。
ディスプレイの [1 かいのみ] の隣に ✓ が表示されます。
- ▲ または ▼ を押して [くりかえし] に移動します。
 を押して選択します。
ディスプレイの [くりかえし] の隣に ✓ が表示されます。

5.10.14

表示モードの変更

必要に応じて、無線機の表示モードをデイとナイトの間で切り替えられます。この機能により、ディスプレイの色パレットが影響を受けます。下記の手順に従って、無線機の表示モードを変更します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた表示モード ボタンを押します。
以下の手順をスキップします。

-  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。
 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。
 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [ひょうじ] に移動します。
 を押して選択します。
ディスプレイに [デイモード] と [ナイトモード] が表示されます。

5 ▲ または ▼ を押して必要な設定に移動します。
 を押して選択します。
選択した設定の横に ✓ が表示されます。

表示輝度の調整

下記の手順に従って、無線機の表示輝度を調整します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた [輝度] ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。
 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。
 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [きど] に移動します。
 を押して選択します。
ディスプレイに進行状況バーが表示されます。

- 5 ▲ または ▼ を押して表示輝度を増減します。



を押して選択します。

5.10.16

ディスプレイ バックライト タイマーの設定

必要に応じて、無線機のディスプレイ バックライト タイマーを設定できます。この設定は、メニュー ナビゲーション ボタンとキーパッドのバックライトにもそれぞれ影響します。下記の手順に従って、無線機でバックライト タイマーを設定します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【バックライト】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [ひょうじ] に移動します。 を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して [バックライトタイマ] に移動します。 を押して選択します。

LED インジケータが無効になっているため、ディスプレイ バックライトとキーパッド バックライトは自動的にオフになります。詳細については、「[LED インジケータのオンとオフの切り替え ページ 203](#)」を参照してください。

5.10.17

オートバックライトのオン/オフの切り替え

必要に応じて、無線機のバックライトが自動的にオンになる設定の有効、無効を切り替えられます。有効の場合、無

線機が、通話、通知リスト イベント、または緊急アラームを受信すると、バックライトがオンになります。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。
 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。
 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [オートバックライト] に移動します。
- 5  を押して、オートバックライトを有効または無効にします。
ディスプレイに次のいずれかの結果が表示されます。
 - 有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。

- 無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。

5.10.18

スケルチ レベル

信号強度が低い不要な通信や、通常の背景雑音よりも強い雑音があるチャンネルを取り除くために、スケルチ レベルを調整できます。

通常

これはデフォルト設定です。

■■■■□

この設定では、不要な通信や背景雑音を取り除かれません。遠隔地からの通信も取り除かれる可能性があります。



注：

この機能は、同じ周波数の市民バンド チャンネルには適用されません。

5.10.18.1

スケルチ レベルの設定

下記の手順に従って、無線機でスケルチ レベルを設定します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた【スケルチ】ボタンを押します。
以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。
 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。
 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [スケルチ] に移動します。
 を押して選択します。

- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して [■■■■] に移動します。
 を押して選択します。
ディスプレイで ✓ が [■■■■] の隣に表示されます。
- ▲ または ▼ を押して [■■■■] に移動します。
 を押して選択します。
ディスプレイで ✓ が [■■■■] の隣に表示されます。
前のメニューに自動的に戻ります。

5.10.19

LED インジケータのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機で LED インジケータのオンとオフを切り替えます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。
[言語 OK] を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。
[言語 OK] を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [LED ひょうじ] に移動します。
[言語 OK] を押して選択します。

- 5 [言語 OK] を押して LED 表示を有効または無効にします。
ディスプレイに次のいずれかの結果が表示されます。
 - 有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。
 - 無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。

言語の設定

下記の手順に従って、無線機で言語を設定します。

- 1 [言語 OK] を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。
[言語 OK] を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。
[言語 OK] を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [げんご] に移動します。
[言語 OK] を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して必要な言語に移動します。
[言語 OK] を押して選択します。
選択した言語の横に ✓ が表示されます。

5.10.21

音声起動送信

音声起動送信 (VOX) により、プログラムされたチャンネルでハンズフリーの音声通話を開始できます。VOX 対応アクセサリのマイクが音声を検出すると、プログラムされた期間中、無線機は自動的に送信します。

次のいずれかの方法で、VOX を有効または無効にすることができます。

- 無線機の電源を切り、もう一度電源を入れて VOX を有効にします。
- チャンネルセレクタノブを使用してチャンネルを変更し、VOX を有効にします。
- プログラムされた **[VOX]** ボタンを使用して VOX のオンとオフを切り替えるか、メニューを使用して VOX を有効または無効にします。
- 無線機の動作中に **PTT** ボタンを押すと、VOX は無効になります。



注：

この機能のオンとオフの切り替えは、この機能に対応している無線機に限られます。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

5.10.21.1

音声起動送信のオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機で音声起動送信 (VOX) のオンとオフを切り替えます。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - プログラムされた **[VOX]** ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
 -  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。
- 3  または  を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。
- 4  または  を押して [VOX] に移動します。 を押して選択します。
- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  または  を押して [On] にします。  を押して選択します。ディスプレイで  が [On] の隣に表示されます。
-  または  を押して [Off] にします。  を押して選択します。ディスプレイで  が [Off] の隣に表示されます。



注：
 通話許可トーンが有効であれば、トリガワードを発声して通話を開始します。通話許可トーンが終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。詳細については、「[通話許可トーンのオンとオフの切り替え ページ 197](#)」を参照してください。

5.10.22

オプション ボードのオンとオフの切り替え

各チャンネル内のオプション ボード機能をプログラム可能なボタンに割り当てることができます。下記の手順に従って、無線機でオプション ボードのオンとオフを切り替えます。

プログラムされた [オプション ボード] ボタンを押します。

5.10.23

音声ガイドのオンとオフの切り替え

この機能をオンにすると、ユーザーがゾーンとチャンネルを割り当てたときや、ユーザーがプログラム可能ボタンを押したときに、その内容を音声で知らせます。

ディスプレイに表示されているコンテンツの読み取りが困難な状況で役立ちます。

この音声インジケータは、お客様の要件に応じてカスタマイズできます。下記の手順に従って、無線機で音声ガイドのオンとオフを切り替えます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた [音声ガイド] ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
-  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [おんせいガイド] に移動します。 を押して選択します。

5  を押して、音声ガイドを有効または無効にします。

- 有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。
 - 無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。
-

5.10.24

380

アナログ マイク AGC のオンとオフの切り替え

アナログ マイク自動ゲイン制御 (AGC) を使用すると、アナログ システム上で送信するときに、無線機のマイク ゲインを自動的に制御できます。この機能は、大きい音が出ないようにしたり小さい音をプリセット値まで増幅したりして、音声レベルを一定に保ちます。下記の手順に従って、無線機でアナログ マイク AGC のオンとオフを切り替えます。

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [Mic AGC-A] に移動します。 を押して選択します。

- 5  を押して、アナログ マイク AGC を有効または無効にします。

ディスプレイに次のいずれかの結果が表示されます。

- 有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。
- 無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。

5.10.25

デジタル マイク AGC のオンとオフの切り替え

デジタル マイク自動ゲイン制御 (AGC) を使用すると、デジタル システム上で送信するときに、無線機のマイク ゲインを自動的に制御できます。

この機能は、大きい音が出ないようにしたり小さい音をプリセット値まで増幅したりして、音声レベルを一定に保ち

ます。下記の手順に従って、無線機でデジタル マイク AGC のオンとオフを切り替えます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。
 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。
 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [Mic AGC-D] に移動します。
 を押して選択します。

- 5  を押して、デジタル マイク AGC を有効化/無効化します。

ディスプレイに次のいずれかの結果が表示されます。

- 有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。

- 無効な場合、✓が【Enabled】の隣で非表示になります。

5.10.26

内部無線機スピーカと有線アクセサリの間のオーディオ ルートの切り替え

下記の手順に従って、内部無線機スピーカと有線アクセサリの間でオーディオ ルーティングを切り替えます。

次の条件を満たすとき、内部無線機スピーカと有線アクセサリのスピーカの間でオーディオ ルーティングを切り替えできます。

- スピーカ付き有線アクセサリが接続されています。
- オーディオは、外部 Bluetooth アクセサリにルーティングされていません。

プログラムされた【音声切替】ボタンを押します。

オーディオ ルートが切り替わると、トーンが鳴ります。

無線機の電源を切るかアクセサリを取り外すと内部無線機スピーカへのオーディオ ルーティングがリセットされます。

5.10.27

インテリジェント オーディオのオンとオフの切り替え

定常騒音源と非定常騒音源の両方を含む、周辺環境の背景雑音が大きき場合、それに負けないように音量を自動的に調整します。これは受信側の限定機能であり、送信音声は影響を受けません。下記の手順に従って、無線機でインテリジェント オーディオのオンとオフを切り替えます。



注：

この機能は、Bluetooth セッションでは使用できません。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた【Int オーディオ】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。

-   を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して【Utilities】に移動しま

- す。   を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [インテリジェント オーディオ] に移動します。  を押して選択します。

5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ▲ または ▼ を押して [On] にします。  を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [On] の隣に表示されます。
- ▲ または ▼ を押して [Off] にします。  を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [Off] の隣に表示されます。

手順に従って、無線機でトリル拡張のオンとオフを切り替えます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた [トリル拡張] ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
-  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [トリル かくちょう] に移動します。  を押して選択します。

5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

5.10.28

トリル拡張のオンとオフの切り替え

歯茎でのトリル音 (転がるような "R") の単語を多用する言語で話しているとき、この機能を有効にできます。下記の

- ▲ または ▼ を押して [On] にします。  を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [On] の隣に表示されます。
- ▲ または ▼ を押して [Off] にします。  を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [Off] の隣に表示されます。

5.10.29

マイク ダイナミックひずみコントロール機能のオン/オフ

この機能では、マイク入力を無線機が自動的にモニタし、マイクのゲイン値を調節して音声ノイズを回避できます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [マイクひずみ] に移動します。  を押して選択します。

- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  を押してマイク ダイナミックひずみコントロールを有効にします。有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。
-  を押してマイク ダイナミックひずみコントロールを無効にします。無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。

5.10.30

音声アンビエンス

環境に応じて、無線機の音声アンビエンスをカスタマイズできます。

デフォルト

これはデフォルト設定です。

だいおんりょう

この設定は、ノイズ抑制を有効にしてスピーカの音量を上げ、周囲の騒音が大きい環境でも使用できるようにします。

ワーク グループ

この設定は、ハウリング抑制を有効にして AGC を無効にし、複数の無線機が相互に近い場所にあっても使用できるようにします。

5.10.30.1

音声アンビエンスの設定

下記の手順に従って、お使いの環境に応じて無線機で音声アンビエンスを設定します。

1



を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [オンセイ アンビエンス] に移動します。 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して必要な設定に移動します。 を押して選択します。

設定は次のとおりです。

- 工場出荷時の設定にするには [しょきち] を選択します。
- [だいおんりょう] を選択し、騒音環境下でスピーカの音量を上げます。

- 「ワーク グループ」を選択し、複数の無線機が相互に近い場所にあるときのハウリングを緩和します。

選択した設定の横に  が表示されます。

5.10.31

音声プロフィール

優先度に応じて、無線機の音声プロフィールをカスタマイズできます。

デフォルト

これはデフォルト設定です。

レベル 1、レベル 2、およびレベル 3

40 代、50 代、60 代以上の成人には、一般的にノイズで誘発される難聴がありますが、これらの設定は、この難聴の特性に応じて音声を補正します。

トレブル ブースト、ミッド ブースト、およびバス ブースト
これらの設定は、金属的な細い音声、鼻声、深い音声などに対応しています。

5.10.31.1

音声プロフィールの設定

下記の手順に従って、無線機で音声プロフィールを設定します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [オンセイ プロファイル] に移動します。  を押して選択します。
- 5 ▲ または ▼ を押して必要な設定に移動します。  を押して選択します。
設定は次のとおりです。

- 「しょきち」を選択して先に選択されていた音声プロファイルが無効にし、工場出荷時の設定に戻ります。
- 40 代以上の成人でみられる騒音性難聴を補正するための音声プロファイルを「レベル 1」、 「レベル 2」、または「レベル 3」から選択します。
- 甲高い声、鼻にかかった声、深い声など、お好みに応じて音声プロファイルを「トレブル ブースト」、 「ミッド ブースト」、または「バス ブースト」から選択します。

選択した設定の横に ✓ が表示されます。

- ソフトウェア更新
- GNSS 情報
- サイト情報
- 受信信号強度インジケータ



注：



を押して前の画面に戻ります。ホーム画面に

戻るには、 を長押しします。無線機は、無操作タイマーの終了後に、現在の画面を終了します。

5.10.32

一般無線機情報

無線機には、一般的のパラメータに関する様々な情報が含まれています。

無線機の一般情報は以下のとおりです。

- バッテリーに関する情報
- 無線エイリアスと ID
- ファームウェアとコードプラグの各バージョン

5.10.32.1

バッテリー情報へのアクセス

無線機のバッテリーに関する情報を表示します。

1



を押してメニューにアクセスします。

2



または  を押して「Utilities」に移動しま



す。を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して『きき じょうほう』に移動します。  を押して選択します。
-

- 4 ▲ または ▼ を押して『バッテリー INFO』に移動します。  を押して選択します。



注：

IMPRES バッテリーの場合のみ: バッテリーが IMPRES 充電器で調整が必要なとき、ディスプレイに『バッテリーかいふく』と表示されます。調整処理後、ディスプレイにはバッテリー情報が表示されます。

ディスプレイにバッテリー情報が表示されます。



注：

サポートされていないバッテリーの場合、ディスプレイに『不明なバッテリー』と表示されます。

無線エリアスと ID のチェック

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた **[無線エリアスと ID]** ボタンを押します。以下の手順をスキップします。ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
プログラムされた **[無線エリアスと ID]** ボタンを押して、前の画面に戻ることができます。

-  を押してメニューにアクセスします。
-

- 2 ▲ または ▼ を押して『Utilities』に移動します。  を押して選択します。
-

- 3 ▲ または ▼ を押して『きき じょうほう』に移動します。  を押して選択します。
-

5.10.32.2

- 4 ▲ または ▼ を押して [じきよく ナンバー] に移動します。  を押して選択します。

テキスト行の 1 行目に、無線エイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に、無線機 ID が表示されます。

- 4 ▲ または ▼ を押して [Versions] に移動します。  を押して選択します。

ディスプレイに現在のファームウェアとコードプラグの各バージョンが表示されます。

5.10.32.3

ファームウェアとコードプラグのバージョン チェック

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [Radio Info] に移動します。  を押して選択します。

5.10.32.4

GNSS 情報の確認

無線機の GNSS 情報を表示します。

- 緯度
- 経度
- 高度
- 方向
- 速度
- HDOP
- 衛星

• バージョン

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [きき じょうほう] に移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [GNSS じょうほう] に移動します。  を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して、必要な項目に移動します。  を押して選択します。要求した GNSS 情報がディスプレイに表示されます。

5.10.32.5

390

ソフトウェア更新情報のチェック

この機能は、最新のソフトウェア更新の日付と時刻を表示します。下記の手順に従って、無線機でソフトウェア更新情報をチェックします。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [きき じょうほう] に移動します。  を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [ソフト アップデート] に移動します。  を押して選択します。
ディスプレイに最新のソフトウェア更新の日付と時刻が表示されます。

ソフトウェア更新メニューは、少なくとも1つのOTAPまたはWi-Fiセッションが正常に終了した後でのみ使用でき

ます。詳細については、[エア接続プログラミング ページ 357](#) を参照してください。

5.10.32.6

サイト情報の表示

下記の手順に従って、無線機がある現在のサイト名を表示します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [Utilities] に移動します。
 を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [きき じょうほう] に移動します。
 を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [サイトじょうほう] に移動します。
 を押して選択します。

ディスプレイに現在のサイト名が表示されます。

5.10.33

受信信号強度インジケータ

この機能を使用して、受信信号強度インジケータ (RSSI) 値を表示できます。

ディスプレイでは、[RSSI] アイコンが右上端に表示されます。[RSSI] アイコンの詳細については、「[ディスプレイアイコン](#)」を参照してください。

5.10.33.1

RSSI 値の表示

ホーム画面で、◀ を 3 回押してすぐに ▶ を押します。このすべての操作を 5 秒以内に行います。

ディスプレイに現在の RSSI 値が表示されます。

ホーム画面に戻るには、 を長押しします。

認定アクセサリ リスト

Motorola Solutions では、お使いの無線機の生産性を向上させるアクセサリのリストをご用意しています。

表 14 : アンテナ

部品番号	説明
PMAD4126_	VHF、136 ～ 147MHz、GPS ヘリカル アンテナ EX
PMAD4127_	VHF、147 ～ 160MHz、GPS ヘリカル アンテナ EX
PMAD4128_	VHF、160 ～ 174MHz、GPS ヘリカル アンテナ EX
PMAD4129_	VHF、136 ～ 147MHz、GPS スタビライザー アンテナ EX
PMAD4130_	VHF、147 ～ 160MHz、GPS スタビライザー アンテナ EX
PMAD4131_	VHF、160 ～ 174MHz、GPS スタビライザー アンテナ EX

部品番号	説明
PMAD4132_	VHF、136 ～ 174MHz、ダブル ヘリカル アンテナ EX
PMAE4081_	UHF、403 ～ 433MHz、GPS 折り返しモノポール アンテナ EX
PMAE4082_	UHF、430 ～ 470MHz、GPS 折り返しモノポール アンテナ EX
PMAE4083_	UHF、403 ～ 433MHz、GPS スタビライザー アンテナ EX
PMAE4084_	UHF、430 ～ 470MHz、GPS スタビライザー アンテナ EX
PMAE4085_	UHF、403 ～ 470MHz、ホイップ アンテナ EX

表 15 : バッテリー

部品番号	説明
NNTN8359	MOTOTRBO CSA/IECEX/ATEX IMPRES Li-Ion、2075mA

表 16 : キャリー デバイス

部品番号	説明
PMLN5610_	2.5 インチ交換レザー スイベル ベルト ループ
PMLN6086_	2.5 インチ ベルト幅ベルト クリッ プ
PMLN6097_	フルキーパッド無線機用 2.5 インチ スイベル ベルト ループ付きハード レザー キャリー ケース
PMLN6099_	フルキーパッド無線機用 2.5 インチ スイベル ベルト ループ付きソフト レザー キャリー ケース

表 17 : 充電器

部品番号	説明
WPLN4212_	IMPRES マルチユニット充電器、米 国/北米プラグ
WPLN4218_	IMPRES ディスプレイ付きマルチ ユニット充電器、台のみ

部品番号	説明
WPLN4219_	IMPRES ディスプレイ付きマルチ ユニット充電器、米国/北米プラグ
WPLN4226_	IMPRES シングルユニット充電器、 台のみ
WPLN4253_	IMPRES スイッチ モード電源 US コード付きシングルユニット充電器

表 18 : ヘッドセットとヘッドセット アクセサリ

部品番号	説明
PMLN6087_	IS 認定ヘッド バンド付き標準ヘッ ドセット
PMLN6089_	IS 認定ヘルメット アタッチメント 付きレベル依存型ヘッドセット
PMLN6090_	IS 認定ヘッド バンド付きレベル依 存型ヘッドセット
PMLN6092_	IS 認定ヘルメット アタッチメント 付き標準ヘッドセット
PMLN6333_	IS 認定ヘルメット アタッチメント 付きツイン カップ ヘッドセット

部品番号	説明
PMLN6368_	IS 認定 MOTOTRBO アダプタ、4 極 Nexus

表 19 : リモート スピーカ マイク

部品番号	説明
PMMN4067_	IMPRES ATEX CSA リモート スピーカ マイク

表 20 : その他のアクセサリ

部品番号	説明
15012157001_	MOTOTRBO ATEX CSA 用ユニバーサル コネクタ ダスト カバー
PMLN6047_	Molex ジャック付き ATEX アダプタ

www.motorolasolutions.com/mototrbo

Motorola Solutions Malaysia Sdn. Bhd.
Plot 2A, Medan Bayan Lepas,
Mukim 12, S.W.D.
11900 Bayan Lepas, Penang,
Malaysia.

无线电发射设备型号核准代码会在设备标签上注明。

MOTOROLA, MOTO, MOTOROLA SOLUTIONS and the Stylized M Logo are trademarks or registered trademarks of Motorola Trademark Holdings, LLC and are used under license. All other trademarks are the property of their respective owners. © 2017 and 2022 Motorola Solutions, Inc. All rights reserved.

